

# 東京文化会館

令和3～8年度  
指定管理者

提案書類（事業計画書）

団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

所在地 墨田区横網1-4-1

代表者名 日枝 久

本提案書類は、指定管理者選定要項に基づき令和2年6月時点で計画されたものであります。今後東京都の施策や社会情勢の変化を踏まえ、都と綿密に協議し、提案内容を適宜見直しながら、年度の事業計画を立案してまいります。

# 目次

課題1	〔前期指定期間の総括〕	1
<hr/>		
課題2	〔管理運営の基本方針〕	
<hr/>		
1	管理運営の基本方針と達成目標について	4
	(1) 基本方針と達成目標	4
	(2) 館の機能の総合的な発揮	11
	(3) 『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けた取組	13
2	国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について	16
<hr/>		
課題3	〔事業に関する業務〕	19
<hr/>		
1	芸術文化の振興に関する事業について	19
	(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針	19
	(2) 教育普及活動	28
	(3) 人材の育成	32
	(4) 令和3年度・令和4年度の実施計画	36
2	施設の利用について	40
	(1) 実施方針と貸館の運営戦略	40
	(2) 使用申請及び使用承認の仕組み	42
	(3) 利用料金	43
	(4) 舞台運営業務	45
3	調査研究の取組及び音楽資料室の運営について	47
	(1) 調査研究の取組	47
	(2) 音楽資料室の運営	48
4	館の事業を支える仕組みについて	50
	(1) 広報の充実	50
	(2) 来館を促進する取組	52
	(3) 外部意見等の活用	54
	(4) ニーズの把握と対応	55
	(5) 外部資金の導入等による事業の充実	56

<b>課題4</b>	<b>〔館の運営に関する業務〕</b>	<b>57</b>
1	休館日及び開館時間並びに施設の機能向上について	57
2	館内サービスについて	59
	(1) 来館者への基本的なサービス	59
	(2) レストラン及びショップ等の運営	61
	(3) 館内ホスピタリティ等の充実	62
<b>課題5</b>	<b>〔組織及び人材〕</b>	<b>63</b>
1	効果的かつ効率的な執行体制の確保について	63
2	明確な責任体制の構築について	66
3	専門的職員等の配置について	67
4	人材育成の取組について	69
<b>課題6</b>	<b>〔館の管理その他に関する業務〕</b>	<b>70</b>
1	館の管理について	70
	(1) 施設等の管理業務	70
	(2) 危機管理体制の整備	86
2	地域等との連携の取組について	89
<b>課題7</b>	<b>〔自由提案〕</b>	<b>90</b>

## 提案課題1 [前期指定期間(平成29年～令和2年度)の総括]

前期の指定管理では、文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 総合支援事業に全国16館の1館として採択を受け、文化振興に更に積極的な役割を果たすべきとの趣旨を踏まえ、自主事業の充実に精力的に取り組みました。施設運営では、民間事業者と連携した高度な舞台管理技術とお客様対応力で、ハード(老朽施設)の限界をソフト(知恵)で極力カバーし、安心・安全なサービス提供により主催者と観客・聴衆の2つのお客様にご満足いただけるよう取り組みました。貸館運営においても、英国・ロイヤルオペラやパリ・オペラ座バレエをはじめ継続して国内外の一流劇場等によるオペラやバレエ公演を中心に戦略的に誘致し、最高水準の舞台芸術の鑑賞機会を数多く創出しました。このような劇場は日本で唯一であり、その事業展開は国内外からの注目を集めました。

## 1. 自主事業

平成24年に施行された劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の趣旨を踏まえ、自主事業を体系立てて大幅に充実していますが、平成29年の文化芸術振興基本法の改正により更に幅広い展開が求められています。その趣旨に対応した都立文化施設として、民間施設では実施しない・しづらい領域に役割を見出し、創造発信、教育普及、人材育成の3本の柱を立てて、着実に事業を推進し、先駆的な幅広い事業展開を実現しています。

## (1)「創造発信」

新たな音楽芸術を創造し、音楽ファンの拡大を図るため、既成の音楽ジャンルや表現形式にとらわれず、創造性・独自性にあふれる作品を、積極的に制作し、発信してきました。

夏目漱石の「夢十夜」を原作とした『Four Nights of Dream』を国際共同制作・日本で初演、人形劇とクラシック音楽のコラボレーションによる『SALOME/サロメ』の世界初演、小ホール空間を最大限に活用した、新進音楽家の活躍の機会を創出した「オペラBOX」『Help! Help!グロボリンクスだ!～エイリアン襲来～』を民間の財団と連携して全国で展開する等、先進的・挑戦的に取り組みました。

また、東京2020大会の文化プログラムとして都と共催して開催する「オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World」のプレイベントや準備制作を滞りなく実施。平成31年度『トウランドット』公演は国内初となる国立劇場との共同制作として全国規模で上演し大きな実を結びました。

来る東京2020大会のメイン文化プログラムとして『ニュルンベルクのマイスター・ジッター』上演に向け、海外の制作スタッフ・アーティストとの連携も図りつつ滞りなく準備を行っています。文豪や伝統芸能、古典など「日本」にも焦点を当て、国内外からの注目を集める創造性・独自性の高い作品の幅広い制作を進めています。

## (2)「教育普及」

あらゆる人々が芸術文化に触れ参加する機会を提供することを使命とし、多様な鑑賞型・参加型の事業を実施しています。

参加型のワークショップでは乳幼児、子供、妊婦、親子、大人、認知症患者を含むシニア世代、障害者など幅広い方々に、身体を叩いて音を出すような気軽なプログラムから、音楽の楽しさを実感していただいています。音楽体験のほか、参加交流としても大切な機会であり、心を開く、社会性の涵養にもつながるものと評価され、都内外の文化施設や都内全域の保育園や幼稚園、小中学校、特別支援学校等でも実施しています。海外の劇場の教育プログラムネットワークRESEOの一員として海外との連携も深まり、今後の展開も期待されています。

平成24年度から実施する、「オペラBOX」と連動した舞台芸術の制作に参加する「オペラをつくろう!」は、青少年やその家族、プロを目指す学生等に生きた現場を体験する機会として他の文化施設とも連携して実施しました。この取組は舞台芸術の理解を深めるのみならず、青少年のコミュニケーション能力の向上にも大きく寄与しています。

## (3)「人材育成」

「東京音楽コンクール」を基軸に、才能あふれる新進音楽家の発掘と育成・支援を図っています。

コンクールの活性化・国際化はもとより、コンクール入賞者に対する支援として、出演機会を更に幅広く創出して、主催事業で積極的に起用し、リサイタル、オーケストラとの共演に加え海外で演奏する機会を創出するなど、参加者への魅力として定着しています。

また、コンクールを応援する方々も年々増加し、2次予選、本選、優勝者コンサート、そして入賞者の出演する主催事業への来場へと繋がるファン＝応援団が増えています。

過去の優勝者・入賞者の、国内あるいは海外の主要コンクールでの入賞実績も年々増加しています。

今後も東京音楽コンクールの国際化、活性化に向け、取組みを進めます。

また、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と連携した人材育成プログラムは年々参加者希望者が増加しています。

更に、社会的課題の解決に向けたトレーニングも国内外から講師を招へいして開催し、多様なターゲットに向けた人材育成は成果を上げています。

成長した人材は、東京文化会館ワークショップ・リーダーとして館内で開催するワークショップをはじめ、都内外でのワークショップ実施や講師としての役割を担うなど、人材育成の効果は全国に波及しつつあります。その牽引役として、今後も継続して人材育成に取り組んでまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題1 [前期指定期間(平成29年～令和2年度)の総括]

## 2. 貸館事業

「NOと言わない舞台管理」のスタンスで、安全を確保しつつ主催者要望に最大限に応え続けることで、強い信頼を勝ち取り、引き続き、**国内外の最高水準の公演の誘致**を実現してきました。英国・ロイヤルオペラやパリ・オペラ座バレエなど国内外一流のオペラ・バレエ公演をはじめ、良質なクラシックコンサート、アニメやゲーム音楽のオーケストラ公演等も誘致し、より幅広いお客様にご満足いただける充実した公演鑑賞機会の提供を行いました。このような優れた舞台芸術をこの頻度で継続して提供できる劇場は国内唯一であり、『音楽・舞台芸術の殿堂』としての役割を十二分に果たし、館の価値向上を図ることができました。

施設のコマ稼働率は、大ホール概ね9割、小ホール8割台半ばと、指定管理期間を通じ、高い稼働率を継続して達成しております。

また、来場者に対しては、高齢者や障害者等への配慮をはじめ、お客様の立場やご要望にそったホスピタリティ溢れる柔軟な対応により、公演の質に見合った満足度の高いサービスを提供できたと考えております。

【舞台管理】施設利用者に対しての信頼関係構築は勿論、館内外で実施される自主制作事業にも専門的見地から参画し、よりよい創造鑑賞環境を提供することに努めてまいりました。運営サイドにおいても貸館・管理・事業の間に入り館全体の動きを見える化し、お互いの業務を理解連携できる環境を構築しました。また、舞台技術諸設備の維持修繕更新も推進し、今後予定される大改修に向けてその目的を達成するために準備を重ねてまいります。

## 3. 東京2020大会に向けた取り組み

来る東京2020大会に向けた取り組みとして、「オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World」のオペラ公演はもとより、付随する**イベント**や**JR山手線の発車ベル音**等の注目を集める広報展開を図ってまいりました。メインのオペラ公演も**全国規模で展開**し、新国立劇場をはじめとした**国内外の劇場との共同制作や連携**に繋がっています。

その他、館内外で行っている新進音楽家を起用した**あらゆる方々に向けたコンサートやワークショップ、トップアーティストのコンサート等幅広く展開**してまいりました。

開催期間中も上野を訪れる多様な方々に向けたイベントを企画しています。

これらの経験や実績を**レガシー**として、**あらゆる方々に集い親しまれる劇場として展開**してまいります。

## 4. 音楽資料室の活発な活動

**音楽資料室**は、専門図書室として、音楽資料の収集・保存とともに、閲覧・視聴、レファレンスサービスにより、都民あるいは専門家の芸術文化活動を支援しています。

IT化の流れを踏まえ、**収蔵資料の目録や当館の過去の公演情報をインターネットで公開し、利用者の利便性の向上**を図りました。

**音楽資料室だよりの発行、ツイッターによる情報発信**、1階ロビーでの**資料展示**、資料を活用した**講座の開催**など、資料室の認知度を高め、より多くの方にご活用いただくための働きかけを積極的に実施しています。

また、開室時間を試験的に変更し、利用者の皆様の利便性を高めるための検証を行っています。

今後もより利用しやすい環境を整えるため、ICタグの使用、デジタル化の推進、最新資料への対応機器の導入等、都と連携しながら改善してまいります。

## 5. 公立文化施設等との連携

当館は、全国の公立文化施設の連携のもと、地域文化の振興とわが国の文化芸術の発展に寄与することを目的に組織され、1300近い文化施設が加盟する公益社団法人全国公立文化施設協会の会長館を務め、ネットワークの中心として、全国の公立文化施設を牽引してまいりました。

都内外文化施設や民間、福祉機関等との連携による教育プログラムや社会包摂プログラムを全国を牽引する文化施設として積極的に展開し実績を築いてまいりました。

また、新進演奏家を活用した都内の公立及び民間の文化施設とのネットワークが広がるだけでなく、新国立劇場やびわ湖ホール等の全国を代表する文化施設や、いわきアリオスホール、軽井沢大賀ホール等の地方文化施設とも、共同制作や事業の提供、企画協力等により幅広い連携を実現しています。今後も引き続き、日本の舞台芸術の拠点として、我が国の文化芸術の発展と心豊かな社会の実現に寄与していきたいと考えています。

## 6. 総括

平成24年に施行された**劇場、音楽堂等の活性化に関する法律**の制定、平成29年の**文化芸術振興基本法の改正**を受け、文化振興に積極的な役割を果たすべく、自主事業の充実を図り、精力的に展開してまいりました。今後、全国を牽引する文化施設として、**東京2020大会のレガシー**として音楽芸術の積極的な創造・普及を目指した長期的な視野のもと、クオリティーを重視しながら公益性の高い自主事業を幅広く展開し、最高水準の舞台芸術の鑑賞機会を継続して提供する、更に魅力ある館運営の実現に向けて積極的な事業展開を行ってまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題1 [前期指定期間(平成29年～令和2年度)の総括]

## (1) 東京都指定管理者管理運営状況評価

老朽化した施設において安全に管理運営を行い質の高い公演を実施していること、自主事業について企画の創造性が高く新たな舞台芸術作品の創造に挑戦していることなどが評価され、継続してA評価以上と高い評価を受けました。特に平成30年度は、危機管理体制の強化や文化庁の総合支援事業への採択、東京音楽コンクールの一層の充実などが評価され、S評価を受けました。

## 指定管理者管理運営状況評価

年度	H29	H30
総合評価	A+	S

## 〈区分〉

評価区分S: 管理運営が優良であり、特質すべき実績・成果が認められた施設

評価区分A+: 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

評価区分A: 管理運営が良好であった施設

評価区分B: 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

## (2) 東京文化会館外部評価委員会

東京文化会館の事業運営や効果について、学識経験者、音楽芸術の専門家、地域の代表等の視点から評価することにより改善に資するため、館長の諮問機関として、「東京文化会館外部評価委員会」を設置しています。

委員からは、「舞台芸術の殿堂」として、国内外の名だたる芸術団体・アーティストによる公演を通じ、首都東京からの発信力を高めるために果たしてきた役割、民間では実現困難な意欲的な企画の数々を自主事業として展開し成果を上げている点などが評価され、継続してA評価を受けました。

## 東京文化会館 外部評価委員会

年度	H29	H30
総評	A	A

## 〈区分〉

評価区分A: 目標を十分に達成し、成果を上げている

評価区分B: 目標を概ね達成している

評価区分C: 目標を十分に達成しておらず、改善が必要である

## (3) 定量目標の達成状況

オペラ・バレエ・クラシックコンサートなどの公演に使用される大ホールと、室内楽・リサイタルの公演に使用される小ホールの各ホールにおいて、最高水準の国内外の公演を厳選・招致しながらも、高い稼働率を維持し続けています。また、自主事業の入場者数についても、目標を達成し続けています。

## 施設稼働率(コマ稼働率) (単位: %)

施設名	目標	H29	H30
大ホール	90.0	91.8	91.3
小ホール	80.0	83.4	83.2

## 自主事業入場者数 (単位: 人)

目標	H29	H30
65,000	83,494	124,444

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(1)基本方針と達成目標

1. 基本方針

(1) スローガン

より多くの人々に集い親しまれる劇場へ ～「音楽・舞台芸術の殿堂」＝響きあう感動をあらゆる人々と～

開場以来60年間、「音楽・舞台芸術の殿堂」として多くの人々が当館を訪れ、愛され親しまれています。さらに、次期指定管理期間では、培った制作力や国内外とのネットワークを活かした高い芸術性を担保しつつ、社会的課題にも取り組みながら、幅広く鑑賞の機会や若手の輩出、学びや体験の機会を提供し、あらゆる人々が感動を分かち合える劇場を目指します。

(2) ステートメント

○ 「音楽の入口体験から本格鑑賞・演奏への橋渡し」

高水準の舞台芸術を鑑賞されるお客様を大切にしつつ、音楽・舞台芸術の素晴らしさをより多くの方々に味わっていただきます。

○ 「参加交流」できる「広場」となり、「社会包摂」のための「居場所」となる

乳幼児から青少年、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代、障害者、外国人等、様々な個性を有するの方々のための拠点となります。

(3) 方針

- ① 「音楽・舞台芸術の殿堂」たる良質な公演の鑑賞機会を提供します。
- ② 全国の文化施設をけん引する先駆的な自主事業を展開します。
- ③ 建物の魅力を生かしつつ、あらゆる人々が利用しやすい施設管理、機能更新を行います。

(4) 取組

- ① 自主事業の積極的な展開  
連動する創造発信、教育普及、人材育成の3本柱による自主事業の展開と国内外に向けた成果の還元
- ② 貸館運営  
戦略的な施設の貸出による世界最高水準の公演の提供、貸館公演との連携・協力による公益事業の実施
- ③ 音楽資料室の運営
- ④ 総合的な機能・魅力を発信する館運営  
安全・安心の施設管理と舞台運営、バリアフリー・ユニバーサル化の推進、多言語化の推進、外部資金の導入、戦略的広報の取組、館の魅力の発信力強化・充実、地域連携の取組、職員の育成・スキルアップ

(5) 概念図

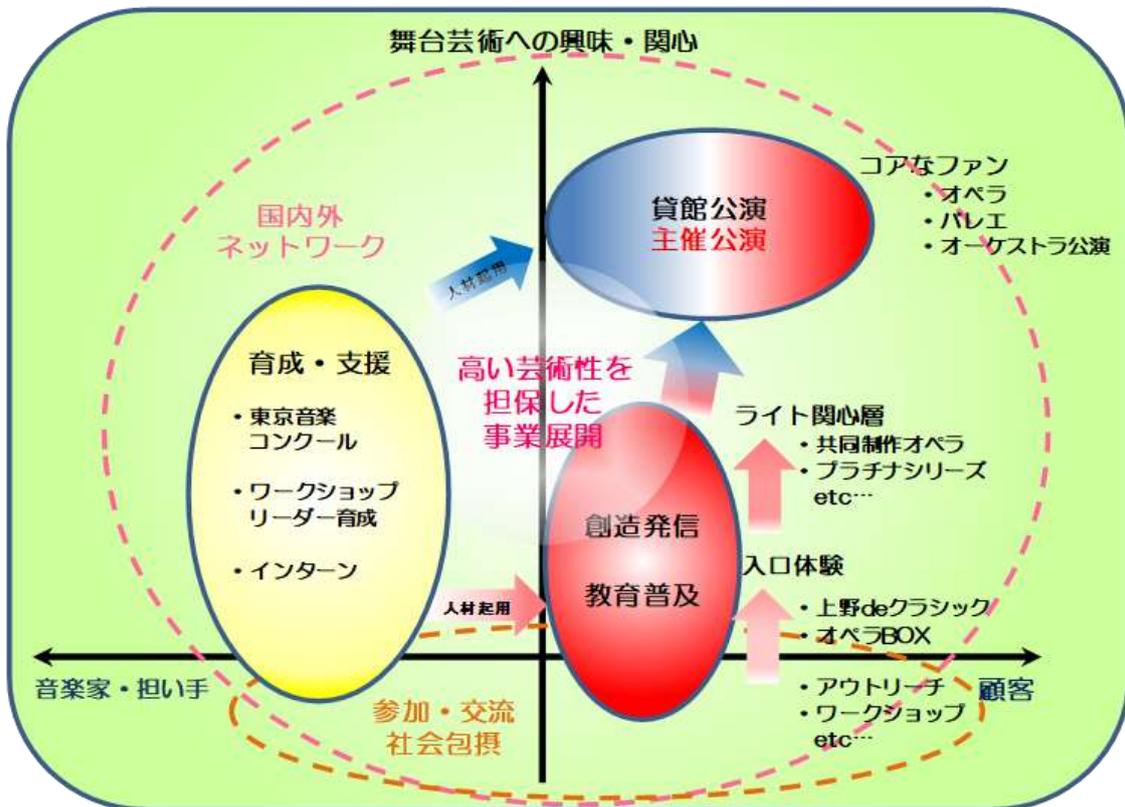
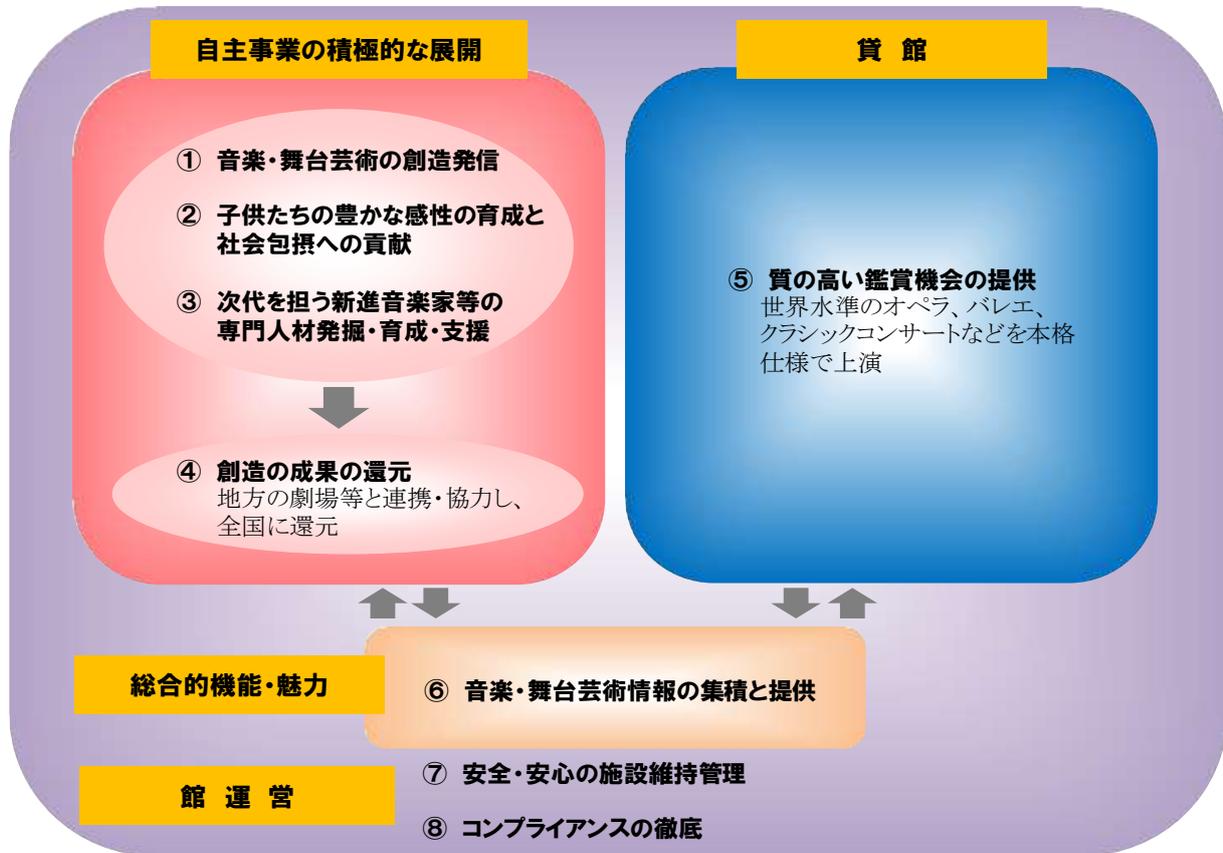


事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について

(1)基本方針と達成目標

私たちは東京文化会館の設置目的と指定管理者に求められる役割を十分に理解し、「東京文化ビジョン」が定める東京文化会館に係る「新たな運営方針」に即して、次の8つを6年間の指定管理期間における「基本方針」として館の管理運営に取り組んでまいります。



事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について

### (1) 基本方針と達成目標

#### ① 音楽・舞台芸術の創造発信

音楽・舞台芸術の殿堂としての知名度や地の利を生かし、創造的・社会的・教育的な自主事業を展開します。既成の枠に捉われず、舞台空間の創造の可能性を探求した作品を国内外の一流の演出家・出演者等とともに創り上げ、音楽・舞台芸術の魅力を発信します。出演者には、人材育成事業により輩出された音楽家を積極的に起用し、若手の活躍の場の創出と研鑽の場としても機能します。

#### ② 子供たちの豊かな感性の育成と社会包摂への貢献

子供たちの音楽・舞台芸術への豊かな感性を育み、芸術文化の次世代への継承・発展を図るとともに、障害者や社会的に孤立した状況にある人々などの社会的な包摂を図るため、音楽・舞台の喜びの体験や芸術家との直接の触れあい等を伴うアウトリーチ活動や参加体験型のワークショップなどを積極的に企画し、広く展開します。事業の牽引役には、人材育成事業により輩出された音楽家やワークショップ・リーダー、若手制作者等を起用し、活躍の場としても機能します。

#### ③ 次代を担う新進音楽家等の専門人材発掘・育成・支援

「東京音楽コンクール」の一層の充実などにより、世界で活躍可能な才能を持つ新進音楽家を発掘します。発掘した音楽家については、自主事業での起用やオーケストラとの共演などを通じて発表の機会や場を提供し、芸術性と社会性を備えたアーティストへと育成していきます。

また、次代の舞台芸術を支えるアートマネジメント人材や、教育プログラムの牽引役であるワークショップリーダー、舞台技術の継承者等の専門人材を育成します。

このような取組を地域を代表する東京芸術大学を始めとした諸大学とも連携しながら、各事業に起用することを通じて若手の活躍する機会を創出していきます。

#### ④ 創造の成果の還元

創造の成果を多くの人々、特に子供や青少年に発信し、次代を支える新たな顧客を創出するとともに、挑戦的で優れた作品を積極的に提供するなど、自主事業の成果について地方の劇場等と連携・協力しながら全国に還元します。

#### ⑤ 質の高い鑑賞機会の提供

間もなく60年を迎える、歴史と伝統を有する音楽・舞台芸術の殿堂として、高い技術力と高度な貸館運営によって世界水準のオペラ・バレエ・クラシックコンサートなどを本格仕様で上演し、国内外のアーティストに他施設では実現できない特別な公演の場を提供するとともに、都民に質の高い鑑賞機会を提供します。

「奇跡の響」と称賛される小ホールでは公立文化施設ならではの一流音楽家のリサイタルを企画・制作し、民間では実現できない手頃な料金で提供します。

当館ならではの世界水準の公演を広く若い世代に提供するために、貸館主催者との連携によるリハーサルの公開やバックステージツアー等を開催し、提携した大学の学生や児童向けに提供していきます。

#### ⑥ 音楽・舞台芸術情報の集積と提供

音楽・舞台芸術情報の一大集積地として、音楽・舞台芸術に関する価値ある情報を的確に収集・整理・提供して音楽愛好家や研究者等の活動をサポートし、日本の音楽界全体の水準向上に寄与します。

#### ⑦ 安全・安心の施設維持管理

公の施設として利用者や来場者が安心して施設を利用できるよう安全面には特に配慮し、予防保全的メンテナンスを実施します。また利用者に対しては設備・機器の利用方法などの確かなアドバイスを行い、施設予約から搬出まで円滑な運営を第一に考えていきます。

なお、東京文化会館が歴史的価値の高い建造物であるということも十分に認識し、改修や修繕にあたっては、建物の良さと価値を活かしながら同時に利便性の向上を図るよう計画的に進めていきます。

#### ⑧ コンプライアンスの徹底

東京文化会館及び東京芸術劇場条例をはじめとする各種法令等の遵守を徹底するとともに、当財団が定める個人情報保護に関する規程やプライバシーポリシーを遵守するなど、コンプライアンスの確保に努めていきます。

また、管理運営を通じて指定管理者に委譲される権限等の行使についても、東京都の行政サービスの代行ということを常に念頭におきながら、適正な管理運営に努めていきます。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について (1)基本方針と達成目標

### 2. 達成目標

これまでの館の運営にあたっては、ホールの高い稼働率や「東京音楽コンクール」等の主催事業に代表されるように、優れた実績を残してまいりました。私たちは公の施設としてより多くの来館者、利用者が最高のサービスを受けられるよう創意工夫に努め、さらなる高みを目指していきます。

そのため次の目標を定め、その実現に努めてまいります。

#### 目標 1

音楽・舞台芸術の創造・発信

★財団重点目標 1 最先端技術を活用した発信

★財団重点目標 2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり

舞台芸術の創造発信拠点として、既成の枠にとらわれず、新たな可能性を探求した作品を創造し発信します。国内外の一流の演出家や作曲家、出演者等との協働や国内外の劇場との連携を図り、質の高い創造とともに、新たな顧客の開拓、全国への幅広い成果の還元を図ります。

#### 【評価指標の例】

目標1・・・オンライン・プログラム制作件数・アクセス件数

目標2・・・はじめて施設に来館した人数、Welcome Youth舞台芸術への参加児童・学生数

#### 目標 2

新進音楽家等の専門人材の育成・支援

「東京音楽コンクール」を一層充実させ、世界で活躍可能な才能を持つ新進・若手音楽家を発掘、主催事業に起用し、演奏機会を提供する等の支援を行い、芸術性・社会性を備えた芸術家へと育成していきます。また、アートマネジメント人材や、教育普及プログラムを牽引するワークショップリーダーなど、制作や事業運営を支える専門人材の育成も進めていきます。

#### 目標 3

次世代への音楽文化の継承と教育普及、社会包摂・社会的課題の解決に向けた取組の実施

★財団重点目標 1 最先端技術を活用した発信

★財団重点目標 2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり

★財団重点目標 3 「クリエイティブ・ウェル・プロジェクト」に取組む

子供たちに音楽や舞台の喜び体験を通じ、豊かな感性を育む一助としつつ、音楽文化の次代への継承を図ります。音楽への関心が低い層に対し、気軽に音楽・舞台芸術に触れる「入口体験」の機会を広く提供します。高齢者や障害者など、社会的に孤立しがちな人々に対し、豊かな感性やコミュニケーション、自己肯定感等を涵養し、生きる力を高める一助となるべく、手軽に音楽の楽しさを体験できる参加交流型のワークショップや、芸術家と直接触れ合うアウトリーチ活動等を積極的に実施します。

#### 【評価指標の例】

目標1・・・オンライン・プログラム制作件数・アクセス件数、オンライン・プログラムによる情報提供数

目標2・・・Welcome Youth舞台芸術への参加児童・学生数、アウトリーチ実績数

目標3・・・障害者施設・高齢者施設の連携数、参加者の満足度

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について**  
**(1) 基本方針と達成目標**

**目標 4**

質の高い鑑賞機会の提供

国内外の最高水準の公演の誘致や自主事業の実施により、ご来場のお客様に満足していただける公演ラインナップとサービス空間を提供します。実演団体等との公演日程調整等を的確・迅速に行うことで、継続した高い稼働率を目指します。更に、施設設備のメンテナンスを万全にし、確かな技術力とサービスで公演運営をサポートします。

**【評価指標の例】**

<b>基準値</b>	<b>コマ稼働率</b>	大ホール : 90%以上 小ホール : 80%以上
	<b>日数稼働率</b>	大ホール : 95%以上 小ホール : 98%以上

■稼働率  
 使用コマ(日)数 / 使用可能コマ(日)数  
 ※使用可能コマ(日)数にはメンテナンスに必要なコマ(日)を含めない

**目標 5**

ホスピタリティの充実と安全対策の強化

誰にも優しく、安全安心な施設を目指し、バリアフリー化や多言語対応の取り組みを着実に推進していくとともに、セキュリティ対策の充実により、お客様への安全対策の強化を図っていきます。

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について (1)基本方針と達成目標

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を踏まえた運営

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休館していた東京文化会館は、国の緊急事態宣言が解除され、東京都が策定した「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」のステップ2に移行したことを踏まえ、令和2年6月8日(月)から開館しました。開館にあたっては、関連のガイドラインも踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要な対策を講じております。

緊急事態宣言の発令による休館はこれまで施設の管理運営を担ってきた財団にとっても初めての経験であり、外出自粛や活動自粛により行動が制限されている中で文化施設が果たすべき役割として、事業計画書の「総合調整・共通事項」においてオンラインプログラムの編成やデジタルアーカイブの拡充を提案しています。

「新しい生活様式」に則った再開は財団にとって未曾有の取組であり、暗中模索の中での開館となっています。再開までの取組、また再開後の様々な取組を『「新しい日常」を踏まえた都立文化施設の運営のあり方』として、以下に示します。

#### (1) 再開に向けた取り組み

東京文化会館では、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月14日・令和2年5月25日更新)公益社団法人全国公立文化施設協会を参考に東京都、財団の方針も踏まえて「東京文化会館の感染予防対策ガイドライン」を作成し、感染症拡大防止のために取り組んでいます。

再開にあたり、施設管理者として消毒・換気の徹底、三つの「密」を解消し、ソーシャル・ディスタンスを確保するための準備を行い、来館者、主催者、関係者の皆様をお願いする事項について館内掲示、ウェブサイト、SNS等を活用して周知しました。

入館入口では手指消毒液を設置し、来館者には咳エチケット、マスク着用をお願いしています。主催公演においては入場時にサーモグラフィカメラや非接触型体温計による体温確認を実施することとし、貸館主催者に対しても同様の対応を要請します。音楽資料室の入室時においても、体温確認を行います。

このような対策を実施しながら、日々変化する感染拡大の状況を迅速に把握し、その状況によって対策を拡充・緩和しながら安心安全な運営を行います。

#### (2) 「Withコロナ」の課題と解決策

「Withコロナ」という新たな局面に入り、第2波の到来、「東京アラート」など変化する局面に対応しながら、「新しい日常」の中で感染防止対策と継続的な館運営の両立を図っていく必要があります。

##### 【課題】

- ・良質な芸術作品への体験機会の減少、芸術文化への関心の低下
- ・貸館公演の中止による施設使用料の収入減、レストラン、ショップ等の休業、営業不振による付帯事業収入減による館の事業収支の悪化

このような状況をふまえ、貸館・自主事業を以下のように運営します。

#### ① 貸館運営

「Withコロナ」局面においては、上演や集客の見通しが立てにくく従来の経験や知恵を活かすことが難しい場合もあると考えていますが、まずは感染症対策を十分に取りながら、安心・安全に来場者が公演を楽しみ、出演者・スタッフがよりよいパフォーマンスを出せるよう上演環境の提供に努めてまいります。

国内外の良質な公演の誘致については、公演運営環境や音響、立地のよさや知名度、廉価な利用料など従来からの強みに加え、感染拡大防止への対応強化を図ることにより、「Withコロナ」局面における安心・安全面をアピールし、継続的な利用と稼働率の維持向上を図ります。

- 例・楽屋スペースの利用人員を分散するため会議室スペースを提供
- ・サーモグラフィカメラと非接触型体温計の配備
  - ・入場列等整理スタッフの強化

さらに、ICTを活用した配信など新たな公演モデルへの積極的な対応検討や貸館事業と自主事業が連携した公益的なプログラムの実施検討等を進めるとともに、今後、様々な状況の変化に迅速、柔軟に対応していくことで、「Withコロナ」、「Afterコロナ」においても「音楽・舞台芸術の殿堂」としての役割を果たしてまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について

### (1) 基本方針と達成目標

#### ② 「Afterコロナ」を見据えた「Withコロナ」の自主事業

##### 【良質な舞台芸術作品の提供】

「Withコロナ」の局面においては、休館時には自主事業はもとより、実演家・実演家団体も公演の中止や延期せざる状況であるため、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供が断たれるだけでなく、実演家や実演家団体、それらを支える舞台芸術の専門家の活動の機会も失われ、収入も断たれるという状況に陥っています。

このような状況下における公立文化施設が担う役割として、以下の2点が重要と考えます。

1. どのような局面においても優れた舞台芸術を安定して提供していくこと
2. 舞台芸術を支える実演家や専門家等を支援していくこと

これらの実現に向けて、また、「Afterコロナ」を見据え、以下のような取組の実現を目指します。

1. 安全対策を十分に整えた上で積極的な自主事業の実施  
経済的に困窮する状況下で公演の実現が困難な民間(=実演家・実演家団体=貸館主催者)との多様な連携を行いながら、東京文化会館が発掘・育成した人材や舞台芸術の専門家の活躍の場を創出します。

2. 上記の作品・公演の配信  
これらの作品を収録し、「東京文化会館チャンネル」において配信することで、会場に足を運べない観客に提供することで、優れた舞台芸術の鑑賞機会の拡大を図ります。

3. 参加型ワークショップの改編と配信  
東京文化会館のオリジナルである多様な対象に向けたワークショップを改編し、「Withコロナ」の局面においても安心・安全に参加していただける環境を整えます。  
さらに、「東京文化会館チャンネル」の配信に向けて既存の作品の改編や、新たな作品を制作して提供します。

これらの取組を通じて、「Afterコロナ」においても「舞台芸術の殿堂」として生きた舞台芸術を提供を行いながら、優れた舞台芸術を配信を通じたより多くの多様な観客・参加者に提供してまいります。

##### 【安定的運営の基盤構築】

自主事業では入場料収入や文化庁の助成金等に加え、附帯施設事業収入を繰り入れて運営しています。助成金の大半は対象経費の50%補てんとなることから、自己財源の確保は必須ですが、休館が長期に及ぶ場合には運営費の見込みを立てることが困難に、また、客席利用の制限による入場料収入減等、「良質な舞台芸術作品の提供」の安定的な実現は容易ではありません。

このような状況の解決に向けて、以下のような財源確保を目指します。

1. 共同制作の牽引役として他の文化施設等との連携を強化し、制作費の軽減を図ります。
2. 実演家・実演家団体と連携し、開催方法を工夫して入場料収入減を最小限に抑えます。
3. 主催事業の入場料金を他の文化施設や民間等と比較検討し、自由席を指定席に変更する等による来館者への利便性の向上を図った上で改定することを検討します。
4. 立ち上げた協賛金制度に注力し、運営基盤の安定化を図ります。
5. 事業効果を見据え、企業との連携やクラウドファンディング等の活用も検討します。

これらの取組を通じて、「Afterコロナ」においても、安定した資金調達を実現し、鑑賞機会の拡充を目指します。

#### (3) 今後の事業運営のあり方

「Withコロナ」における事業運営において培ったノウハウを、「Afterコロナ」では実施事業の拡大につなげていきます。

1. 運営費の削減と拡充を図り、提供する「舞台芸術」を拡充してまいります。
2. 「実演の場」としてのみならず、「オンライン」における鑑賞・体験の機会を提供してまいります。
3. これらの事業運営を通じて、実演家やそれらを支える舞台芸術の専門家を多角的に安定して支援してまいります。

<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について (2)館の機能の総合的な発揮

日本におけるモダニズム建築の旗手・前川國男の設計により、斬新な外観とともに隅々の意匠にもメッセージが込められた美しい内装を持つコンサートホールとして1961年(昭和36年)4月に開場した東京文化会館。以来、約60年に渡り、オーケストラの音色を響かせ、オペラ、バレエなど舞台芸術の感動を生み、多くの人々の記憶に刻まれて続けています。東京文化会館の歩みは、すなわち、日本におけるクラシック音楽の歴史に重なります。

本格的な舞台装置や、演出を伴うオペラ、バレエの公演を行うことのできる舞台機構を備えると同時に、最高レベルの音響効果を持ち2,303席のキャパシティを誇る大ホール。「奇跡の音響」という代名詞を持ち、独特の雰囲気を持つ空間で音に包まれるような極上の時間を過ごすことのできる小ホール。日本を代表する音楽ホールとして首都東京の文化の柱にそびえ立つ、この「音楽の殿堂」が持つ様々な機能を活用し、その魅力を最大限に発揮するための取組を行います。

### 「舞台芸術の殿堂」として複合的な機能を活かした取組を行います。

私たちは、館の管理運営にあたり、館全体としての魅力を向上するために、

- 大ホールを活用したオペラ、バレエ、オーケストラ、コンクール等の主催事業及び貸館公演
- 小ホールを活用したリサイタルやアンサンブル、新進音楽家の発掘・育成等の主催事業及び貸館公演
- 音楽資料室における楽譜、音源、映像図録、関連図書の閲覧
- リハーサル室や会議室におけるワークショップへの参加

●公演内容に沿ったオリジナルグッズの販売など、豊富な品揃えのギフトショップにおけるショッピング、レストランでの食事など、2つのホールと付随する施設を活用した質の高い「舞台芸術」を「鑑賞する」することを基本に、「学ぶ」「楽しむ」こともできる空間として、来館者が居心地よく、意義深い時間を過ごすことができるように、取組を行っていきます。また、新たな舞台芸術の創造、人材育成等の自主事業を通じて「生まれ」た作品や人材を「育て」、世界へ向けて「羽ばたく」環境を整えてまいります。

#### 1. 「鑑賞する」

大ホール、小ホール及びこれらの付帯施設を活用し、来館者がオペラやバレエ等のクオリティーの高い舞台芸術やコンサート等の公演事業を堪能できる空間を確保します。

また、これ以外にホールのホワイエを活用したコンサートやワークショップ等の事業を行うなど、一体的に活用してまいります。

#### 2. 「生まれ育てる」「羽ばたく」

クラシック音楽の音楽家を目指す若者にとってあこがれの舞台である大ホール、小ホールを、新進音楽家等の発掘・育成にも活用してまいります。コンクールの審査会場として、入賞後の披露演奏を行う場として、そして世界に通用するアーティストとして活躍するために育つ会場として、新進音楽家のファンの鑑賞の機会としても機能します。

また、新たな舞台芸術の創造・発信の会場として、教育プログラムの実践の場としても活用いたします。この会場で生まれた作品が、国内外の文化施設へも羽ばたく機会を創出する場とします。

#### 3. 「学ぶ」

4階音楽資料室では、約13万3千点に及ぶ楽譜や音源、映像、音楽に関連する図書や資料を備え、音楽・舞台芸術に関心を深めるためのスペースを提供してまいります。また、音楽資料室内に、資料検索システム端末を設置し、来館者に情報を提供します。

時代のニーズに沿ったデータベース化やアーカイブ化も促進し、学生や若い世代の認知度を高めると共に専門家にも利用しやすいシステムを整えてまいります。

さらに、会議室等においても資料を活用した講座を開催するなど、「生涯学習の場」としても展開いたします。

主催する社会包摂事業においては超高齢社会を視野にその効果を検証し、成果を発信してまいりました。実施事業の結果を調査・研究してその効果を図り、先駆的な取組を行う施設として広く発信してまいります。

#### 4. 「体験する」「創り育む」

小ホール、リハーサル室やホワイエ、会議室では、バラエティ豊かなワークショップを開催します。0歳から高齢者、障害者等、ジャンルを超えた音楽をツールとしたワークショップにより楽しさを体験し、音楽や芸術に対する関心を高めながら自己表現力やコミュニケーション能力を養う機会を提供します。このような体験の場が、社会的な課題の解決の糸口に、また「生きる力」を育む機会となるよう事業を展開してまいります。

また、舞台の裏側を紹介・体験するバックステージツアーを実施し、観客の関心と理解を深める機会となる取組を行います。

オペラやバレエを上演する施設ならではの、舞台芸術の創作過程に参加するワークショップも開催し、様々な角度から体験し創り育む機会を創出します。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

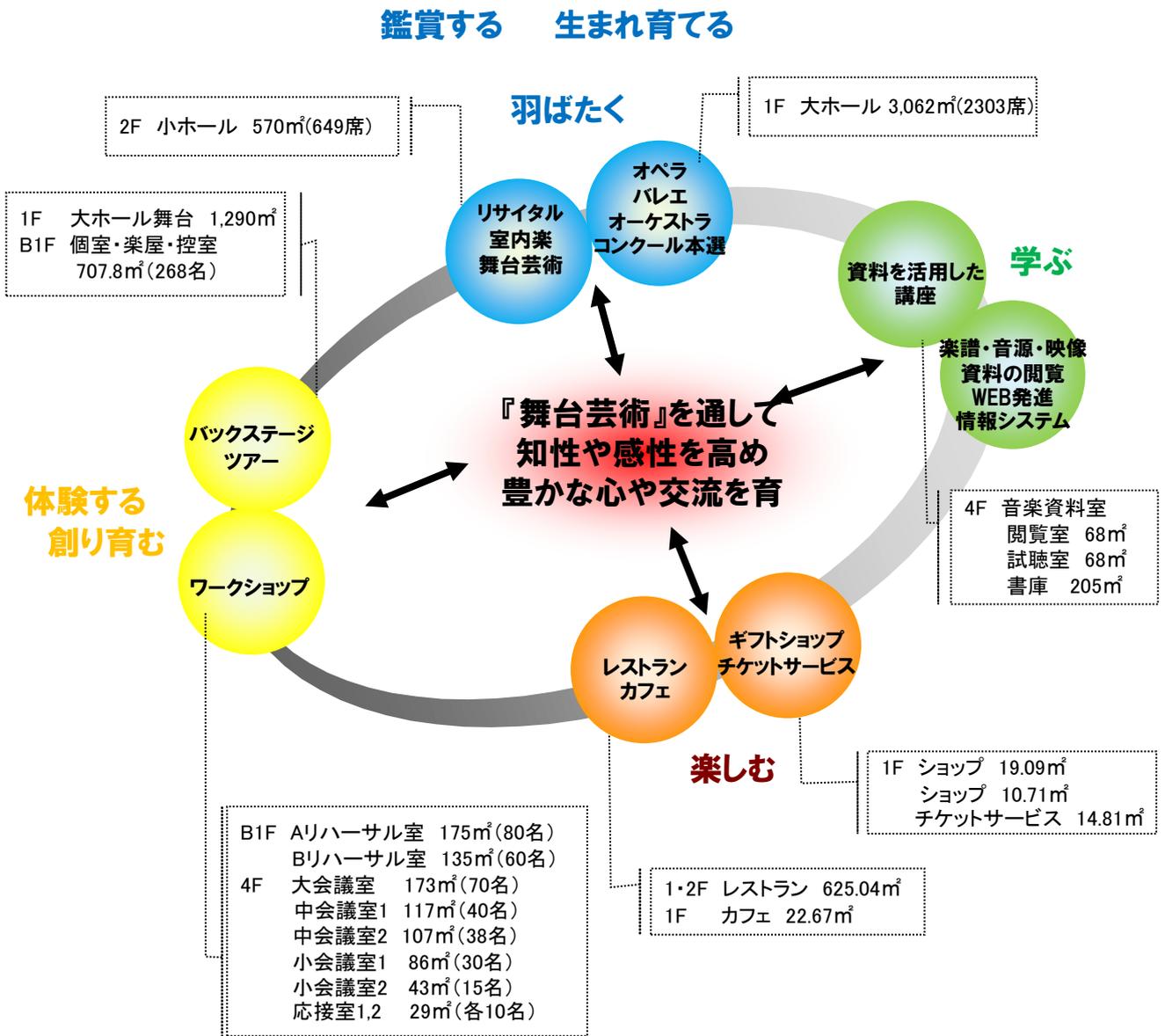
提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(2) 館の機能の総合的な発揮

5. 「楽しむ」

1階にショップやカフェ、2階にレストランを設置し、上演するオペラやバレエ、コンサートに関連した商品を販売していくとともに、公演前後のくつろぎのスペースを来館者に提供してまいります。また、来館者の次の鑑賞のスムーズなチケット購入のために、チケットサービスを設置します。

6. 基幹的な管理運営

その他、良好な状態で館を管理運営するためのスペースを確保し、来館者サービス、自主事業、貸館事業を行ってまいります。



事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

**提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(3)『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けた取組**

**実施方針**

『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けて、東京都が設置する都立文化施設の「舞台芸術」の創造発信拠点として、下記のように貢献してまいります。

**1 都を中心に、市区町村、芸術系大学、民間企業、NPO等の様々な主体とのネットワークを強化し、東京2020大会の文化レガシーを継承しながら、都立文化施設をコアとして芸術文化振興を更に推進するとともに、地域の個性や資源なども活かした多種多様なアートがまちの至る所に溢れる都市を実現**

財団では、東京の芸術文化やエンターテインメントなど多様な魅力の集積を世界に発信するとともに、新たな賑わいをつくっていくため、国や民間とのネットワーク強化の中核的役割を果たしていくことを掲げています。

東京文化会館では、東京2020大会の中心的な文化プログラム「オペラ夏の祭典」のレガシーをアートフェスティバル(仮称)の核とし、都立文化施設が中心となって都内の様々な地域を繋げ、海外から訪れる観光客にも魅力ある、多様な芸術が溢れる都市の実現に向けた事業を展開してまいります。

- アートフェスティバル(仮称)の核としてレガシーオペラ(オペラ夏の祭典)の開催
  - \*首都東京のステイタスの向上に寄与
    - ・新国立劇場や海外の劇場と連携した世界レベルの発信力のあるオペラの企画・制作
    - ・青少年向けに廉価な価格帯を設定 一流の舞台芸術を鑑賞する機会を提供
    - ・特にアジアからの富裕層に向けた、旅行会社等との提携による観客の招致とインバウンド効果の創出
  - \*広く都民に展開する多彩なイベント
    - ・気軽に体験する無料イベントの実施  
 <実績>  
 KITTE 1万人超の動員  
 六本木アートナイト連携 1千人超の動員  
 ライブビューイングの実施  
 (2020年6月予定)  
 公開リハーサル 1万組超の申込
    - ・子供や青少年を対象とした舞台芸術の上演  
 Welcome Youth舞台芸術を活用  
 上演オペラを題材とした子供や青少年に向けた舞台芸術を創作  
 →無料招待や廉価な料金で上演
    - ・レクチャー等を通じた学びの機会を創出
    - ・都立文化施設と都響、都内各地域をアートが繋ぐ多様な連携事業の展開

- まちなかコンサート
  - \*誰でもどこでも気軽に鑑賞
  - ・JRとの連携による電車内コンサート
  - ・他ジャンルの文化施設内で開催するコンサート
  - ・地域と連携したコンサートの開催

- 東京ネットワーク計画/地域等連携事業
  - ・都内外の区市立文化施設と連携した地域の課題に対応したアウトリーチコンサートの開催

- 貸館連携事業
  - ・上野の森バレエホリデイ  
 民間と連携した舞台芸術の普及啓発

都内各所で多彩な音楽芸術と出会う機会を創出



平成31年度 オペラ夏の祭典  
「トウランドット」



イベント  
六本木アートナイト連携

イベント KITTE



まちなかコンサート



プレトーク



JR山手線



シタマチハロウィン



上野の森バレエホリデイ

キャンपी他  
館内各所で

**事業者名・団体名** 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
 (3)『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けた取組

**2 最先端技術の活用による、文化施設に来場困難な方も含め、国籍や障害の有無、年齢に関わらず、誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境を整備**

財団では、AI、ICTなどの最先端技術を活用し、東京を訪れる誰もがストレスなく楽しめる環境整備を徹底し、東京ならではの「特別な体験」等を提供することで、世界中に東京のファンを増やしていくことを目指しています。

東京文化会館では、多様な対象に向けたワークショップやコンサートを開催してまいりました。今後は、更に5Gを活用したタブレット等の端末向けの配信等、道を行く様々な人々、劇場に足を運べない人々等、誰にでも文化芸術を届ける取り組みを行います。

○Workshop Workshop!

- ・館内外、教育機関、福祉施設等でワークショップ
- ・5Gによりタブレットやスマートフォン等を活用した来場困難者に向けた音楽芸術体験の機会を創出

○ライブビューイングの実施

- ・誰でも観られる本格オペラ公演を館外の巨大モニター鑑賞
- ・スマートフォン等を使用して体験できるライブストリーミングも検討

○屋外ミニオペラ

- ・テクノロジーを利用した屋外でのオペラ開催

0歳から高齢者までを対象とした音楽ワークショップ



夏休み子ども音楽会をライブビューイング

**3 才能のあるアーティストを発掘・育成、国内外での活躍を支援し、東京発のアーティストとその作品の国際的評価を高めていくとともに、文化の担い手のすそ野を広げていくため、NPOや文化団体等との連携を強化**

財団では、才能のあるアーティストを発掘・育成、国内外での活躍を支援し、東京発のアーティストの国際的評価を高めていく取組を推進し、東京のプレステージを高めていくことを目標としています。

東京文化会館では、昭和40年より新進音楽家の発掘・育成・支援に取り組み、現在、日本を代表するコンクールの一つである「東京音楽コンクール」を毎年開催し、優秀な音楽家を輩出しています。

今後は、培った海外とのネットワークを活用し、更なる国際的な活躍の機会の創出に取り組み、東京発のアーティストの国際的評価を高めることに貢献いたします。

○東京音楽コンクール

- ・新進音楽家の発掘・育成、支援
- ・国際化の推進

○上野deクラシック

- ・東京音楽コンクール入賞者によるリサイタルや室内楽のコンサート

○オペラBOX

- ・入賞者によるオペラ公演
- ・作品の他の文化施設への巡回公演
- ・実演家団体と連携した全国ツアー

○舞台芸術創造事業

- ・入賞者を起用した舞台芸術の海外公演

○新進音楽家の国際キャリアアップ支援

- ・国際連携による入賞者の演奏機会やスキルアップ機会の創出

オペラ「Four Nights of Dream」のニューヨーク公演  
入賞者による室内楽団を結成して出演



オペラBOX「Help! Help!グロボリンクスだ! ~エイリアン襲来~」を  
実演家団体と連携して文化庁巡回公演として全国で上演

若手アーティストのためのキャリアデザインセミナー/ワークショップ



事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
 (3)『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けた取組

**4 アートの力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など、東京の社会課題の解決に取り組み、日本のリーディングケースとしていく**

財団は、次期指定管理期間中に、東京都の推進する「『未来の東京』戦略ビジョン」の重要な施策として、「クリエイティブ・ウェル・プロジェクト」に取り組むこととしています。このように都立の大規模な美術館・博物館、ホール等が一体的に取り組む財団の事業は画期的なものであり、国内外への発信、還元を積極的に行うことにより、財団のプレゼンスが一層高まるものと考えます。そのためには、仕組みや活動を記録し、「見える化、多言語での発信」が重要です。東京文化会館は、「創造発信の拠点」であると同時に、「人材育成・教育普及と社会包摂の拠点」として、劇場・音楽堂のリーディングケースとなるような取り組みを充実させ、貢献していきたいと考えています。

- Convivial Projectの立上げ…推進強化  
 (コンビニアル・プロジェクト:共に生きるを喜びプロジェクト  
 …2020 on stage & legacyの発展事業)
- \* 福祉施設等と連携した超高齢社会に向けた講座やトレーニングの実施
    - ・ 認知症やアクティブシニア等、対象ごとに学ぶ機会を創出
  - \* 効果を検証（調査・研究）して成果を発信
    - ・ 対象ごとに検証し、効果を報告  
 → 超高齢社会の生きがいの創出へ
  - \* 音が聞こえづらい人に向けた手話付きワークショップの実施
    - ・ 手話を身近に感じる機会にも
  - \* 音が聞こえづらい人でも楽しめる、体感によるコンサートの開催
    - ・ テクノロジーを活用して音楽を体感
  - \* 誰でも来館できるコンサートの開催
    - ・ 障害があっても無くても皆で楽しむ
- Workshop Workshop!  
 ・ 国際学校等と連携した外国人児童に向けたワークショップの実施  
 ・ 定例の館内ワークショップで英語版を実施

調査・研究の報告会を実施



アクティブシニアや認知症の高齢者等、対象別のワークショップを開催・検証



手話付きワークショップの実施



東京国際フランス学園における英語によるワークショップ

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

1.実施方針

全国の文化施設を牽引する役割を担う文化施設として、国内外の劇場や文化施設などと積極的に連携・協力し、海外の優れた先駆的な舞台芸術や、多様な芸術文化の魅力を広く・強く、特に子供や青少年に発信し全国に還元していくことで、次代を支える新たな顧客を創出するとともにあらゆる人々が芸術文化に参加する機会を創出してまいります。

連携	連携の取組	展開例
海外	優れた舞台芸術の積極的な共同制作や、新進音楽家の活躍の機会、欧米の先駆的な教育プログラム連携を拡大し、あらゆる人が芸術文化に参加し、交流する機会を創出してまいります。	
	舞台芸術の共同制作	斬新な作品を提案する海外の劇場と連携し、興行公演では観ることができない新しい舞台芸術の魅力を発信
	新進音楽家の国際交流	国際的な連携を構築し、海外での研鑽や活躍の場を創出
	先駆的な教育プログラムの実施	先行して取り組む教育プログラムを充実させ、劇場が持つ社会的な機能を十分に発揮していくために、欧米の先駆的な教育プログラムの連携を拡大
国内	全国公立文化施設協会の会長館として、様々な相談窓口となり、各種研修会の実施などを通じて文化施設のネットワークを強化し牽引する役目を引き続き担ってまいります。また、優れた舞台芸術を創造して都内各地や全国に還元し、また、地方劇場への企画協力や共同制作を通じて首都・東京を代表する劇場として牽引役を務めてまいります。	
	舞台芸術の共同制作・企画協力	優れた舞台芸術をより多くの観客へ提供するために、新国立劇場や地方の文化施設と積極的に共同制作や作品提供(企画協力)を実施  新進音楽家を起用したコンサート等の地方劇場向けの企画・協力を実施し連携の強化を図りながら演奏機会を創出
	教育プログラムを都内各地・地方へ還元	都内各地で開催している先駆的取組を、地方の文化施設とも連携・協力して全国に還元  ワークショップリーダー育成プログラムを通じて地方の教育プログラム牽引役を育成し地域へ還元
都内	都立文化施設として、区市町村の文化施設や教育機関と連携し、区市町村自治体では実現できない芸術文化に親しむ機会を創出してまいります。	
	区市町村・教育機関等との連携	・区市町村では実現不可能な舞台芸術の体験の機会を、自治体や教育機関、福祉機関等と連携してアウトリーチ等により創出すると共に、社会的な課題の解決の糸口となるようなニーズに対応したプログラムを各機関との協働により創造し提供する  <具体例> アウトリーチ・コンサート、アウトリーチ・ワークショップ、クリニック等 都内各地の保育園・幼稚園、小中学校、高校で開催 特別支援学校、高齢者施設、病院等で開催

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

連携	連携の取組	展開例
都内	多摩・島しょ地域における取組み	<p>【鑑賞機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村教育機関と連携したコンサートの積極的な開催</li> <li>・新進音楽家による島しょ地域へのアウトリーチコンサートの実施</li> </ul> <p>【体験機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立川市等の公立文化施設や島しょ地域の自治体と連携して、0歳児から大人までが参加できるオリジナルワークショップを共催して提供</li> <li>・教育機関と連携したワークショップの実施</li> </ul>
	都内全域でオーケストラコンサート	自治体と連携した、各地域における新進演奏家の演奏機会とプロオーケストラの演奏を聴く機会を創出する「フレッシュ名曲コンサート」や付随するミニコンサートの実施
財団	財団が一括管理するスケールメリットを活用し、音楽・舞台芸術を担う都立文化施設として、東京芸術劇場との役割を明確にして魅力的な事業を連携して展開するとともに、音楽施設と美術館・博物館という、異なったジャンルの芸術とのコラボレーションを強化し、魅力の相乗効果を図ります。	
	東京芸術劇場との多様な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホールの特徴を生かした共通テーマを持つ公演を企画して、魅力の相乗効果を図る</li> <li>・育成している「人材」を起用した主催事業を展開し活躍の機会を創出</li> <li>・専門的な職員の技術の共有を図り、挑戦的な舞台芸術の実現に向けた協力体制を強化</li> <li>・多角的な展開が必要な教育プログラムは2館が協働</li> <li>・主催事業への職員視察を推奨し、特徴ある制作現場のノウハウを共有</li> <li>・各施設の予約するシステムを共有し、それぞれのホール利用者に斡旋することを検討。サービス向上につとめ稼働率の相乗効果を図る</li> </ul>
	子供の文化施設デビューを応援する事業	子供たちの文化施設デビューを応援する都美との連携企画「あいうえの冒険隊」や主催するミュージックワークショップ等の都立各文化施設が連携した事業を通じて子供たちが文化芸術に親しむ機会を多角的に創出 Welcome Youth事業を活用した、子供や青少年に向けた舞台芸術の鑑賞機会を都の教育機関と連携して実施
	教育・社会包摂プログラムの共同制作	次代を担う子供達から高齢者、障害者などの社会的弱者等のあらゆる人々が参加できる教育・社会包摂プログラムを連携して実施し、多様な芸術の可能性を共に展開
	パートナーシップ事業(大学等)	財団のパートナーシップ事業を活用し、都内及び近隣の大学等を対象として若者の芸術文化に親しむ機会を創出
	人材育成×様々な芸術文化	新進アーティスト起用＝人材育成「まちなかコンサート」の各文化施設開催等によるジャンルの異なる芸術を繋げる役割を担う
	広報	各館の人材育成を総合的にアピールする取組の実施 広報紙＝新進デザイナー×新進アーティスト
地域	上野地区の多彩な芸術文化の発展を担う「文化の杜」新構想への積極的な取組を通じて、地域の多角的発展に寄与してまいります。	
	地域振興のイベント連携	上野地区の多彩なイベントに参画し、音楽芸術や建築物としての魅力を通じて地域の振興に積極的に寄与
	教育プログラムの連携	藝大や上野学園などの近隣の大学や文化施設と協働し連携教育プログラムの発信拠点として機能

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

## 2.具体的な取組と展開

## (1) コンサートやオペラ等の舞台芸術の共同制作／巡回公演

令和元年度より、東京都と共催し、新国立劇場や海外の劇場との共同制作として「オペラ夏の祭典」の2作品のオペラを、海外ではザルツブルクとドレスデン、国内では札幌や滋賀など複数の劇場で上演しました。これらの作品は、国内では近年稀にみる規模の、国際的な発信力の高い作品として注目を集めています。

それに先立ち、平成30年度には、東京文化会館と新国立劇場は連携・協力に関する協定書を締結しています。都と国を代表する施設間の連携を通じ、今後の活発な連携による優れた舞台芸術の創造が期待されています。

また、ニューヨークにおける国際共同制作の実現、創造した舞台芸術やコンサートの国内における巡回公演、実演家団体との協働による巡回公演の実現など、国内外で構築したネットワークはますます拡大し、全国規模の舞台芸術の共同制作の拠点として実績を上あげてまいりました。

今後も、構築したネットワークを活用した国際共同制作を継続して実施していくことを目指しています。更に、教育機関との連携した特別支援学校への鑑賞機会の提供や、都内文化施設の牽引役として、都内全域における鑑賞機会の一層の創出に努めてまいります。

## (2) 教育普及・社会包摂における連携

国際的な連携に大きな一歩を踏み出して間もない「教育普及の拠点」としての役割を担う取組みに、国内外から大きな注目を集めています。

また、社会的な課題の解決の糸口となるべく、専門的なトレーニングを実施し、福祉機関等とも連携しながら、障害者や高齢者等へプログラムの制作・提供を開始し、その検証に取り組み始めています。

このような長期的な視野に立ち推進すべき事業については、海外のネットワークの活用はもとより、育んだノウハウを都内文化施設、教育機関、都外の文化施設との連携を通じて全国規模で共有し、拡散してまいります。

## (3) 人材育成における連携

「東京音楽コンクール」を通じて多くの新進音楽家を輩出してまいりました。今後は、コンクールの国際化を発展させ、特にアジア圏の音楽大学等と連携しながら、日本と海外の音楽家が切磋琢磨して成長していく機会を創出してまいります。

また、海外における活躍の機会創出にも努め、世界各地での活躍の場の創出や舞台芸術公演における海外での演奏機会の創出を推進してまいります。

さらに、海外から講師を招聘し、アーティストとしてのキャリアアップに必要なノウハウを学ぶ機会も創出してまいります。

ワークショップ・リーダーの育成プログラムには、都内のみならず、全国各地から参加者が集まります。先駆的な取組を行う海外の劇場や団体と連携して多様なトレーニングを実施しています。培ったノウハウは都内のみならず地方へも還元されていますが、今後は更に連携を進めて、双方のプログラムの共有や、人材の交流の機会を創出し、幅広くプログラムが拡散していくことを目指してまいります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**1. 事業の実施方針**

**(1) 鑑賞～創造発信**

**芸術文化の振興～継続的な共同制作の実施へ**

海外の一流劇場によるオペラ・バレエ公演等の鑑賞機会の提供や、舞台芸術の振興に繋がる新しく次世代にも魅力を伝える多様な事業を提案します。

また、文化施設を牽引する「舞台芸術の殿堂」の役割として、オペラの共同制作は地方の文化施設から常に求められています。オリンピックに華を飾る「オペラ夏の祭典」では、新国立劇場や海外の劇場と共同制作し、地方の複数の文化施設とも連携してオペラ2作品の制作を実現し、大きな注目を集めています。

この機会をきっかけとして、培ったノウハウを継承しながら、オリンピックのレガシーとして大ホール規模のオペラや様々な舞台芸術を継続的に共同制作し、全国規模で展開し、芸術文化の振興に寄与してまいります。

**(2) 教育普及・社会包摂**

**あらゆる人々の鑑賞、参加、交流機会の創出～社会的課題への取組**

0歳児、児童、若者から高齢者、障害者など、世代や環境が異なるあらゆる人々に向けた多様なプログラムを展開し、音楽芸術をツールとした鑑賞、参加、交流する機会を創出していきます。

**(3) 人材育成**

**若手の活躍機会の創出**

優れた若い人材の学ぶ機会や活躍する機会を掴む事業を展開します。

若手が活躍する鑑賞型・体験型の事業を幅広く展開します。

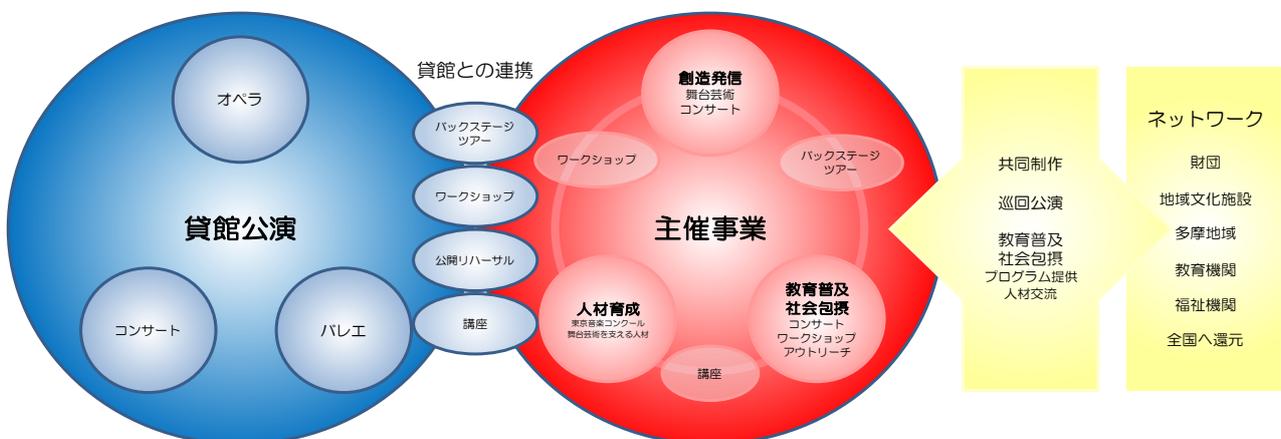
また、大学等との連携(パートナーシップ事業)等を通じて若年層の劇場に足を運ぶ機会を創出します。

**(4) ネットワークの活用**

施設を利用する実演家団体等との連携や、国内外のネットワークを強化し魅力ある事業を幅広く展開します。

新進若手の活躍する手段としてもネットワークを活用し、23区から多摩地域へ、そして地方とも連携を進め全国に還元します。

**イメージ**



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1)魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**2. あらゆる世代、様々な個性を有する人々に集い親しまれる劇場へ ～社会包摂への取組**

**(1)基本的な考え方**

**1 劇場が「参加交流」できる「広場」となり、「社会包摂」のための「居場所」とな**

劇場法の施行や文化芸術振興基本法の改正を機に、劇場のあり方・求められる役割が変わってきています。公立文化施設には、文化芸術の振興、文化芸術の力を活用した社会的課題解決に向けて、積極的な自主事業の展開が求められています。こうした社会の動向を踏まえ、今後6年間の当館の目指す姿は次のとおりです。

**より多くの人々に集い親しまれる劇場へ～「音楽・舞台芸術の殿堂」=響きあう感動をあらゆる人々と～**

「音楽・舞台芸術の殿堂」との評価をいただいてきた当館は、引き続き、その中核的価値である高水準の舞台芸術の鑑賞機会の提供に尽力するとともに、音楽・舞台芸術の素晴らしさをより多くの方々に味わっていただけるよう、「音楽への入口体験から本格鑑賞・演奏への橋渡し」をするとともに、乳幼児から青少年、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代、障害者、外国人等、様々な個性を有する方々にとって「参加交流」できる「広場」となり「社会包摂」のための「居場所」となることを目指していきます。

**2 参加交流の促進・社会的課題に対応したプログラムの充実**

こうした姿を目指し、これまでの伝統を守りつつ、さらに進化していくため、教育普及・社会包摂事業に力を入れ、参加交流を促進し社会的課題に対応したプログラムの充実を進めます。

**3 全国的な社会包摂への取組の牽引役を目指す**

平成25年度に開始した国際連携によるワークショップを柱事業へと成長させ、国内の先進劇場との連携や取組みを始める劇場への支援を行い、また、RESEOを活用し、海外劇場とのネットワークも構築しながら、全国的な社会包摂への取組みを牽引する館となれるよう、取り組んでまいります。

**(2)取組の方向性**

- 音楽をツールとした様々なプログラムにより社会との関わりを持つ機会を創出
- あらゆる世代、様々な個性や不安を有する人々、誰もが集い交流できる劇場に
- 劇場に足を運べない方々にも音楽の力を

様々な  
参加交流

**1 気軽に参加し、きっかけをつくる ～単発プログラム**

- ・ 音楽・楽器に関する知識や経験がなくても気軽に参加し楽しめるグループワーク
- ・ 気軽に1度参加し、「社会性」・「コミュニケーション」・「自己肯定」のきっかけを作る

**2 参加交流を深めコミュニティの形成へ ～長期プログラム**

- ・ 一定期間継続的にグループワークを行い、制作し成果発表等を行う
- ・ 達成感・自己肯定感を感じていただくとともに、交流を深め、居場所となる「コミュニティ」の形成につなげる

**3 課題別のプログラムとソーシャルミックス**

- ・ 社会的課題に対応したプログラムは、属性や個性に応じて関係機関と連携し、オーダーメイドのきめ細かな対応が必要であるため、ターゲットを絞り効果的に展開する
- ・ 社会性・社会包摂の観点からは、様々な人々が参加交流することが望ましく、対象をオープンにしたプログラムとともに、課題別プログラム参加者間の交流等を図る

**事業者名・団体名** 公益財団法人東京都歴史文化財団

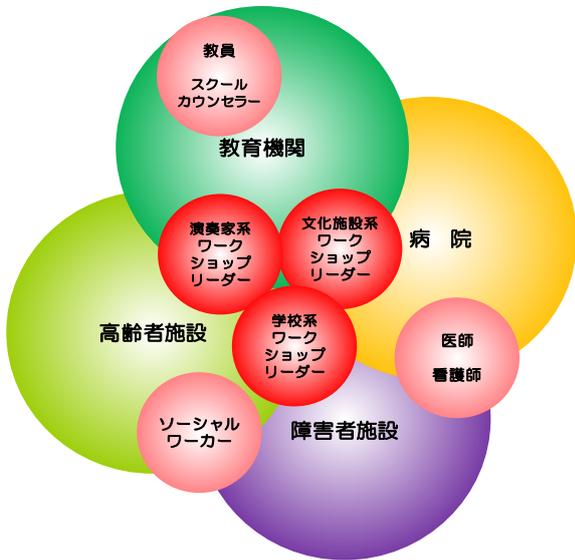
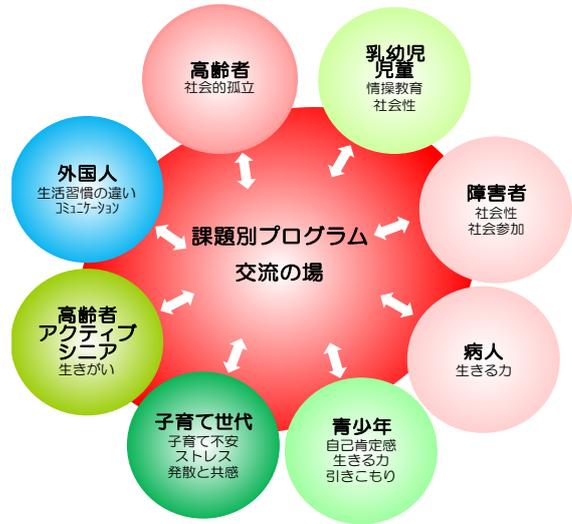
提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

4 アウトリーチプログラム

- ・ 教育機関や福祉施設とも連携した積極的なアウトリーチを実施し、幅広い層の参加から社会との繋がりを創出
- ・ 劇場に足を運べない人にも音楽をツールとした楽しさや生きる喜びを感じるひとときを届ける

5 ワークショップリーダー等、担い手の交流

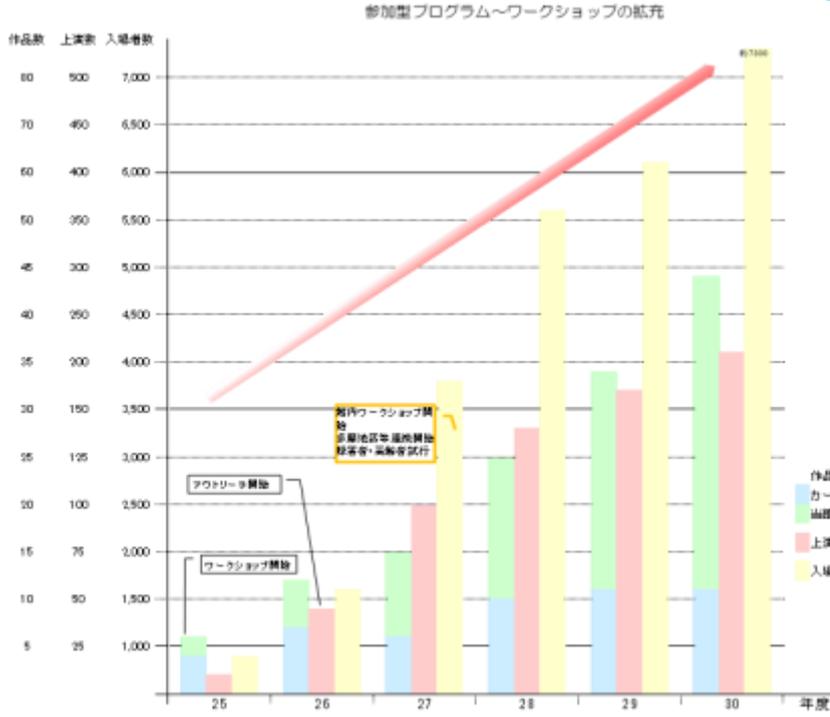
- ・ 様々な取組を通じて、次代の担い手たちが集う、交流の場所となる
- ・ 交流を通じて、新たな繋がりや取組の創出へ



(3)実績と今後

平成25年度に開始した参加型プログラムは、7年を経て、参加者は顕著に増加しており、確かなニーズを感じています。

今後の6年間、館の中核を担う柱として発展させていきます。



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

3. 事業体系

(1) 考え方

東京文化会館のミッションに基づき、一流オペラやバレエの積極的な誘致による質の高い鑑賞機会の創出に加え、連携による普及事業の充実を図ります。

また、自主事業では劇場法や文化ビジョンを踏まえた芸術文化の振興に積極的に貢献していくため、「創造発信」「教育普及・社会包摂」「人材育成」を3つの柱として自主事業を展開してまいります。多様な事業には育成した人材を起用し、活躍する機会を創出します。これらの事業を集中的に開催する時期を「フェスティバル」として展開し、地域の活性化にも寄与してまいります。

事業体系		展開例
貸館	オペラ バレエ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京文化会館ならではの、海外の著名劇場公演によるオペラやバレエ鑑賞の機会の創出</li> <li>●公益性の高い事業連携による普及事業の充実</li> <li>●幅広いジャンルの公演の積極的な誘致～若年層の来館機会の創出へ</li> </ul>
	舞台芸術 シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京2020東京大会のレガシーとして国際的に発信力のあるオペラを新国立劇場と継続的に共同制作を実施</li> <li>●演劇、舞踊、映像、伝統芸能など、異なるジャンルとコラボレーションした新たな舞台芸術を創造し発信し、多様な観客が施設に足を運ぶ機会を創出</li> <li>●国際連携によるオペラや海外で活躍する邦人の作品を初演するなど先進的な試みに挑戦</li> <li>●小ホールでのオペラの創造を始めとしたホールの活用や他の文化施設や地方と連携</li> <li>●子供や若い世代が楽しめる質の高い舞台芸術を創造しあらゆる世代の鑑賞機会を創出</li> </ul>
創造発信	コンサート シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多ジャンルの音楽界トップアーティストによる演奏を奇跡の音響と言われる小ホールで味わう贅沢なひと時を手頃な料金で提供</li> <li>●都響と連携したのコンサートを開催</li> <li>●オリジナル企画のリサイタル、室内楽公演を制作し新進演奏家の演奏機会を創出</li> </ul>
	コンサート シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休み子供音楽会を基本に、全館を活用した誰もが音楽芸術に親しむ機会を創出</li> <li>●0歳児から障害者までを対象とした上質なコンサートを企画制作</li> <li>●新進演奏家によるクラシック初心者向けのコンサートを企画制作</li> <li>●教育機関や福祉機関、他の文化施設と連携したアウトリーチを実施</li> </ul>
教育普及・社会包摂	ワークショップ シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外の先駆的な劇場等と連携し、0歳児から高齢者まで幅広い対象に向けた多様な参加型プログラムを展開</li> <li>●障害者や社会的に孤立した状況にある人々などの社会的な包摂を図り、音楽・舞台の喜びの体験や芸術家との直接の触れあい等を伴うワークショップを実施</li> <li>●舞台芸術創造に直接関わるグループワークショップにより舞台芸術の理解を深め、参加者間のコミュニケーション能力も育む</li> <li>●教育機関や福祉施設等とも連携した積極的なアウトリーチ活動を継続して実施し、幅広い層に芸術に触れる機会を提供</li> <li>●様々な対象に向けた事業の効果を調査・研究し、その成果を広く発信</li> </ul>
	普及プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を活用した都響連携の無料コンサート、舞台の裏側、建築物としての魅力を伝える事業による認知度を高める取組みを実施</li> <li>●パートナーシップ事業(大学等)を活用し若年層の芸術文化体験の機会を創出</li> <li>●音楽資料室ではレファレンスや資料を活用した講座等を積極的に実施し、認知度の向上と利用者の増加を図る</li> </ul>
人材育成	新進音楽家育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●才能あふれる実力を備えた若手音楽家を発掘するため、ピアノ・弦楽・木管・金管・声楽の5部門で、東京音楽コンクールを実施</li> <li>●特にアジアに向けた国際化を更に推進</li> <li>●更なる知名度アップと水準の向上を図る＝新進音楽家の登竜門として定着へ</li> <li>●優勝者コンサートをはじめ、様々なコンサートへの出演機会を提供し、リサイタルへの支援、マスタークラスの実施等、継続的な育成・支援を拡充</li> <li>●海外での演奏機会の創出や、海外との交流機会を充実</li> </ul>
	舞台芸術を支える 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが芸術に親しむ機会を創出するための取組として実施しているワークショップの担い手を発掘・育成し、活躍する場を提供</li> <li>●教育機関からのインターン受け入れ</li> <li>●舞台芸術のワークショップを通じて、企画制作、舞台美術・照明・音響などホール運営を支える人材を育成</li> </ul>

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について**  
**(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**(2) 目標及び指定管理期間の実施方針**

私たちは、平成30年度より5年間の「文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業」に採択され全国の文化施設を牽引する16施設の1施設として、多様な事業展開を行っています。  
 令和3年度からの6年間は、輝かしい**伝統を継承**しながら、培った制作力やネットワークを活用した**優れたオペラ作品や新しい舞台芸術を企画・制作**し、あらゆる人々が集う**真の劇場**として役割を果たしてまいります。  
 東京2020大会の文化プログラム「オペラ夏の祭典」等を積極的に展開し、その成果をレガシーとして継承してまいります。  
 「創造発信」「教育普及・社会包摂」「人材育成」の三本柱を軸として、「人材育成」で輩出された人材を「教育普及・社会包摂」「創造発信」で活用しながら多様な事業を展開し、常に時代のニーズに合わせて拡充してまいります。  
 他を牽引する首都・東京を代表する舞台芸術文化の拠点として国内外にアピールしてまいります。

**次期6年間の新規・拡充提案**

創造発信	<b>ポイント1</b> 培った制作力を活用して舞台芸術を創造発信→鑑賞機会を拡充
	■アートフェスティバル(仮称)の核として <b>レガシーオペラ (オペラ夏の祭典) の新規開催</b> *首都東京のステータスの向上に寄与 ・新国立劇場や海外の劇場と連携した世界レベルの発信力のあるオペラの企画・制作 ・青少年向けに廉価な価格帯を設定／一流の舞台芸術を鑑賞する機会を提供 ・特にアジアからの富裕層に向けた、旅行会社等との提携による観客の招致とインバウンド効果の創出
	■ <b>開館60周年記念事業の実施</b>  ・多彩なフェスティバル記念事業を実施（ガラコンサート、ワークショップ、地域連携のイベント）
	■ <b>Welcome Youth舞台芸術（仮）を新規展開</b> ・高い芸術性を担保した舞台芸術を新たに児童や青少年向けに創造。次代を担う子供達の舞台芸術鑑賞の機会を創出。
教育普及・社会包摂	<b>ポイント2</b> テクノロジーを活用して多様な人々の参加・鑑賞機会を拡充
	■ <b>Workshop Workshop!</b> ・5G等によるタブレットやスマートフォン等を活用した来場困難者に向けた音楽芸術体験の機会を創出
	■ <b>ライブビューイングの実施</b> ・誰でも観られる本格オペラ公演を館外の巨大モニター鑑賞 ■テクノロジーを利用した <b>屋外ミニオペラ</b>
人材育成	<b>ポイント3</b> 踏み込んだ社会包摂事業展開
	■ <b>Convivial Projectの立上げ</b> …推進強化 (コンビビアル・プロジェクト:共に生きるを喜びプロジェクト …2020 on stage & legacyの発展事業) *福祉施設等と連携した超高齢社会に向けた講座やトレーニングの実施 ・認知症やアクティブシニア等、対象ごとに学ぶ機会を創出 ・専門家や大学等との連携による調査・研究の推進と発信
人材育成	<b>ポイント4</b> ネットワークを活用した国際化の推進
	■ <b>東京音楽コンクール</b> ・新進音楽家の発掘・育成、支援 ・国際化の推進 ■ <b>新進音楽家の国際キャリアアップ支援</b> ・国際連携による入賞者の演奏機会やキルアップ機会の創出 海外の音楽祭への出演機会の創出や一流の音楽家によるマスタークラスの実施等を開催 ■ <b>ワークショップリーダーの研鑽・活躍機会</b> ・国際連携によるキルアップ機会と国内連携における活躍の機会の拡大

<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

#### 4. 創造発信事業の実施方針

東京文化会館が取り組むオリジナルの舞台芸術を発展するとともに、財団の推進する「Welcome Youth」事業に則った若手向けの舞台芸術の創造も開始し、以下の方針に沿って展開します。

##### (1) 新たな舞台芸術の創造～幅広い観客創出

他ジャンルとのコラボ等の新たな舞台芸術を創造して、大・小ホールを持つ魅力を新たな可能性とともに提案し、児童や若者等、次世代も視野にした幅広い観客の創出に繋がります。

特に児童や青少年を主な対象とした質の高い舞台芸術の創造に取り組み、「Welcome Youth 事業」を活用して、身近に親しむ機会を創出し、その成果を都内外の文化施設に還元します。

##### (2) 世界に発信する共同制作の継続実施

東京2020大会のレガシーとして、新国立劇場と継続してオペラを共同制作し、東京から世界に発信してまいります。

##### (3) 様々な舞台芸術の鑑賞・体験～多様な文化の共有

様々なジャンルの一流のアーティストを起用した鑑賞機会を創出し贅沢なひと時を公立文化施設ならではの廉価で提供するとともに、多様な文化を学ぶ機会とします。

##### (4) 若手の活躍機会を創出

新進アーティストが活躍する機会を創出し研鑽と魅力を多くの観客に伝える場とします。

##### (5) 様々な対象へのアプローチ

あらゆる人々を対象とした事業を展開し、人との繋がりを育て豊かな心を醸成します。

#### 5. 展開の視点

劇場法の施行以降、貸館公演では実施しにくい新しい舞台芸術の提案に取り組み、新たな観客へのアプローチを開始しています。

「オペラ夏の祭典」の開催によりコアなファンだけでなく一般の方々へも幅広くオペラへの関心が高まっています。このような機運を機会ととらえ、観客の高齢化や今後の貸館運営を鑑み、公立文化施設ならではの公益事業を以下のような視点で長期的に展開します。

国際・国内連携	世界的に注目されるハイレベルのオペラ作品を国内外と連携して企画・制作します。芸術性は高いが民間では実現し得ない、海外で注目を集める邦人アーティストの作品や日本の文豪による作品を題材としたオペラ、斬新な演出作品の紹介等を国内外の劇場等と連携して企画・制作します。また子供や青少年向けにも同様に作品を創造し提供します。
舞台芸術の魅力	「舞台芸術の殿堂」の役割として、オペラやバレエの魅力を広く周知するために積極的な自主事業を展開するだけでなく貸館主催者とも連携して幅広く発信していきます。
他・多ジャンルとのコラボレーション	既存の舞台芸術に捉われず、日本舞踊や能等の伝統芸能や映像等の様々なジャンルの舞台芸術を融合した新たな舞台芸術作品を創造し発信していきます。
「新しいクラシック」の提案	時代が求めるクラシック音楽のあり方を追求し、音楽を楽しむ観客の拡大に寄与します。
鑑賞機会の創出	子供から高齢者や障害者、クラシックになじみのない方からコアなクラシックファンまで、誰もが楽しめる上質なコンサートを幅広く企画制作し提供します。特に「奇跡の響」と称賛される小ホールでは民間では実現できない一流音楽家のコンサートを企画・提供し、都民が気軽に上質な音楽に親しむ機会を創出します。
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

6. 展開例

内容	対象	展開例
	クラシックファン  多ジャンル芸術ファン  一般	○レガシーオペラ(仮称)の共同制作 <b>New!</b> ○舞台芸術創造事業 ・海外との連携作品の初演 ・伝統芸能(日本舞踊・能等)とのコラボ ・文豪シリーズ ・人形劇と現代音楽 ・映像とのコラボ 等 ○創遊・楽落らいぶ

児童からコアなファンまで楽しめる舞台芸術  
**舞台芸術シリーズ**



オペラ夏の祭典 Japan⇄Tokyo⇄World オペラ「トウランドット」



オペラ初心者・児童・青少年・ファミリー

○オペラBOX ○Welcome Youth舞台芸術(仮) **New!**



「オペラBOX」より  
  
 「オペラをつくろう!」  
 参加児童の合唱出演と  
 工作作品を  
 舞台装置の一部に活用



全国へ還元

○地域等連携事業 創造した作品を都内外の施設等と連携して各地で開催

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

内容	対象	展開例
子供から一般・音楽ファンも対象とした身近な音楽体験  <b>コンサートシリーズ</b>	クラシックファン 多ジャンルの音楽ファン 一般	○プラチナ・シリーズ ○シャイニング・シリーズ ○響の森コンサート



Music Program TOKYO  
Enjoy Concerts!

プラチナ・シリーズ

シャイニング・シリーズ

ポローニャ歌劇場 弦楽五重奏  
～東京音楽コンクール入賞者とともに



アクティブシニア 児童 一般/初心者
--------------------------

○上野deクラシック ・アクティブシニア向けの平日午前のコンサート ・ファミリー向けの休日や夏休みのコンサート ・19時からの1時間コンサート
--



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について (1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針						
7. 創造発信の事業内容(想定)						
事業名	内 容					
<b>舞台芸術シリーズ[既成の音楽ジャンルや表現形式に捉われず新たな可能性を追求した作品を創造]</b>						
舞台芸術創造事業	○国際連携 海外で注目を集める邦人アーティストや日本を題材とした作品、斬新な演出作品の紹介等を海外の劇場等と連携して企画・制作 ○他・多ジャンルとのコラボレーション 既存の舞台芸術に捉われず、様々なジャンルの舞台芸術を融合した新たな舞台芸術作品を創造・発信					
レガシーオペラ(仮称)	オリンピック・パラリンピック文化プログラムのレガシーとして、2年ごとに新国立劇場と共同制作。世界をけん引する規模のオペラ作品を創造発信していく。 ・国際連携 ・地方文化施設、実演家団体との連携(予定)					
オペラBOX	小ホールの限られた空間を最大限に活用し、新しいオペラの可能性を探り幅広い層に向けた作品を企画制作し発信 ・東京音楽コンクール入賞者の演奏機会を創出 ・「オペラをつくろう!」と連携。					
創遊・楽落らいぶ	小ホールの限られた空間を最大限に活用した、音楽と落語のコラボレーション。 演奏、落語とのセッションの2部構成で創造する。					
地域等連携事業	都内外の文化施設と連携し、舞台芸術創造事業の地方文化施設における公演、子供達や高齢者等を対象としたワークショップ、若手アーティストの活躍の場の提供協力等を行う。					
創造発信	<table border="1"> <tr> <td>                     P r o m o t i o n a l C o n c e r t a i n g S e r i e s (旧Jazz meets Classic)                 </td> <td>                     Welcome Youth舞台芸術(仮称)                 </td> <td>                     子供や青少年でも楽しめる質の高い舞台芸術作品の鑑賞・体験機会を創出する。 オペラBOXや舞台芸術創造事業で制作している作品の子供や青少年向けの作品として再制作・新規制作し、ワークショップ、コンサート等を体験してきた児童やファミリー、青少年の新たな舞台芸術体験の機会を創出する。                 </td> </tr> </table>	P r o m o t i o n a l C o n c e r t a i n g S e r i e s (旧Jazz meets Classic)	Welcome Youth舞台芸術(仮称)	子供や青少年でも楽しめる質の高い舞台芸術作品の鑑賞・体験機会を創出する。 オペラBOXや舞台芸術創造事業で制作している作品の子供や青少年向けの作品として再制作・新規制作し、ワークショップ、コンサート等を体験してきた児童やファミリー、青少年の新たな舞台芸術体験の機会を創出する。		
	P r o m o t i o n a l C o n c e r t a i n g S e r i e s (旧Jazz meets Classic)	Welcome Youth舞台芸術(仮称)	子供や青少年でも楽しめる質の高い舞台芸術作品の鑑賞・体験機会を創出する。 オペラBOXや舞台芸術創造事業で制作している作品の子供や青少年向けの作品として再制作・新規制作し、ワークショップ、コンサート等を体験してきた児童やファミリー、青少年の新たな舞台芸術体験の機会を創出する。			
<b>コンサートシリーズ[クラシックを基軸とし多様な可能性を追求したコンサート]</b>						
響の森	<table border="1"> <tr> <td>                     M u s i c T o k y o Y o u t h O p e r a S e r i e s                 </td> <td>                     Enjoy Concerts! プラチナ・シリーズ                 </td> <td>                     「奇跡の音響」と称される小ホールで、民間では実現できない一流アーティストによる珠玉のコンサートを企画・制作。贅沢なひとときを手頃な料金で提供                 </td> </tr> <tr> <td>                     Enjoy Concerts! シャイニング・アーティスト・シリーズ                 </td> <td>                     東京音楽コンクール入賞者等の新進音楽家による高質なクラシックコンサート。若手アーティストの活躍の機会を創出                 </td> </tr> </table>	M u s i c T o k y o Y o u t h O p e r a S e r i e s	Enjoy Concerts! プラチナ・シリーズ	「奇跡の音響」と称される小ホールで、民間では実現できない一流アーティストによる珠玉のコンサートを企画・制作。贅沢なひとときを手頃な料金で提供	Enjoy Concerts! シャイニング・アーティスト・シリーズ	東京音楽コンクール入賞者等の新進音楽家による高質なクラシックコンサート。若手アーティストの活躍の機会を創出
	M u s i c T o k y o Y o u t h O p e r a S e r i e s	Enjoy Concerts! プラチナ・シリーズ	「奇跡の音響」と称される小ホールで、民間では実現できない一流アーティストによる珠玉のコンサートを企画・制作。贅沢なひとときを手頃な料金で提供			
Enjoy Concerts! シャイニング・アーティスト・シリーズ	東京音楽コンクール入賞者等の新進音楽家による高質なクラシックコンサート。若手アーティストの活躍の機会を創出					
入賞者シリーズ	<table border="1"> <tr> <td>                     サマーコンサート                 </td> <td>                     優れたオーケストラのコンサートを、手頃な価格で提供。音楽監督プロデュースにより開催テーマを定め、都響によるコンサートを夏、冬のシーズンで実施                 </td> </tr> <tr> <td>                     ニューイヤーコンサート                 </td> <td></td> </tr> </table>	サマーコンサート	優れたオーケストラのコンサートを、手頃な価格で提供。音楽監督プロデュースにより開催テーマを定め、都響によるコンサートを夏、冬のシーズンで実施	ニューイヤーコンサート		
	サマーコンサート	優れたオーケストラのコンサートを、手頃な価格で提供。音楽監督プロデュースにより開催テーマを定め、都響によるコンサートを夏、冬のシーズンで実施				
ニューイヤーコンサート						
<table border="1"> <tr> <td>                     上野deクラシック                 </td> <td>                     ○東京音楽コンクール入賞者を起用 平日の午前リサイタル…入賞者デビューコンサート デビュー後の入賞者が活躍する機会…その他のコンサート【新企画】                       ・リサイタル:解説付きの名曲コンサート 1時間公演 550円(午前6回) 1100円(夜2回)                      ・室内楽:解説付きの名曲コンサート 1時間公演1100円(午前2回/夜1回) 2時間公演1650円(マチネ2回)                 </td> </tr> </table>	上野deクラシック	○東京音楽コンクール入賞者を起用 平日の午前リサイタル…入賞者デビューコンサート デビュー後の入賞者が活躍する機会…その他のコンサート【新企画】  ・リサイタル:解説付きの名曲コンサート 1時間公演 550円(午前6回) 1100円(夜2回) ・室内楽:解説付きの名曲コンサート 1時間公演1100円(午前2回/夜1回) 2時間公演1650円(マチネ2回)				
上野deクラシック	○東京音楽コンクール入賞者を起用 平日の午前リサイタル…入賞者デビューコンサート デビュー後の入賞者が活躍する機会…その他のコンサート【新企画】  ・リサイタル:解説付きの名曲コンサート 1時間公演 550円(午前6回) 1100円(夜2回) ・室内楽:解説付きの名曲コンサート 1時間公演1100円(午前2回/夜1回) 2時間公演1650円(マチネ2回)					
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団					

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

## 1. 実施方針

「教育普及」活動とともに社会課題に対応する「社会包摂」事業については、財団の「クリエイティブ・ウェル・プロジェクト」の推進に向け、新たに「Convivial Project:コンビビアル…共に生きるを喜ぶ」を立ち上げ、以下の方針に沿って取り組みます。

### (1) 芸術文化をあらゆる人へ

劇場のあるべき姿としてあらゆる人が芸術文化に触れ参加できる機会を提供することを大きな使命と考えます。

### (2) 人との繋がりや豊かな心を育む

あらゆる人々の芸術文化を学び親しむ機会を創出し人との繋がりや豊かな心を育みます。

### (3) 社会的課題に対応した展開

対象を明確にした教育普及事業を展開し、0歳から児童、青少年、子育て世代、高齢者、障害者等が多様な目的で集う劇場を目指します。

また、劇場に足を運ぶ機会のない児童や高齢者、障害者等に向けたアウトリーチを実施します。

多様な対象に向けた事業を調査・研究し、広く発信するとともに、民間等と連携したソフトの開発等を目指します。

### (4) 多様な連携～地域・劇場の活性化へ

都立文化施設等と連携した教育普及事業の展開を通じて若年層の来館機会の創出に繋げ、長期的な視点で地域や劇場の活性化を図ります。

### (5) 若手の育成と活躍

若手音楽家や、育成した教育プログラムの担い手である若手人材が活躍する機会を創出しより多くの人々の芸術文化に親しむ機会を創出しながら、若手人材の育成にも繋がります。

## 2. 展開の視点

最先端の教育プログラムや社会包摂プログラムを実施している海外や、教育機関、福祉施設、他の都立文化施設等と連携しながら、幅広い取組みを長期的な視点で展開していきます。

### 海外連携

海外とのネットワークを活用して最先端の教育プログラムを幅広く実践します。

### 教育機関連携

未就学児から大学生を対象とした多様な事業を教育機関と話し合いながらニーズに合った事業を企画・制作し提供します。

### 社会的課題への対応

福祉施設等と連携し、高齢者や障害者等を対象とした鑑賞型、体験・参加型事業を企画・制作し、音楽芸術をツールとした豊かな心の醸成の機会を幅広く提供します。それぞれの対象に合わせて対象機関と相談しながら一緒にオリジナルの作品を制作します。

### 施設を活用

誰もが気軽に立ち寄り、楽しいひと時を送ることができる「劇場」として、施設を最大限に活用します。

### 都立文化施設等、多様な連携

子供たちの文化施設デビューを応援し連携して実施する「あいうえの冒険隊」や大学等とのパートナーシップ事業、施設内に同居する東京都交響楽団や近隣の文化施設等との連携等の多様な教育普及事業の展開により、若年層の舞台芸術体験の機会を創出します。

人材育成を通じてアーティスト等とともに制作した鑑賞型、参加型教育普及プログラムを都内文化施設等に提供し、隅々まで届けることを目指した連携も推進します。

### 事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

3. 展開例

内容	対象	展開例
教育普及／コンサートシリーズ 児童等を対象とした身近な音楽体験	ファミリー	○夏休み子ども音楽会 ○3歳からの楽しいクラシック
	街を行くあらゆる人々	○まちなかコンサート ・～芸術の秋、音楽さんぽ～ ・連携企画 ○東京ネットワーク計画 ○地域等連携事業(上野文化の杜 音めぐり)
	未就学児・小学生・中学生・高校生	○アウトリーチ・コンサート

3歳からの楽しいクラシック



アウトリーチコンサート

小学校体育館で金管五重奏



幼稚園でヴァイオリンデュオ

まちなかコンサート



板橋区との連携アウトリーチ

東京ネットワーク計画

教育普及／ワークショップシリーズ あらゆる人々が参加	0歳から大人	○Workshop Workshop！国際連携企画 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">拡充</span> ・ワークショップ・フェスタ ・東京文化会館ミュージック・ワークショップ ○貸館連携事業 ・上野の森パレエホリデー等の開催 貸館利用者と協働し、施設を幅広く紹介
	未就学児・小学生・中学生・高校生	○アウトリーチ・ワークショップ ○オペラをつくろう！
	高校生・大学生～	○オペラをつくろう！ ○ワークショップ×バックステージツアー
	一般・専門家	○Talk & Lesson

オペラをつくろう！



「オペラの登場人物になる！」  
リハーサル

「工作」

ミュージックワークショップ



「100人のボディビート」

「Shall we シング？」

「リズムカル・キッチン」

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

内容	対象	展開例
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会包摂／コンサート あらゆる人々が参加</p>	<p>障害者・高齢者等 あらゆる人々</p>	<p>○Workshop Workshop! Convivial Project* ・社会包摂にむけたオーケストラ公演 *2020 on stage &amp; legacyを発展。共に生きるを喜ぶプロジェクトとして推進強化</p> <p>特別支援学校 オーケストラ公演</p>
		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会包摂／ワークショップシリーズ あらゆる人々が参加</p>	<p>アクティブシニア  高齢者・障害者等</p>	<p>○Workshop Workshop! 国際連携企画 ・ワークショップ・フェスタ ・東京文化会館ミュージック・ワークショップ ○Workshop Workshop! Convivial Project <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> 高齢者施設・特別支援学校・病院等訪問 ・歌や身体、楽器を使ったリズム等による体験型ワークショップの出張訪問</p>
	<p>一般・専門家</p>	<p>Workshop Workshop! Convivial Project 啓発／発信 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> ・フォーラム ・効果検証(調査研究) ・トレーニング</p>
	<p>ロンドン交響楽団の教育プログラム「Discovery」</p>  <p>フォーラム</p>  <p>特別支援学校ワークショップ</p>  <p>ロイヤルバレエ団による聴覚障害児向けワークショップ</p>  <p>「社会包摂×アート／音楽×高齢社会」</p>  <p>北特別支援学校におけるワークショップ</p> 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">普及プログラム 施設全体を紹介</p>	<p>一般(初心者、クラシック愛好者)</p>	<p>○バック・ステージ・ツアー ○ティータイムコンサート ○公開リハーサル ○貸館連携事業</p>
	<p>一般・専門家</p>	<p>○音楽資料室におけるプログラム ・レファレンス ・各種講座の開催(生涯学習・学生向け等) ・校外学習の受入</p>
<p>バック・ステージ・ツアー</p> 	<p>ティータイムコンサート</p> 	<p>上野の森バレエホリデイ</p> 
<p>事業者名・団体名</p>		<p>公益財団法人東京都歴史文化財団</p>

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

4. 教育普及の事業内容(想定)

事業名		内容
教育普及	<b>コンサートシリーズ</b>	
	夏休み子ども音楽会 《上野の森 文化探検》	
	MUSIC	夏休み期間中に上野公園各文化施設や観光まちづくり推進会議と連携し(無料入場・割引等)ファミリーを主な対象とした解放付きのオーケストラコンサートを開催。小ホールなど他の会場も使用しオープンハウスとして多様な舞台芸術を体験する機会を提供するコンサートやワークショップ、音楽資料室でのレクチャー等を実施して施設の魅力を発信。
	PERFORM	Enjoy Concertal 5歳からの新しいクラシック
	PERFORM	Enjoy Concertal まちなかコンサート～芸術の秋、音楽散歩～
	PERFORM	Enjoy Concertal まちなかコンサート～運送企画～
	TOKYO	Music Education Program アウトリーチコンサート
	TOKYO	Workshop Workshop! ～東京ネットワーク計画～
	<b>ワークショップシリーズ</b>	
	MUSIC	Music Education Program オペラをつくろう! ～工作・登場人物になる～
MUSIC	Music Education Program アウトリーチ・ワークショップ	
PERFORM	Workshop Workshop! ～国産運送企画～ ワークショップ	
TOKYO	Workshop Workshop! ワークショップ・フェス 9【夏】【秋】	
TOKYO	Workshop Workshop! ～国産運送企画～ 東京文化会館ミュージック・ワークショップ<屋内>	
TOKYO	Workshop Workshop! ～国産運送企画～ 東京文化会館ミュージック・ワークショップ<野外>	
TOKYO	Music Education Program Talk & Lesson	
夏祭運送事業		大ホール利用者と共催しバリエーション型ワークショップと児童を対象とした事業の開催等、利用者とタイアップして実施する公益事業全般。
地域等運送事業		都内外の文化施設と連携し、舞台芸術創造事業の地方文化施設における公演、子供連や高齢者等も対象としたワークショップ、若手アーティストの活躍の場の提供協力等を行う。
<b>普及プログラム(初心者〜クラシック愛好者向け)</b>		
	バックステージツアー	○バックステージツアー 舞台技術スタッフと連携したバックステージツアーや、建築としての施設案内を定期的に開催して舞台裏を紹介 舞台機構や照明・音響など舞台裏を巡ることでホールの魅力を伝え、ファンを拡大 ○建築ツアー 建築を学ぶ学生や専門家等に府川團扇の建築物として施設を紹介
	公開リハーサル	都審と共催で定期演奏会の公開リハーサルを行い音楽愛好家の観覧拡大を図る
	ティータイムコンサート	都審と連携しホワイエで昼下がりに無料のアンサンブル演奏会を開催し幅広く劇場に足を運ぶ機会を創出
	音楽資料室プログラム	日常的なレファレンス対応、学生の校外授業対応や、専門家による講座の開催等を通じて音楽資料室を広くアピール
社会包摂	<b>コンサートシリーズ</b>	
	MUSIC	Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂にむけたオーケストラ公演
	TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるワークショップ
	TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるアーティスト等の育成と展開
	TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 効果測定・検証
TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 啓発・発信	
Workshop Workshop! Convivial Project		東京オーケストラ事業協同組合と連携し9団内トップクラスのシンフォニーの公演の都内の特別支援学校等における出張公演の実施や、「リトックス パフォーマンス」等による、障害のある人もない人も参加・鑑賞できるコンサート等を開催。
<b>ワークショップシリーズ</b>		
MUSIC	Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるワークショップ	障害や社会的ハンディキャップの有無に関わらず、あらゆる人々が鑑賞・参加・交流できる機会を提供するとともに、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わる環境を醸成する 東京文化会館ワークショップ・リーダーによるオリジナルワークショッププログラムを都内の特別支援学校や社会福祉施設、高齢者施設等において実施
TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるアーティスト等の育成と展開	アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現のための芸術文化振興に寄与する 国内外の先進的な取組を行う団体等と連携してアーティストやワークショップ・リーダーの育成を行うと同時に、そのノウハウを活用した長期的な取組も展開
TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 効果測定・検証	各プログラムの実施に関連し、専門機関や大学研究機関と連携し、その効果の検証や調査研究を行うことで、プログラムの改善とこれからの取組もべき課題を討議する
TOKYO	Workshop Workshop! Convivial Project 啓発・発信	各プログラムの実施に関連し、専門機関や大学研究機関と連携してその専門分野のシンポジウムや意見交換会などを開催すると共に、効果の検証や調査研究を実施する機会を創出し、国内外に向けて効果的に発信する

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

## 1. 実施方針

財団の取り組むアーティスト支援の展開を踏まえ、新たに「新進音楽家の国際キャリアアップ支援」事業を立ち上げ、以下の方針に沿って取り組みます。

### (1) 優れた新進音楽家の発掘

優れた新進音楽家を発掘するとともに、東京から世界に発信し「芸術文化都市 東京」のステイタス向上に寄与します。

### (2) 舞台芸術を支える人材の育成

舞台芸術を下支えする専門人材を育成し、自主事業や地域、全国の文化施設の活性化に寄与します。

### (3) 若手の活躍機会の創出～グローバル化の推進

育成した人材が活躍する機会を創出する多様な事業を展開し、若手人材の研鑽の場を創出するとともに、より多くの人々が芸術文化に親しむ機会の創出に繋がります。

海外の劇場や音楽祭と連携し、国際的に活躍できる環境を整え、キャリアアップを支援します。

## 2. 展開の視点

人材の育成には、実践する場が数多くあることが重要と考えます。  
発掘、講座を実施するだけに留まらず、優れた人材が活躍できる事業を幅広く展開していきます。

### 新進音楽家

東京音楽コンクールの国際化を推進し、東京からアジアへ、そして世界へ羽ばたく新進音楽家を発掘し、オーケストラ共演やリサイタル、アンサンブルやアウトリーチ等の多様なプログラムに出演する機会を提供することにより育成していきます。

### 教育プログラムの牽引役

教育プログラムの牽引役であるワークショップリーダーがノウハウを学び、定期的なワークショップの開催やアウトリーチを通じて活躍する機会を創出します。海外の先駆的な劇場等のネットワークを活用し、今求められる人材を育成します。

### 舞台芸術を支える

多様化する公立文化施設の事業運営の次代の担い手として制作や舞台技術を学ぶ学生等に、実践する機会を提供し、机上では学べない経験を積み即戦力となる人材を育成します。

### 国際化の推進

海外のアーティストと演奏する機会を得ることは、活躍の場が広がるだけでなく芸術面、技術面のブラッシュアップにも繋がり、新進音楽家の成長を促します。海外とのネットワークを活用して、国際的なアーティストとして活躍する機会を創出します。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3) 人材の育成

3. 展開例

内容	対象	展開例
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">東京音楽コンクールの開催 新進音楽家育成</p>	<p>新進音楽家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弦楽部門: 15-30歳</li> <li>・ピアノ部門: -30歳</li> <li>・声楽部門: 20-35歳</li> <li>・木管部門: 18-30歳</li> <li>・金管部門: 18-30歳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピアノ、弦楽、木管、金管、声楽の5部門の内3部門で楽器が混在</li> <li>○平成27年度より5部門中、隔年(木管・金管)、2年開催後1年休み(ピアノ、声楽、弦楽)の3部門で開催し国際化として展開</li> <li>○1次予選(小ホール:非公開) 2次予選(小ホール:公開) 本選(大ホール:オーケストラ伴奏、公開)</li> <li>○優勝者コンサート</li> <li>○フレッシュ名曲コンサート</li> <li>○入賞者支援リサイタル</li> <li>○自主事業(小ホールコンサート、アウトリーチ、オペラ)への出演</li> <li>○新進音楽家の国際キャリアアップ支援 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> 他</li> </ul>
	<p>東京音楽コンクール 小ホールにおけるリサイタル形式の2次審査</p>	<p>大ホールにおける本選はオーケストラとの共演</p>



多様なアーティスト育成プログラムを実施



マスタークラスやワークショップの実施



若手アーティストのための  
キャリアデザインセミナー

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

内容	対象	展開例
制作・ワークショップリーダー・舞台芸術を支える人材育成 制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナー	18歳以上 ・アーティスト (音楽家、ダンサーなど) ・教職員 ・学生 ・音楽ワークショップリーダーの活動に興味がある人	○Workshop Workshop! 国際連携企画 ワークショップリーダー育成プログラム (受講生、聴講生) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">拡充</span>  ○Workshop Workshop! Convivial Project <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> 障害者や認知症の高齢者等に向けたワークショップ実施に必要なトレーニング・講座の開催
	18-25歳 ・大学生 ・舞台デザイン(装置、衣裳、照明)やアートマネジメントを専門に学んでいる人 ・舞台デザイナーや制作者を目指している人	○オペラをつくろう! ~舞台を学ぶ~
	・大学生 ・大学院生 ・アートマネジメントを専門に学んでいる人	○インターン受入

優秀受講生のカーザ・ダ・ムジカ派遣研修を地元紙が紹介

Workshop Workshop!  
~国際連携企画~  
ワークショップリーダー



CASA É EXEMPLO PARA O JAPÃO

日本各地から集う受講生



カーザ・ダ・ムジカ講師による指導



カーザ・ダ・ムジカ派遣研修の一環で  
認知症患者とのワークショップを体験



音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング  
英国ボーンマス交響楽団を迎えて



オペラをつくろう! 「舞台を学ぶ」  
舞台美術製作や照明スタッフとして、制作としてオペラ創りに参加

制作を学ぶ学生



舞台美術家を目指す学生による小道具製作



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

4. 人材育成の事業内容(想定)

		事業名	内容
人材育成	<b>新進音楽家育成【東京音楽コンクールを開催し新進音楽家を発掘・育成・支援する】</b>		
	東京音楽コンクール	第1次予選(非公開審査)	○目的 芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新進音楽家を発掘し、育成・支援することを目的に東京音楽コンクールを平成15年より開催 ○部門 ピアノ、弦楽、木管、金管、声楽の5部門の内3部門で楽器が混在する特徴 平成27年度より5部門中、隔年(木管・金管)、2年開催後1年休み(ピアノ、声楽、弦楽)の3部門で開催 ○国際化に向けて展開～魅力ある招聘審査員～ ヨーロッパやアジアで活躍するアーティストを審査員として招聘し、海外へ繋がる魅力あるコンクールをアピールし、優れた新進演奏家を発掘 ○機会の創出 自主事業や財団の施設、都の文化施設の事業へ積極的に起用し、社会性を兼ね備えたアーティストへと育成 ○世界に羽ばたく コンクール招聘審査員や自主事業の国際連携を通じて、海外で演奏する機会創出を検討
		第2次予選(公開審査)	
		本選(公開審査) *オーケストラとの共演	
		優勝者コンサート	部門優勝者がオーケストラと共演する披露演奏会
		フレッシュ名曲コンサート	都内区市町村と共催し、地域のホールで入賞者が独奏者としてオーケストラと共演
		入賞者支援リサイタル	コンクール翌年度から5年間、入賞者が行うリサイタルを支援(館が共催、広報宣伝を行い、小ホールの使用料を減免する)
		新進音楽家の国際キャリアアップ支援(仮称)	ニューヨークのチェルシー音楽祭等を通して、海外における新進音楽家の演奏機会を創出するとともに、海外からも招聘し、交流・研鑽する機会を創出する
	<b>舞台芸術を支える人材育成【制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナーなど舞台芸術を支える人材を育成する】</b>		
	MUSIC PROGRAM TOKYO	Workshop Workshop! ～国際連携企画～ ワークショップリーダー育成プログラム	○目的 音楽や芸術に対する関心を高めながら自己表現能力やコミュニケーション能力を養い、また、現代社会が抱える問題解決の糸口となるようなワークショップを創作し、ワークショップ現場において参加者をリードするという重要な役割を担う人材の育成を目的として実施。発掘・育成・支援を伴う長期的な取組。 ○学ぶ カーザ・ダ・ムジカやイギリス等の先駆的な取組を行う劇場や実演家を招聘し、ノウハウを学ぶ機会を創出 優秀な受講者はカーザ・ダ・ムジカへの派遣研修を受講 ○創り、実践する 人材の育成には実践が不可欠と考え、学んだノウハウを実践するワークショップを企画し、数多くのファシリテーションを経験・実践する機会を提供。実践に繋げることでステップアップを図る ○東京文化会館ワークショップリーダーの育成 優れたワークショップリーダーを東京文化会館ワークショップリーダーと位置付け、研鑽する機会を提供。 ○他の文化施設や地域へも還元する機会を創出し、成長の相乗効果を狙う。 ○フォーラムの開催 先駆的な取組を行っているイギリスの劇場や実演家団体等との連携により、海外の実例を紹介しながら、日本の教育普及のあり方を学ぶ機会を創出
Music Education Program オペラをつくらう!～舞台を学ぶ～		○舞台芸術の専門家を育成 机上では学ぶことのできないオペラ制作過程をプロのアーティストやスタッフと共に体験する機会を提供し、将来の舞台芸術の専門家を育成する。	
	インターンシップ	教育機関と連携し、大学等でアートマネジメントを学ぶ学生を積極的に受け入れ、職員の一員として丁寧に指導し、多様な実務の経験を通じて個々の適応性を見定め成長を促す。	
<b>事業者名・団体名</b>		公益財団法人東京都歴史文化財団	

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
 (4) 令和3年度・令和4年度の実施計画  
 事業計画案 (令和3年度)

事業区分	事業名	内容	場所	3年度			共催・連携				
				時期	公演数等	予定経費(千円)概算	国際連携	文化施設	自治体	教育機関	都庁
創造発信	舞台芸術シリーズ【既存の音楽ジャンルや表現形式に捉われず新たな可能性を追求した作品を創造】										
人材育成	コンサートシリーズ【クラシックを基軸とし多様な可能性を追求したコンサート】										
	新進音楽家育成【東京音楽コンクールを開催し新進音楽家を発掘・育成・支援する】										
	舞台芸術を支える人材育成【制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナーなど舞台芸術を支える人材を育成する】										

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
 (4) 令和3年度・令和4年度の実施計画  
 事業計画案 (令和3年度)

事業区分	事業名	内容	場所	3年度			共催・連携				
				時期	公演数等	予定経費(千円)概算	国際連携	文化施設	自治体	教育機関	都審
教育普及	コンサートシリーズ										
	ワークショップシリーズ										
	普及プログラム(初心者〜クラシック愛好者向け)										
	社会包摂	コンサートシリーズ									
ワークショップシリーズ											

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
 (4) 令和3年度・令和4年度の実施計画  
 事業計画案 (令和4年度)

事業区分	事業名	内容	場所	4年度			共催・連携				
				時期	公演数等	予定経費(千円)概算	国際連携	文化施設	自治体	教育機関	都庁
創造発信	舞台芸術シリーズ【既存の音楽ジャンルや表現形式に捉われず新たな可能性を追求した作品を創造】										
創造発信	コンサートシリーズ【クラシックを基軸とし多様な可能性を追求したコンサート】										
人材育成	新進音楽家育成【東京音楽コンクールを開催し新進音楽家を発掘・育成・支援する】										
人材育成	舞台芸術を支える人材育成【制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナーなど舞台芸術を支える人材を育成する】										

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
 (4) 令和3年度・令和4年度の実施計画  
 事業計画案 (令和4年度)

事業区分	事業名	内容	場所	4年度			共催・連携				
				時期	公演数等	予定経費(千円)概算	国際連携	文化施設	自治体	教育機関	都庁
教育普及	コンサートシリーズ										
	普及プログラム(初心者〜クラシック愛好者向け)										
社会包摂	コンサートシリーズ										
	ワークショップシリーズ										

## 提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について (1)実施方針と貸館の運営戦略

### 1. 実施方針

当館大ホールは、2,303席の客席にオーケストラピットを有し、本格的なオペラやバレエが上演できる都内でも数少ないホールであり、また649席の小ホールは”奇跡の音響”と呼ばれるリサイタル等には手頃な規模のコンサートホールです。両ホールとも毎年多くの利用申込を受け、高い稼働率を実現し続けています。

開館以来、国内外の最高水準の公演が開催されており、良質な公演の鑑賞機会の提供は、「音楽・舞台芸術の殿堂」との評価を築いた館の中核的な価値であると考えます。今後とも貸館事業を重要な柱と位置づけ、これまでに積み上げた信頼関係を活かし良質な公演を誘致するとともに、安全・安心を確保しつつ、高い舞台技術・提案力により本物の演出を実現し、主催者・観客の双方のお客様にご満足いただけるよう取り組んでまいります。

さらに、財団全体での都立文化施設間の連携により、チケットの相互販売や情報発信・共有等を進め、利用者サービスの向上に取り組めます。

また、劇場法の施行以降、公立文化施設には積極的な自主事業の展開が求められています。民間事業者では実施しにくい領域を意識し、これまでも積極的に拡充を図ってきましたが、『「未来の東京」戦略ビジョン』を踏まえ、新たな舞台芸術の創造、新進音楽家の育成、教育普及、社会的課題解決への取組等、一層の取組を進めてまいります。貸館事業とのスケジュール調整を密に行い、効果的な時期に最大限の事業を実施していきます。(貸館公演の日程調整が早期に行われることから、それを前提に効果的に自主事業を実施できるよう日程調整を図ります。)

### 2. 貸館の運営戦略

現在の施設稼働率(日別)は、大ホールはおよそ9割台後半、小ホールはほぼ100%と、驚異的なレベルに達しています。また、最高水準のオペラ・バレエ公演では、東日本や首都圏で唯一の上演場所となることも少なくありません。今後とも、高水準の公演の鑑賞機会を提供するとともに、施設設備の老朽化も進んでいることから安全・安心に十分留意しつつ、高い施設稼働率を維持するよう取り組んでまいります。

他方、観客・聴衆の高齢化や固定化に伴う観客数の減少や、大規模公演の公演数・期間等の縮小なども懸念されることから、将来に向けた方策を進めていくことが肝要です。

#### (1) 各施設の運営戦略

<大ホール>

##### ①質の高い舞台芸術の提供

大ホールで行われるオペラ・バレエは、公演の3~4年前に企画・開催決定される実態を踏まえ、今後、この時期から積極的に情報収集・事前調整を行い、安全・安心で円滑な公演実施ができるよう主催者、関係者と調整を図っていきます。

##### ②オペラ・バレエを中心としつつクラシックコンサート等も誘致

「世界最高水準のオペラ・バレエを東京文化会館で」というお客様の声に応えるべく、オペラ・バレエ公演を中心に誘致を図ってきた結果、現在、オペラ・バレエ公演が高い比重を占めるようになりました。当館は、複雑な演出効果にも耐えられる舞台機構、照明設備、音響設備を備え、舞台・施設運営に主催者からの厚い信頼も得られております。今後、施設の老朽化への対応も進めながら、オペラ・バレエ公演を中心に、国内外の質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供していきます。また、優れた音響からクラシックコンサートの名演が数多く行われた実績を踏まえるとともに、今後の舞台芸術ファンのすそ野拡大に繋げていくため、クラシックコンサートをはじめ、若年世代も含めて幅広いファン層を持つポップスやアニメ・ゲーム音楽など新しいジャンルとのコラボレーションによる良質なオーケストラコンサートについても誘致していきます。

<小ホール>

##### ①質の高い室内楽やリサイタルの提供

特筆される音響の良さを生かし、質の高い室内楽やリサイタルを中心に誘致していきます。

日本を代表する舞台芸術の主催者・招聘元であるプロモーター、音楽事務所に対し、これまでに培った信頼関係を生かし、積極的に情報収集を図りながら営業を行い、公演誘致を推進します。

##### ②新進音楽家への支援、新たな挑戦を応援

若手の新進音楽家の育成を図るため、国内外のコンクールに入賞した新進アーティストの演奏会、新進の作曲家、演出家、監督による舞台創作的作品等の利用についても積極的に検討していきます。

##### ③客席内の安全性の確保

来場者の高齢化等に伴い客席内階段付近等での転倒事故が多発したことから、手すりや握り棒、床の滑り止め加工などを施しています。今後も、必要な設備改修を行うとともに、転倒、ホール内での注意喚起の声かけや係員の配置を適宜進め、事故の未然防止に努めます。

##### ④多様なニーズへの対応

従来の枠にとらわれない演奏方法を行う現代音楽コンサートなど多様な公演ニーズについて、施設・設備への影響や安全性を考慮しつつ、最大限実現できるよう努めます。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

### 提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について (1)実施方針と貸館の運営戦略

#### (2) 公演実施に向けた迅速・円滑な調整

##### <日程調整>

仮予約段階から、公演内容の把握に努め、公演実施が円滑に効率的に進むよう適切な期間の設定を図っていきます。

定期的に連絡を取り、公演内容の変更等を速やかに把握します。

##### <舞台演出>

主催者の希望する演出に対し、当館の機構設備等を踏まえ、安全を確保しつつ、最大限の実現を図ります。実現が難しい場合にも、安易にNOと言わず、代替案の提案等を行うなど、主催者が納得できる公演内容を実現します。

##### <専門性の高い総合調整窓口>

主催者との調整窓口には、音楽・舞台芸術に係る造詣があり、ホール運営に係る知識・経験を有する人材を配置し、日程調整、舞台演出からホールレセプション・展示等の調整まで、舞台技術部門と連携しながら総合調整窓口となり、主催者の利便性を向上するとともに厚い信頼関係を築いていきます。

#### (3) 貸館公演との連携 ～ 高水準公演を活用した事業展開 ～

当館の貸館公演は、海外招聘をはじめ、国内外有数の水準のものが多く、これが当館の重要な価値となっています。この当館ならではの特徴を効果的に活用するため、**公演主催者と連携した公益的なプログラムの実施を検討**していきます。

例えば、次世代に対する安価な入場料金の設定、バックステージやリハーサルの公開、憧れのスターによるワークショップ、トークイベントなど、最高峰・本物に触れる体験、間近に感じる体験は、興味・関心・向上心を刺激し、音楽への関わりや音楽家への研鑽を促し、音楽芸術の振興に繋がります。また、公演内容に応じた館内展示、映像発信等は、館の賑わいを演出し、来館者に対する音楽・舞台芸術への入口ともなりえます。

こうした公益的なプログラムについて、**貸館公演と連携し、利用料金等のインセンティブ等と絡めながら実施の可能性を検討**します。

また、観客の高齢化が進む国内状況や、ヨーロッパ各国の経済情勢、中国の経済成長等による海外招聘公演の動向等、国内外の**環境変化の中で安定的に公演や稼働率を確保していく観点からも、年間利用日数、公演の質を考慮しつつ、公益的なプログラムとの利用料金等のインセンティブを絡めた展開の可能性を検討**していきます。

#### (4) 新たな音楽ジャンルの開拓 ～ 営業活動・顧客開拓 ～

海外の大規模オペラ・バレエ等の利用日程の最終確定は1年半～2年程度前になされますが、急きょ公演が中止・縮小となった場合、すでに同種の公演やオーケストラの誘致が難しいタイミングになっている場合があります。**高水準の施設稼働維持や舞台芸術ファンのすそ野拡大を図るため、比較的調整期間が短いポップスやアニメ・ゲーム音楽等のオーケストラ公演等、新たなジャンルへの営業活動、顧客開拓にも取り組んで**いきます。

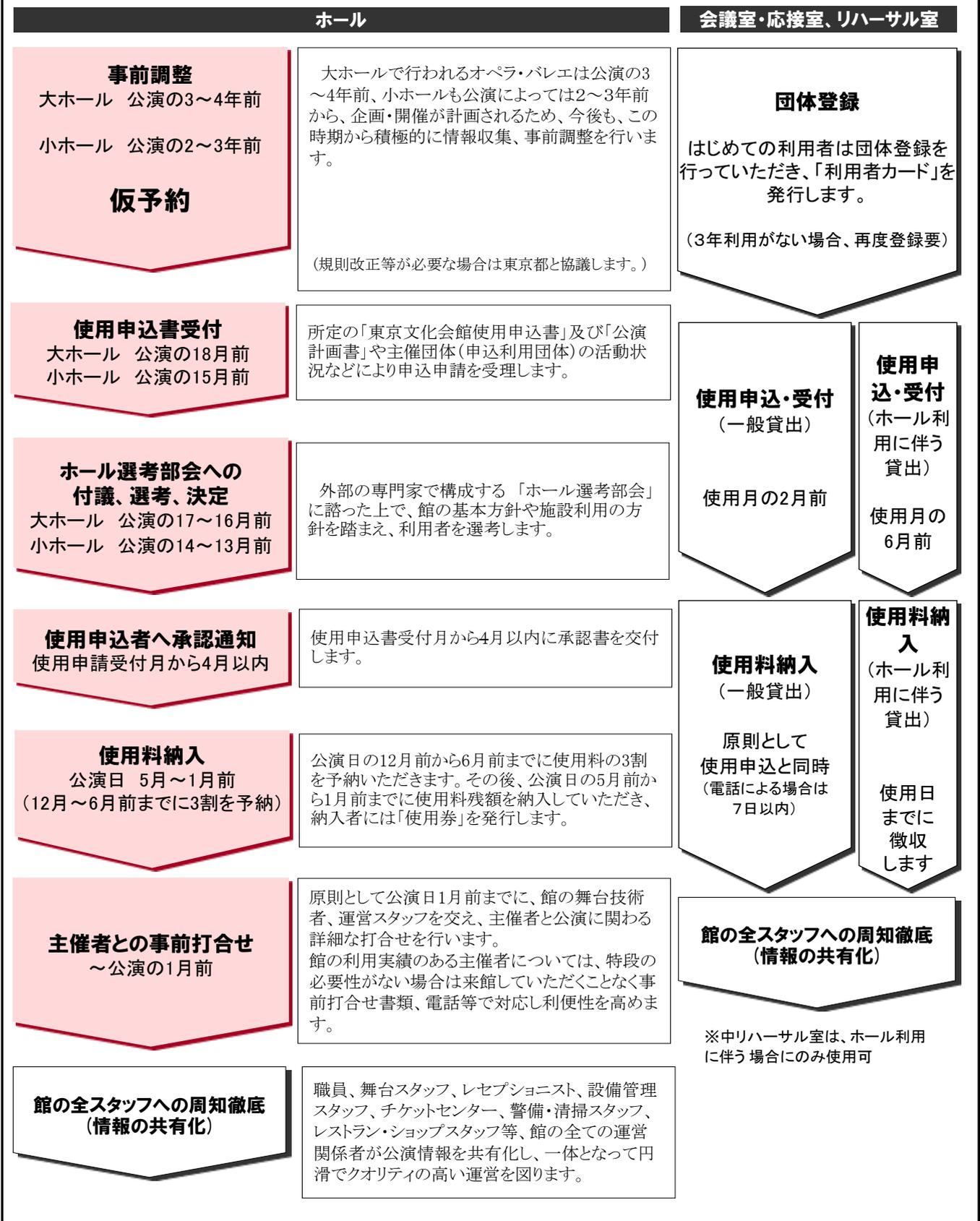
事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について**

**(2) 使用申請及び使用承認の仕組み**

各施設の使用申請及び使用承認については、前述の通り、公正性と透明性の確保が重要であると考えております。私たちは以下のようなフローで使用申請及び使用承認業務を行ってまいります。



<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------

**提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について  
(3) 利用料金**

**1. 利用料金の設定の考え方 ～ 消費税引き上げへの対応 ～**

利用料金は、民間ホールと比較しつつも、公立の公共ホールであることを考慮した水準に設定すべきものと考えます。平成18年度改定以降、現行料金を継続していますが、消費税率は平成26年4月に5%から8%へ引き上げられ、令和元年10月には10%まで引き上げられました。**消費税率の変更に伴う料金への反映について、今後東京都と協議してまいります。**

料金体系や料金区分については、現行の方式が主催者の理解を得て定着しているため、今後も次のとおり設定します。

- ホールの利用料金**

大ホール利用に関しては芸術文化団体とそれ以外の2種類の料金体系を設けます。また、仕込みや撤収、リハーサル時の使用については、主催者の負担軽減の観点から、引き続き半額料金とします。楽屋、リハーサル室等についても現行どおりとします。
- 会議室の利用料金**

現行の料金体系を継続しますが、館の使命に照らし、①大小ホール使用に伴う利用、②学術・芸術・文化に関する目的での利用、③その他、の順に優先して申し込みを受け付けます。
- 利用区分**

様々な利用方法を可能とするため、現行どおり午前、午後、夜間と全日の利用料金を設定します。

**2. 利用料金の減額、免除の考え方**

学校教育、若手芸術家の支援等の観点から、東京文化会館及び東京芸術劇場条例施行規則(以下「規則」という。)に基づき、当財団が定める利用料金要綱に基づく減額または免除を行います。

- (1) 官公署が直接公共のために大ホール及び小ホール(以下「ホール」という。)を使用するとき。  
なお、外郭団体は官公署に含まない。

25%減額
- (2) 都内の小学校、中学校及び高等学校並びにこれに準ずるものが、児童又は生徒のための音楽又は演劇等に関する事業を実施するためにホールを使用するとき。区市町村教育委員会又は東京都公立高等学校定通協会を含む。

50%減額
- (3) 若手芸術家の創造活動又は伝統文化活動を支援する事業で、知事が指定する事業を実施するために施設等を使用するとき。

免除
- (4) 東京都歴史文化財団が主催する事業または共催する事業に使用する場合で、館の振興のために特に必要があると認められるとき。

50%減額
- (5) 館が主催する事業のうち、若手アーティストの創造活動を支援する事業で、都が認める事業を実施するために施設等を使用するとき。

免除
- (6) 規則第5条に規定する団体が、定期演奏会のためにホールを使用するとき。

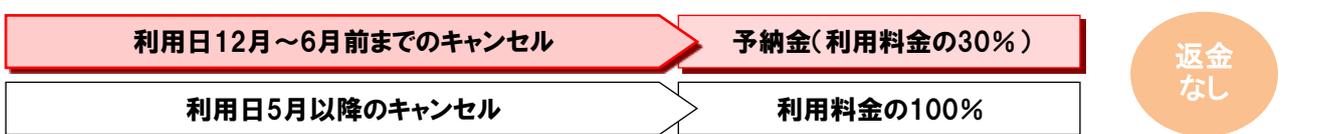
15%減額
- (7) 規則第6条に規定する団体が、ホール及びリハーサル室を使用するとき。

15%減額
- (8) 前号に掲げる場合の他、館長が特に必要があると認めるとき。

館長が認める割合

**3. 利用キャンセルの予防**

現在、ホールを使用する日の12月前から6月前までに予納金(利用料金の30%)をお支払いいただき、6月前から1月前までに残額(利用料金の70%)をお支払いいただいておりますが、使用を取消された場合でも返金はしておりません。多くの使用申込をいただいている中、準備等が不十分な申込みや直前のキャンセルを予防することにより、ホールが最大限活用され高い稼働率を維持できるよう、今後もこの取り扱いを継続します。



<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------

東京文化会館利用料金表

単位/円

◆大ホール

使用時間区分 利用団体別区分 (入場料金の最高額)		平日				休日			
		午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日
		9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 22:00	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 22:00
芸術文化団体等	入場料の額が10,000円以下	215,000	431,000	540,000	1,080,000	229,000	459,000	574,000	1,148,000
	入場料の額が10,000円を超え、30,000円以下	230,000	461,000	576,000	1,154,000	247,000	494,000	618,000	1,236,000
	入場料の額が30,000円を超えるとき	254,000	509,000	637,000	1,274,000	275,000	550,000	687,000	1,375,000
芸術文化団体等以外	入場料の額が10,000円以下	196,000	395,000	494,000	989,000	208,000	417,000	522,000	1,046,000
	入場料の額が10,000円を超え、30,000円以下	209,000	420,000	526,000	1,052,000	223,000	446,000	557,000	1,116,000
	入場料の額が30,000円を超えるとき	230,000	461,000	576,000	1,154,000	247,000	494,000	618,000	1,236,000

◆小ホール

区分	午前	午後	夜間	全日
	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 22:00
平日	58,000	118,000	147,000	296,000
休日	61,000	124,000	155,000	312,000

◆会議室・応接室

室名	午前	午後	夜間	全日
	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 22:00	9:00~ 22:00
大会議室	5,900	11,800	14,700	29,500
中会議室1	3,900	7,900	9,800	19,700
中会議室2	3,600	7,300	9,200	18,400
小会議室1	2,900	5,900	7,400	14,800
小会議室2	1,700	3,400	4,400	8,900
応接室1~3	1,000	2,100	2,600	5,300

◆楽屋・個室

室名	午前	午後	夜間	全日
大ホール楽屋1	1,500	3,100	3,900	7,800
大ホール楽屋2	2,000	4,100	5,300	10,600
大ホール楽屋3	1,500	3,200	4,100	8,300
大ホール楽屋4	1,100	2,400	3,100	6,300
大ホール楽屋5	1,300	2,600	3,200	6,600
大ホール楽屋6	1,100	2,400	3,100	6,300
大ホール楽屋7	1,300	2,700	3,500	7,000
大ホール個室1	700	1,600	2,200	4,400
大ホール個室2~5	700	1,500	1,900	3,900
大ホール個室6	900	1,800	2,300	4,600
小ホール楽屋	700	1,600	2,000	4,200
小ホール個室	600	1,400	1,800	3,700

◆リハーサル室

室名	午前	午後	夜間	全日
大リハーサル室	12,100	25,300	31,900	63,800
中リハーサル室1(A)	4,500	9,000	11,200	22,500
中リハーサル室2(B)	2,200	4,500	5,500	11,200
小リハーサル室1	1,100	2,300	2,900	5,900
小リハーサル室2~4	700	1,500	1,900	4,000
小リハーサル室5	1,100	2,300	2,900	5,800

◆中継室

室名	午前	午後	夜間	全日
大ホール中継室	10,000	21,000	26,000	53,000
小ホール中継室	6,200	12,000	15,000	31,000

◆ロビー・エントランスホールその他の施設 (規則で定める施設又は部分を除く)	全日
	169円/㎡

### 提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について (4) 舞台運営業務

#### 1. 実施方針

東京文化会館では、これまで、「**NOと言わない舞台管理**」を目標に掲げ、演出要望に対し、長年培った経験や技術力を生かし、創造性と安全性を確保することをモットーに、テクニカルサイドから公演を支え、利用者や外部スタッフからの信頼を得るとともに、無事故で公演を成功させてきました。

自主事業、国内実演家団体の公演サポートは勿論、海外からの招聘公演に伴う安全基準や機構設備等の違いに対し、テクニカル上の調整や**舞台運営事業者**への指示指導を適切に行い、**舞台芸術の創造的なサポートと舞台における安全性の確保の両立、無事故で公演を成功させるよう努めます。**

また、東京文化会館のもう一つの顔である、館内外での様々な音楽事業を舞台技術と舞台創造の面で支え、より豊かな舞台創造環境を提供できるよう努めます。

さらに、東京芸術劇場及び江戸東京博物館の舞台管理職員と技術・協力関係を構築することで、相互の業務連携を行い、技術研修会等の共同企画など、技術の向上、人材育成を目指します。

#### 2. 円滑な運営体制の確保

##### (1) 舞台技術専門職員の配置

###### 【舞台技術業務】

舞台技術各分野の専門知識を深く持つとともに、各分野の横断的の知見に基づき、舞台芸術に寄り添う舞台技術の知識を有する舞台技術専門員の育成と配置を行います。この舞台技術の専門職員を配置することで、伝統ある文化会館をさらに創造性のある劇場・音楽堂としての技術運営ができるよう努めます。まずは時代の要請に沿った劇場図面等のデータ整備、舞台備品・設備の選定・提案などを含め、適正な舞台技術予算の管理を実践します。また舞台機構・設備の日常的な課題への迅速・適切な対応、維持管理、中長期的なメンテナンス計画の策定を劇場の管理・運営者の立場で適切に調整してまいります。

###### 【舞台技術運営と管理】

オリジナルでクリエイティブな事業を展開する自主公演においては、企画立案段階から技術的な検証に関わり、国内外のカンパニースタッフやプランナー、舞台監督等との技術調整を図り、安全で円滑な公演が行えるような技術運営に努めます。また、多数のリサイタルや室内楽においては、デザインなど技術進行にも関わって創造スタッフとしても携わります。

貸館公演においては、安全と確実な技術サービスの提供を念頭に、知識と経験をもとに、事前打合せの段階で詳細にヒアリングし、上演に向けた技術相談のほか適正なホール使用形態、無理のないスケジュールの確認や提案をしております。また舞台管理職員および舞台運営事業者との齟齬なく、コミュニケーションが滞らぬよう適宜技術会議等を開催して課題等の解決をすばやく行うよう努めます。

今日まで演出家や舞台監督から様々な相談や要望に応え、公演を無事故で成功させ、築き上げてきた利用者との信頼関係を今後も維持・向上してまいります。

###### <主な業務内容>

- ① 舞台に関する図面、備品等のデータ整備
- ② 舞台備品、消耗品、舞台工具等の整備計画、舞台予算の管理
- ③ 舞台設備(舞台機構、照明設備、音響設備)、装置、機器の保守管理、中長期の設備改善計画
- ④ 舞台装置・機器・道具等の収納、製作に係る調整
- ⑤ 自主事業等に係る技術調整、舞台運営・補助
- ⑥ 利用者との技術相談、舞台運営事業者との技術調整
- ⑦ 技術研修等の計画、技術系インターシップ等人材育成の調整
- ⑧ 鍵盤楽器(ピアノ・チェンバロ・オルガン)に関する専門的立場からの保守及び運用計画 等

##### (2) 舞台運営業務の委託

東京文化会館の舞台運営を支える舞台技術スタッフには、海外のオペラやバレエ公演等にも対応可能な高度な技術と豊富な知識・経験が欠かせません。舞台周辺全般に渡って安全確保を最優先とする管理運営を求めます。

業務委託に当たっては、「企画コンペ方式」により相応しい運営事業者を決定いたします。

###### <舞台運営事業者の業務内容>

- ① 施設利用者との技術的打合せ、打合せ資料作成、助言及び搬入、設営、撤去、復元時の技術サポート業務
- ② 大ホール、小ホールの舞台機構、照明設備、音響・通信設備の操作及び管理
- ③ 音響反射板、オーケストラピット、可動客席等の設営、復帰作業
- ④ 主催事業等における舞台製作過程及び公演に関わる舞台技術操作
- ⑤ 設備・装置・機器の日常的な保守管理(清掃、点検、軽微な修理)及び専門業者による保守点検への協力
- ⑥ その他舞台運営に関連する業務

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

**提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の利用について  
(4) 舞台運営業務**

**(3) 委託業者の履行確認**

舞台運営事業者の履行確認については、専門職員の指導・監督のもと、以下の履行確認を行い、劇場の安全確保、維持管理を行ってまいります。

- ① 業務日誌による報告  
大ホール、小ホールで行われた舞台管理運営状況を把握するため、舞台運営事業者へは業務終了後に日誌を提出するよう義務付けていきます。
- ② 故障時・緊急時の対応と報告  
日常業務の中で各種機器や設備の作動状態を確認し、経年劣化や不具合を発見した場合は直ちに報告するよう徹底します。  
また、不具合や故障時においては、「トラブル対応マニュアル」に則り、適切な対応を行えるようにするとともに記録として残し、マニュアルに加えていけるよう努めます。また緊急時にはホール職員とともに観客、出演者、スタッフの安全確保を最優先に対応し、さらには二次災害の防止も考慮した訓練を定期的実施します。

**(4) 日常・定期点検の実施**

- ① 日常点検  
舞台運営事業者による日常業務の中で確認する各種機器や設備の作動状態を専門職員が共有し、定期点検時の調整作業や修繕計画に反映します。
- ② 定期点検  
点検対象項目と点検内容、実施時期などの計画を立て、舞台運営事業者の立会いのもと、専門業者による定期点検を実施します。大がかりな設備改修などが必要となる場合は、東京都へ報告、協議し、改修計画に反映してまいります。

専門職員と委託業者との連携により、異常発生時における原因究明と対策及び施工業者への適切な指示により、より安全で的確な舞台管理と運営を実現します。

**(5) 舞台技術水準の維持・向上**

舞台での作業では多くの危険が伴うため、舞台運営業務でヒヤリとした経験や他館での事故事例なども記載した「安全マニュアル」を作成し、舞台運営事業者とも共有して安全管理の教育指導を行うとともに、創造現場での実践力、経験値が安全判断能力の向上にもつながるため、積極的に現場をサポートできる体制を整えていきます。

また、全国公立文化施設協会・日本照明家協会及び各種専門団体が実施する舞台技術者講習等への参加や講師派遣、東京芸術劇場及び新国立劇場など、国内外の劇場の舞台専門職員との技術交流、連携を通じて、多彩な舞台芸術に携わる機会を創出し、技術の研鑽に繋がります。

**3. 安全の確保とトラブル対応**

**【安全の確認】**

「最高の舞台」を運営・管理するためには安全管理が重要です。

打合せの段階から利用者とコミュニケーションを図り、確実な要望把握をするとともに、無理のないスケジュールで搬入～仕込み～リハーサル～本番～撤去(バラシ)～搬出までが組み立てられているかを確認し適切な助言を行います。

また、セリやバトン、吊り物の操作の際は、必ず監視要員を配置するなどあらゆる場面で細心の注意とチェックを心がけ、日常的に安全確保に努めます。

こうした実績によって長年にわたり築きあげてきた利用者側の舞台スタッフとの信頼関係を大切に、これからも事故が起きないように取り組んでいきます。

リスクアセスメントの発想に基づく、「もしも」から始まる危険予知による対策を行い、リスクを回避し、起こってしまったことからのリスクマネジメントを行い、事例を蓄積・分析して事故等の再発を防ぎます。

**【トラブル対応】**

自然災害や突発的な事故等の生きた舞台芸術にはつきもののトラブル等、多様な事項に対応できるようマニュアルを定め、円滑な公演進行に努めます。

**《事故未然防止のための対策リスト》**

安全マニュアルの作成	東京文化会館に適合した安全マニュアルの作成
情報共有	舞台スタッフ及び館内関係部署との十分な打ち合わせと必要事項の伝達徹底
余裕ある計画	集中力・注意力が途切れない無理のない計画の指導
整理整頓	作業環境の整理整頓
目視・声かけの安全確認	危険作業の際の複数による目視・声かけの徹底
原因究明と対策	事故の大小にかかわらず、原因究明と対応策を実施

**事業者名・団体名** 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について

### (1) 調査研究の取組

#### 1. 実施方針

東京文化会館では、平成30年度より主催事業を通じた調査研究を開始しています。特に、超高齢社会を視野にした認知症の高齢者やアクティブシニアに向けたワークショップを通じた効果の検証においては、『『未来の東京』戦略ビジョン』にも謳われる社会課題の解決の糸口となる調査結果を公表しています。主催事業と様々な機関とのネットワークを活用しながら、多様な調査研究を行うことで、日本のリーディングケースとしてまいります。

また、調査・研究機能を持つ音楽資料室を活用し、主催事業や貸館事業との連携を図ります。音楽資料室の利用者の調査・研究のための機能としても活用してまいります。

#### 2. 具体的な取り組み

##### (1) 社会包摂に関する調査研究 ～超高齢社会を視野に

○エビデンスに基づいた企画と事業展開

平成30年度より高齢者心理学の専門家とともに、高齢者向け音楽ワークショップの検証に継続的に取り組んでいます。検証の結果、音楽ワークショップという場が失敗のない受容的な環境として参加者に個の尊厳を与えると同時に、他者を容認しながら共生する場として機能しており、「高齢者を含む全ての世代にとって未来を希望する力の成熟を促す可能性」が示されています。

今後も大学などの専門機関等と連携しながら継続して検証して、その結果をフォーラムやシンポジウム等によって発表し、ホームページ等のインターネットを活用して広く公開して、国内外の関連機関と共有することにより、これからの芸術文化の発展に寄与します。

更に、館内外で実施している音楽ワークショップに関する検証を実施し、導出された示唆(エビデンス)を企画や事業展開に活用してまいります。

○国内外の専門機関と連携したクリエイティブ・ウェルに関する知見の収集と発信

平成31年度に社会包摂につながるアート活動に関するハンドブックを編纂しました。アートの持つ創造性・参加性・協働性が社会課題の緩和や解決に貢献できると、欧米で様々な実証研究が進められていますが、国内での事例は多くありません。

当館が実施する多様なプログラムを事例として提供し、国内外の文化施設や専門機関と協力しながら、アートによる多元的共生社会の実現に向けた知見の収集や共同研究と学会やコンフェレンス等で発表を行うのみならず、インターネット等を活用して日本語版及び英語版としても配信していくことで、芸術文化が果たせる社会的役割の発信と啓発に努めます。

##### (2) 様々な自主事業をとおして ～ネットワークの活用による開発支援

クリエイティブ分野やテクノロジー分野と協力することで、最新技術を活用した取組みや新たな表現方法を探求します。

5G等を活用して、会館に足を運ばない方にも音楽体験を届けることで、芸術文化のアクセシビリティの向上を図ります。

また、テクノロジー分野等と連携することは新たな技術革新にもつながり、多彩な創造事業を可能になることから、様々な分野とのネットワークを活用し、これからの芸術文化を支える技法の開発支援のための機会を提供します。

大学や専門機関、企業、支援団体等と連携し、公演事業の鑑賞サポートの拡充や新しい音楽体験の在り方等の研究を進めると共に、当館オリジナルの事業を研究開発の機会として提供するなど、他業種との協働も目指します。

それらの先駆的な取組の成果をフォーラムやシンポジウム等をとおして発表・意見交換し、そのプロセスや知見を様々な媒体を通じて広く発信することで、芸術文化の活性化と新たな産業の開発に寄与します。

##### (3) 音楽資料室を活用した取組

音楽資料室では、クラシック音楽を中心にオペラ・バレエなどの舞台芸術や邦楽、民族音楽などの資料収集を行うとともに、収集した資料を提供することにより、都民の調査・研究活動を支援していきます。

同時に、大小ホールでの公演に合わせて過去の公演プログラムやアーティストの関連書籍をホワイトエに展示したり、音楽資料に関連した講演会を開催したりするなど、所蔵資料を用いた情報発信にも努めてまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について (2) 音楽資料室の運営

### 1. 音楽資料室の運営方針

#### 資料、人、場所の三つの柱で過去から未来へ

音楽資料室は昭和36年の開館以来、全国でもめずらしい音楽専門図書館として活動をおこなってまいりました。クラシック音楽を中心として、オペラ・バレエなどの舞台芸術や邦楽、民族音楽を対象として資料を収集し、専門家や学生、一般の音楽愛好家から高い評価を得ています。

近年はデジタル技術を導入し、自宅から資料目録へアクセスしたり、開館以来の公演情報を入手したりすることも可能となり、非来館者へのサービスも充実させています。

国立情報学研究所の総合目録データベース事業に参加しており、全国の大学や公共図書館と連携し、全国レベルでの文化の発展に貢献しています。

＜資料収集の基本方針＞

- ・クラシック音楽の楽譜、音源(CD・LP)は、学問的価値の高いオリジナルのものを中心に収集する
- ・図書、雑誌は、音楽に関する幅広い分野から、研究の参考となるものを中心に収集する
- ・映像は舞台芸術(オペラ・バレエ)を中心に収集する
- ・東京文化会館の公演プログラムは、他館では収集できない独自の貴重資料として、正副2点ずつ全公演を収集する(公演記録を含む)

#### (1) 半世紀以上にわたり収集した貴重な資料を受け継ぎ、生かし、次の世代に継承します

クラシック音楽関係の音源(CD・LP)、楽譜、映像は充実した蔵書を誇っています。昭和期に収集したLPレコード3万枚や高価な全集楽譜等も他の図書館では利用できない資料として、多くの専門家に評価されています。

吹奏楽や合唱の資料収集にも力を入れており、次代を担う若い世代の音楽活動を支えます。

また一般に流通していない東京文化会館開館以来の公演プログラムを全て保存しており、現代日本の音楽文化の軌跡を語る上で欠くことのできない貴重な資料となっています。今後、資料の増加に伴う収蔵スペースの不足に対し収蔵場所の確保や楽譜・プログラムなど紙資料の劣化への対応など、かけがえのない貴重な資料を次世代に継承するため、必要な対応を都とともに図ってまいります。

#### (2) 中学生からシニアまで、学びの心を支えます

生涯学習の拠点の機能を持つ「場としての図書館」が求められている今日、視聴と閲覧それぞれのエリアを工夫し、快適な空間を提供します。

学生や若い世代の認知度を高め、パソコンやタブレットを利用して、音楽データベースや、現在世界中の図書館や団体が進めている楽譜アーカイブの利用を可能にします。

シニア向けサービスとして、パソコンを使用しない利用者にも配慮し、それぞれのニーズに合った利用方法を提案します。

経験を積み音楽資料に精通した職員を配置し、研究や学習を支援します。

#### (3) 音楽を愛するすべての人に

所蔵している資料をデジタル化し公開することで、いつでもどこからでもアクセス可能となり、芸術文化の発展に貢献することが可能となります。著作権保護期間満了の雑誌や寄贈写真などのデジタル化を検討します。また、現在情報のみの提供となっている東京文化会館の公演プログラムをデジタル化し公開することを計画し、日本のクラシック音楽受容の基礎資料としての活用を図ります。

現在公開中のインターネット目録を充実させ、一曲ごとの検索や多言語対応によりきめ細かい情報提供を行います。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について (2) 音楽資料室の運営

### 2. 運営体制

#### (1) 開室日及び時間

火曜日～土曜日 11:30～18:30(仮)

日、祝日 11:30～17:00(仮)

※ 試行により、曜日及び時間ごとの利用者数や利用目的などを調査し、現行の開室日及び時間について必要な検討・見直しを行っていきます。

#### (2) 休室日

毎週月曜日、館保守日、特別整理期間、年末年始

※ 図書整理等のため休室日を設けます。

#### (3) 運営体制

常勤、非常勤司書

司書は司書資格を有する者、または音楽専門教育を履修したものとし、専門性の高いサービスを行います。

### 3. 提供するサービス

#### (1) 来館者へのサービス

半世紀に渡り収集し保存した資料を、利用者の求めに応じて迅速に提供し、音楽関係者、学生、一般の利用者など幅広いニーズに応えます。

##### ①レファレンスサービス

利用方法、資料の検索から音楽に関する専門的な質問まで、資料に精通した専門の職員が利用の手伝いを行います。

##### ②パート譜の貸出

都内で活動する中学、高校、大学や地域、職場などのアマチュアオーケストラ、吹奏楽団にパート譜の貸出を行います。パート譜は利用状況やリクエストに応じて充実させていく方針です。

##### ③コピーサービス

教育、文化芸術の発展に与するため、権利者の権利に配慮しながらコピーサービスを行います。著作権法を遵守するための情報収集や職員教育を積極的に行います。

#### (2) 非来館者へのサービス

①インターネットを利用した目録検索サービスのデータをさらに充実させ、利用者の利便性を高めます。

②館報、ウェブサイト、SNSを通してクラシック音楽のポータルサイトとしての情報発信を行います。

③アマチュアの演奏家や団体を支援するため、チラシの掲示・配布などに協力します。

#### (3) 音楽資料の収集・提供

①クラシック音楽、民族音楽、邦楽に関する資料(図書、雑誌、楽譜、音源、映像)の保存、充実につとめます。

②独自資料である東京文化会館の全公演プログラムの保存、充実につとめます。

③著作権の消滅した雑誌や新聞記事のデジタル・アーカイブ化を検討します。

④デジタル化した辻修氏寄贈の写真の利用をはかり、日本洋楽史の研究に貢献します。

#### (4) 他の機関との連携協力

・ 国立情報学研究所の総合目録データベース事業への参加を継続し、大学図書館との連携・協力を行います。

・ 国立国会図書館レファレンス協同データベースで当室のレファレンス事例を公開し、全国の図書館と協力体制を構築します。

・ 全国の公共図書館からの音楽資料に関する照会に応じるなど、専門図書館として他館に協力します。

### 4. 今後の取組

・ 貴重な音楽資料を持つ音楽資料室をより多くの都民の方にご利用いただくため、音楽に関連した講演会の実施など、音楽資料室の認知度を高める取組を実施します。

・ 所蔵資料の電子化を図り、貴重な資料の劣化を防ぐと共に、来室しなくても音楽資料が閲覧できるよう、都民の調査研究活動を支援する環境を整えます。

・ ICタグのシステムを導入し、貴重な所蔵資料の管理のデジタル化を推進し、利便性の向上と管理の徹底を図ります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて**  
**(1) 広報の充実**

**1. 実施方針**

広報は東京文化会館が持つ音楽・舞台芸術の発信拠点としてのブランドイメージをさらに向上、確立させていく上で、極めて重要な業務と考えます。

財団全体での戦略的プロモーションの取組に沿って、東京文化会館の認知度をさらに高め、一人でも多くの方々に来館していただけるよう、館独自の広報活動を強化していきます。

また、主催事業をはじめ貸館公演の券売強化につながるよう宣伝活動についても積極的に取り組んでいきます。

**～伝統と革新～**

**館のイメージ向上と実施事業のPRを基軸に、東京都や他の都立文化施設等と連携した広報活動を展開**

**(1) 東京文化会館の認知度を高める**

- 舞台芸術の殿堂、発信拠点としてのブランドを効果的、効率的に展開します。
- 東京文化会館の魅力ハードとソフトの両面から発信し、館自体の認知度を高めます。
- 若い世代への情報発信を強化し、若年層の集客力を向上させます。
- 高齢者や障害を持つ人、外国人をはじめ、あらゆる人々へ当館の活動を発信していきます。
- 上野地域の文化施設や教育機関、商店会、観光連盟等と連携し、「文化の杜」上野を国内外へアピールしていきます。
- テーマやコンセプトを共有した公演やイベントを、上野地域の多様な主体と連携して取り組みます。

**(2) 実施事業の広報・PR**

- 実施事業ごとにターゲット、メディアをセグメントした情報発信を行います。
- 財団のネットワークを生かし、都内、国内、国外に向けての発信を強化します。

**(3) 東京都・財団他施設等との連携**

- 東京都や他の都立文化施設等と連携して、効率的でスケールメリットを活かした広報を展開します。

**2. 具体的な取組**

情報発信方法	主な手法
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館ホームページを情報発信の基盤として充実・強化し、訴求力のあるツールとなるよう適宜改善を図る。</li> <li>→多言語化対応(英語、中国語、韓国語)等、ユニバーサルデザイン化の強化・充実</li> <li>→公演情報や主催事業情報の発信強化、コンテンツの充実化</li> </ul>
SNS等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITメディアの特長を生かし、SNS等を活用し情報を効果的に拡散し、事業内容の周知を図る。</li> <li>→TwitterやYouTubeチャンネル等、時代に即したツール展開を強化する。</li> <li>・貸館公演についても、SNSを活用した情報発信を行う。</li> </ul>
メールマガジン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの内容充実化、配信数増加を図るとともに、タイムリーな情報を提供する。</li> <li>・チケットの販売情報、貸館を含む公演に関する緊急情報等の配信も実施する。</li> </ul>
デジタルサイネージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館紹介、主催事業、貸館公演の情報掲出のほか、スポンサーや協賛等の企業広告にも活用</li> <li>・非常時において緊急情報発信や上野公園内、交通機関の情報掲出等にも活用</li> <li>・館内のほか、館外にも設置し、美術館や博物館等へ上野公園へ来る観光客等への訴求力を高める。</li> </ul>
チラシ ポスター パンフレット 広報誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗練されたデザインと内容を重視した、訴求力のある紙面構成を行う。</li> <li>・定期的に広報誌を発行するとともに、ウェブで配信する。</li> <li>・公演情報の多言語化による発信を行う。</li> <li>・館紹介のパンフレット(多言語)を発行し、観光案内所、宿泊施設等へ配布する。</li> <li>・音楽関連施設だけではなく、近隣の図書館や生涯学習センター、各種学校等への配布を強化する。</li> </ul>

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(1) 広報の充実

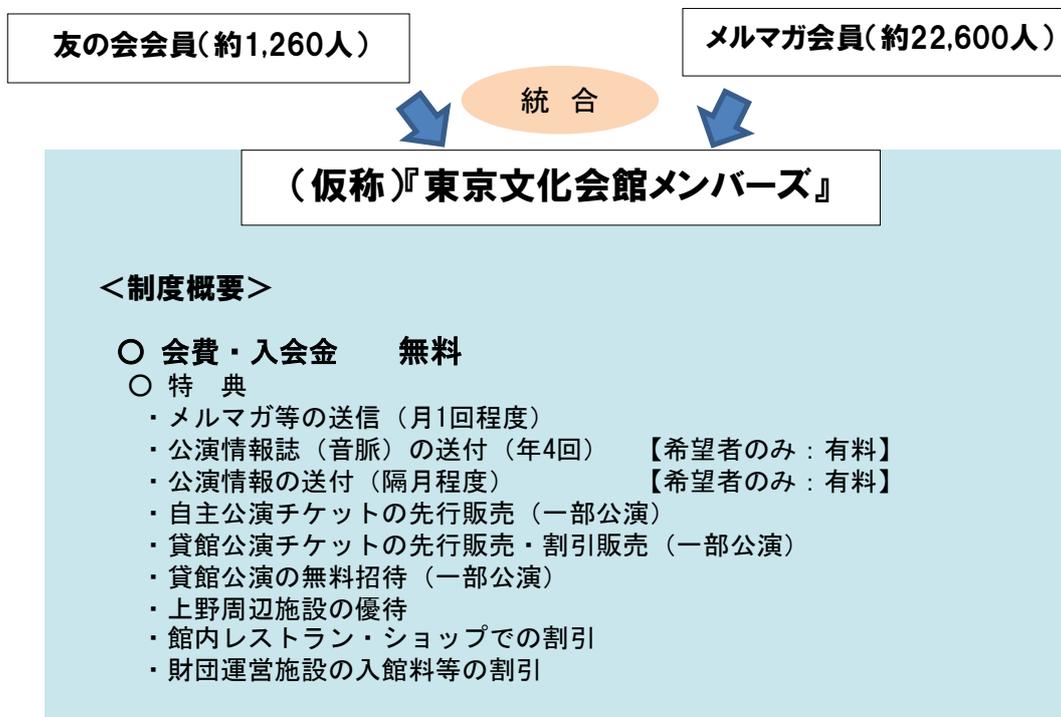
情報発信方法	主な手法
<p>チケットシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性が高く、効率的に、チケットを国内外から購入出来るチケットシステムの導入。 →利用者にとって、チケットを購入しやすいチケットシステム</li> <li>→海外からのチケット購入のオンライン化、海外クレジットカード対応</li> <li>→館内に設置できる情報端末(タブレット等)を導入し、端末を利用したチケットの購入・発券等</li> <li>→クレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済の運用拡大</li> </ul>
<p>メディア等対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア各社への定期的なリリースの送付による取材促進、及び、メディア担当者との連携を強化する。</li> <li>・「東京ロケーションボックス」をはじめ、映画、テレビドラマ、雑誌の撮影依頼、取材要請に対しては、絶好の広報チャンスと捉え、事業やお客様へのサービスに支障のない範囲で積極的に対応する。</li> <li>・財団全体のプレス発信媒体も活用してさらに多面的に情報を届ける。</li> </ul>
<p>東京都や他の都立文化施設等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の広報活動との連動展開 →主な主催事業については東京都と連名でプレス発表を行うほか、随時、都庁記者クラブに情報提供</li> <li>・財団の戦略的プロモーションを活用した広報・PR展開 →財団が取り組む戦略的プロモーションの中で実施する広報誌やウェブサイトで公演情報等を広報・PRする。 →当館ウェブサイトで当財団が管理運営する他施設・機構等を紹介する他、様々な媒体で展開する財団共通広報にも協力し、多角的な広報活動を実施する。 →外国人観光客誘致のための取り組みとして、英語・中国語・韓国語版パンフレットを作成し、近隣の主要駅、観光案内所や宿泊施設、都内のホテル、大使館などへ財団全体の取り組みと連携して配布する。</li> <li>・多様な主体と連携した広報・PR展開 →公演内容や目的にそって関連性や親和性の高い分野や機関など多様な主体と連携し、新たな手法も含めた幅広い魅力発信に取り組む。</li> </ul>
<p>舞台芸術に関心の低い方へアプローチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー向けのアプローチの一環として、子供や孫等への情操教育の手段として活用できるよう、当館の魅力的な公演やワークショップの情報を幅広く周知する。 →当館が開催するコンサート(未就学児向けや無料公演を含む)やワークショップについて、子育て・教育関係の雑誌・HP・TV番組等への広告出稿や取材対象として働きかける。</li> <li>・上野「文化の杜」新構想に関連し、今まで培ってきた「まちなかコンサート」等での美術館・博物館側との連携を軸に、上野の美術館・博物館等へ来館する人へのアプローチを強化する。 →上野公園内の各館との広報連携を行い、美術館・博物館の来館者へ当館の活動をPRする。各館にて当館の広報誌・チラシ等の設置、デジタルサイネージでの共同プロモーション等。</li> <li>・建築物としての魅力や多様な方法による発信により来館を促進する。 →建築ツアーや著名人を起用した発信・イベント等を通じて、当館に対する注目度を高める。</li> </ul>
<p>事業者名・団体名</p>	<p>公益財団法人東京都歴史文化財団</p>

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(2) 来館を促進する取組**

館の運営を支える上で、**リピーターの確保は、重要なポイント**です。  
従来から継続的に会館との関係を築いてきた「**友の会会員**」と、数も多く館から情報提供が行える**メルマガジン会員**を**統合**し、より広く舞台芸術ファンを拡大するとともに、東京文化会館ファンの拡大を図っていきます。  
また、館の基本的使命を達成するために、**新たな顧客の開拓を図ります**。2020年3月にJR上野駅公園口改札が移設されたことにより、当館は国立西洋美術館と向かい合っ上野恩賜公園のメインエントランスとなり、これにふさわしい風格ある空間を演出します。  
上野地区の来街者をいかにして会館に引き込むか、公演以外にも会館に立ち寄る価値のある魅力ある施設を目指します。また、音楽を愛好しているものの、オペラ・バレエ・クラシックにはこれまで接触のなかった若者などの顧客候補層への働きかけを工夫します。

**1. 「友の会」と「メルマガ会員」の統合**

現行の友の会制度は、時代のニーズに合わない面があり、年々会員数が減少の傾向にありました。このため、友の会会員とメルマガ会員制度を2021年度中を目処に統合し、従来のメルマガ会員も各種特典を利用できるようにいたします。(仮称)『東京文化会館メンバーズ』として、SNS等を活用し、最新の情報や館の魅力発信を強化することで、舞台芸術ファンの拡大や来館の促進に取り組みます。



東京文化会館	友の会	1,260名	➔	目標諸会員数	当面、現在会員数の10%増
	メルマガ	22,600名			

今後の観客・聴衆の高齢化が進む中、積極的に会館との関係を継続する会員の拡大を図り、当面、現在比+10%を目標とする。

**2. 上野公園のお客様を来館者に ～展示・体験、ショップの魅力**

新設されるJR上野駅公園口は、車両の通行がなくなり、来訪者が駅前から公園内に快適・安全に向かうことのできる駅前広場が整備されました。そのメインエントランスに位置する好立地(アクセスの良さ)を活かし、**公演のない時間帯や鑑賞目的でないお客様に対しても、来館の促進を図っていきます**。

例えば、貴重な音源鑑賞や舞台芸術への造詣を深められる音楽資料室への誘いや、エントランスやロビーに、音楽・舞台の展示・体験コーナーを開設し、気軽に音楽との初歩段階の接触を図りつつ快適に過ごしていただく工夫、魅力的なレストラン、カフェ、ショップを誘致し、それを目当てに来館するお客様の獲得、その方たちへの音楽との接触機会の提供等を図っていきます。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

### 提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて (2) 来館を促進する取組

#### 3. モダニズム建築の魅力をアピール

東京文化会館は、フランスの巨匠ル・コルビュジエの弟子である前川國男が、師の設計した西洋美術館との調和を意識して設計した建物であり、モダニズム建築の特徴を色濃く表す建物として、建築の世界でも高く評価されています。

2016年にコルビュジエ作品群の一つとして西洋美術館が世界遺産に登録されたことを踏まえ、**西洋美術館との連携も取りつつ、当館の建築の魅力をアピールし、新たな来館者の獲得を図ります。**  
また、建築を入り口とした来館者に対しても、音楽との接触機会の提供等を図っていきます。

#### 4. 若者へのアピール・さわりの体験を

現在のオペラ・バレエ・クラシックの顧客は高齢者が多く、将来を見越した業界の活性化を考えると、若者やファミリー層を新たな顧客として獲得していくことが必要です。**他のジャンルの音楽に関心を持つ者は相当数に上ると考えられ、食わず嫌いにならぬよう、まずは気軽に初期体験をしてもらうことが重要**であり、また**幼い頃の経験や体験がその後の関心に大きく影響**することも踏まえ、以下のような観点から取組を検討し、実施していきます。

##### (1) 上野「文化の杜」への来街層への働きかけ

JR上野駅正面に位置し「文化の杜」への多くの来街者を有する強みを活用します。

例えば、再整備されたJR上野駅公園口の広場から、公園内の文化施設等へと往来する多くの人々に、自主公演映像のライブビューイングや軒下でのコンサート等を定期的・継続的に行うなど、関心を喚起していきます。

##### (2) ハイライト映像での視聴体験

レストランや館内ショップの若者への魅力アップを図る、あるいは当館ロビーの待ち合わせ場所としての活用を促しつつ、館内ビジョン、**デジタルサイネージ**等を活用し、自主制作あるいは貸館公演の予告映像など、公演のハイライト部分を短時間で視聴できるようにします。

館内レストラン等でBGM・BGV等としての活用を図ります。

##### (3) 音楽資料室での無料視聴のアピール

館内外に音楽資料室のPR告知を充実し、無料かつ自身のスケジュールに合わせて活用可能な利点を生かし、すき間時間の活用等から、音楽資料室でオペラ・バレエ・クラシックの映像・音に触れるように促します。

##### (4) 財団パートナーシップ大学との連携、財団運営の他館の顧客層への働きかけ

財団がパートナーシップを結ぶ大学に働きかけ、体験プログラムを開発・実施に取り組みます。

財団運営の他館と共通テーマを設定した公演を実施し、レクチャーつきで音楽・舞台芸術を提供します。

##### (5) 若者・ファミリー層の関心領域からのアプローチ

若者やファミリー層の関心領域からの情報発信、事業展開により、当館との関わりを作り上げ、クラシックへの接触につなげます。

例えば、YOU TUBEを活用した公演ハイライト映像の配信、若者やファミリー層のメディアツールへの情報発信、先端の映像技術と組み合わせた公演や最新技術機器の活用体験、「ロケーションBOX」(撮影協力)による、ドラマ・雑誌等への露出の促進などに取り組みます。

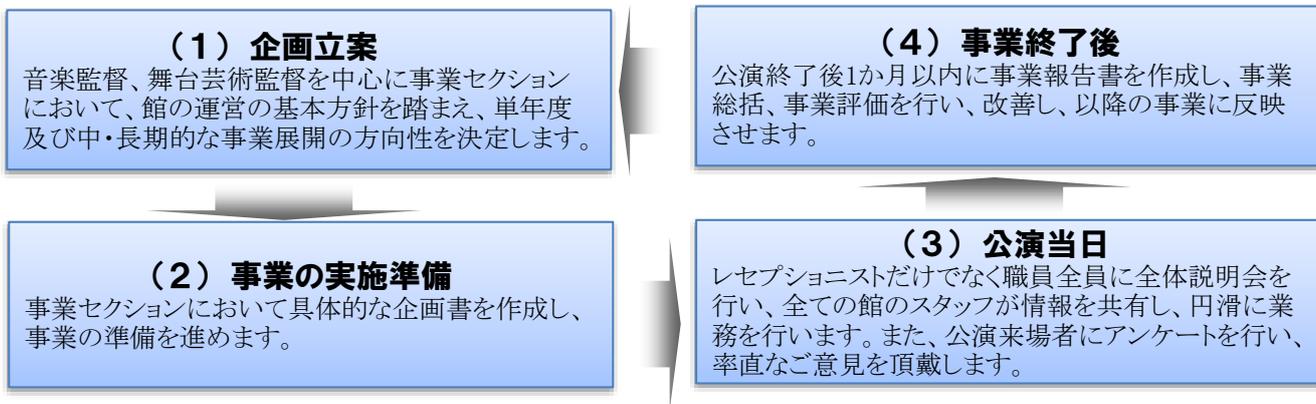
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(3)外部意見等の活用**

事業企画に外部専門家の助言を取り入れるなど、より質の高い事業展開・サービス提供に取り組んでまいります。

**1. 事業の企画立案ステップ**

事業の企画立案においては、企画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルを取り入れ、毎年事業の質を高めていきます。



**2. 外部の専門家の意見を取り入れる仕組みについて**

**(1) 外部評価委員の意見の取り入れ**

外部意見の取り入れについては、自主事業を中心に館の運営全般について、外部の専門家等で構成した外部評価委員会と館長の諮問機関である運営委員会が設けられ、委員の意見を集約し、運営に反映させています。

外部評価委員会については、事業計画の段階から事業の実施(途中経過)、最終報告に至るまで、年に4回、大所高所からの意見をいただき、年度末に事業の各項目ごとに評価を受けます。

この評価を次年度の事業運営の参考にします。

また、年1回の運営委員会についても、オペラ、バレエの専門家や演奏家、舞台技術の専門家等から東京文化会館の運営について、意見を聞き、事業運営に反映させます。

今後もこの専門家や評論家等の委員から貴重な意見をいただきながら、常に客観的な評価に基づき、運営を見直すとともに、高いレベルの事業運営を図っていきます。

**(2) ホール選考部会による利用選考**

大小ホールの利用選考にあたっては、現在、「運営委員会」内に外部専門家による「ホール選考分科会(「大ホール選考分科会」及び「小ホール選考分科会」)」を設置し、公正性を確保しながら、良質な公演を選定します。

今後も良質な舞台芸術公演を厳選して誘致し、クラシックの殿堂に相応しい公演を常に上演するホールとして、聴衆の期待に応えます。

**《外部評価委員会の流れ》**

**(1) 事業計画**

年度初めに外部評価委員に年間の事業内容を説明。また、自主事業の公演鑑賞等を依頼。

**(2) 事業実施(途中経過)**

年度途中で事業の実施状況を説明。意見を集約し、運営に反映。

**(3) 各委員が評価を作成→提出**

事業の実績に基づき各委員が運営状況の評価を作成。

**(4) 全委員の評価を元に最終評価を作成**

事務局で全ての委員の評価をまとめ、全委員からの意見のもと最終評価を作成。

**東京文化会館運営委員会  
館長諮問機関**

**ホール選考部会**  
「大ホール選考分科会」及び「小ホール選考分科会」は、運営委員各3名で構成

事業者名・団体名

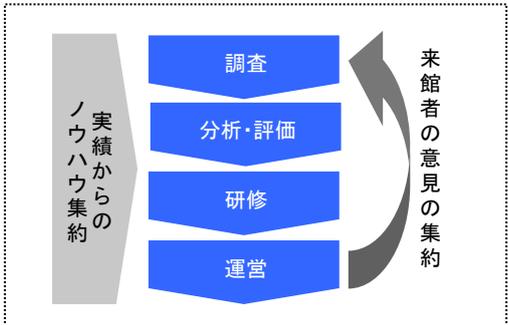
公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(4)ニーズの把握と対応**

**1. 基本方針**

**お客様の満足の追求**

お客様のニーズは多種多様であり、様々な観点で高いレベルのサービスの提供が求められていると認識しています。  
この期待に応えるため、一人一人のニーズを丁寧に捉えた管理運営となるよう、お客様とのコミュニケーションを通じて満足度を向上させます。  
当館は、これまでも顧客満足度調査や各種アンケート等の実施により、お客様の満足度の把握と向上に努めてきました。  
また、案内業務など日々お客様と直に接している委託業者からも、公演ごとに報告を受けるなど、日々、お客様ニーズの把握に努めています。  
これらの取組みを継続して現状の把握に努めるとともに、ご意見や苦情に真摯に向き合い、きめ細かなサービスの提供により、満足度の向上をさらに図ってまいります。



**2. ニーズの把握**

**定量、定性の両面からのニーズの把握**

下表のとおり、お客様のニーズは、顧客満足度調査、自主公演時に実施するアンケート調査、地域の懇談会等、様々な手法により、貸館の利用者や来場者の満足度、自主公演の満足度等といった様々なニーズを把握します。  
このニーズは、定量及び定性の両面で分析し、館内で情報共有することにより、お客様の満足度を向上させていきます。  
併せて、来館をしていない方の志向性の把握分析・ニーズ把握により、新たな顧客の創出を目指します。

**ニーズの把握の手法**

対象	手法	調査事項	定量データ	定性データ
利用者・来館者	意見交換	サービス、施設、自主公演、他館比較	○	○
	顧客満足度調査	サービス、施設、利用実態	○	—
	ご指摘対応	サービス、施設	—	○
	挟み込み任意アンケート	自主公演の満足度等	○	○
地域等	地域の会合等	地域への貢献		○
非来館者	提携大学のアンケート協力	音楽、舞台芸術への関心		○

**非来館者の声の把握**

6年間の指定管理期間を生き、数年に一度、グループインタビューやwebによるアンケート調査等により、非来館者を含めた一般の声を把握します。来館しない理由を把握し、施設に対する一般の方のイメージや期待と実態とのズレを確認します。

**3. 運営への反映**

**ニーズの共有と改善の実施、運営への活用**

**○調査結果の共有**

ニーズを把握した結果は、館内全関係者で共有し、解決、改善すべき課題を抽出します。

**○利用者・来館者の声を反映**

各種調査を分析した結果を集約するとともに、課題の優先度と緊急性を査定します。優先度の高い事項から改善に着手し、次年度あるいは中長期的に反映させていきます。

**○非来館者の声を分析**

非来館者を含めた一般の人々の調査結果を参考に、より幅広い人たちの来館を促すよう対応策を検討し、事業計画の見直しを行います。また、類似施設との競合関係を把握して、都内における施設の位置付け(ポジショニング)を確認し、今後の事業計画や戦略づくりの参考にしていきます。

<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(5) 外部資金の導入等による事業の充実**

**1. 実施方針**

効率的・効率的な管理運営が強く求められている今日、自治体が経営する文化施設においても財政的に外部資金を積極的に獲得していくことは欠かせません。劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(通称劇場法)の指針(平成25年文部科学省告示第60号)においても、館は、経営の安定化を図るため、事業の質を維持することを前提に、多様な財源の確保に努めるよう求めています。

これまでも館は、補助金や協賛金による外部資金の導入を積極的に行ってまいりましたが、**オリンピック・パラリンピック東京大会や開館60周年を契機に更なる自主事業の充実による都民満足の向上を図るため、次の6つの取組みを進め、安定した収支構造を実現します。**

**2. 具体的な手法**

**(1) 「(仮称)東京文化会館オフィシャル・パートナー」制度の運用**

主催事業全般の充実強化に資するため、館の持つブランド力を活かして、様々な広報・宣伝特典を提供する「**東京文化会館オフィシャル・パートナー**」制度を創設し、**企業団体からの協賛金の獲得**を目指します。

また、当制度で関係性の深まった企業団体とは、それぞれの持つ資源やノウハウを活かしながらWinWinの連携展開を検討していきます。

＜制度イメージ＞

金額:1口30万円/年

ランク:①プレミアム(10口以上) ②ゴールド(5口以上) ③パートナー(1口以上)

特典等:・広報媒体(情報誌、チラシ、HP等)への法人名、ロゴの掲載

・主催事業チケットの優待販売(一部公演)

・エントランスへの法人名掲示

・主催事業への招待(一部公演) 等

**(2) 個別事業への協賛金獲得**

「東京音楽コンクール」など従来から協賛実績のある案件については従来通り取り扱うとともに、若手アーティスト発掘・育成支援事業 や「国際連携企画」や「アウトリーチコンサート・ワークショップ」を中心とした教育普及事業、オリンピック・パラリンピック大会を契機にした障害者参加型事業など特定事業への協賛についても、必要に応じて関係機関との協議を行いつつ、趣旨に賛同いただいたスポンサーの意向を十分に踏まえながら柔軟に対応していきます。

**(3) 「賛助会員」制度の創設・運用**

主催事業全般の充実強化に資するため、**主催事業の趣旨に賛同する個人を対象**に、継続して資金的な支援をいただく「**東京文化会館賛助会員**」制度を創設し、当館への縁や愛着を形にしていきます。

＜制度イメージ＞

年会費:1口2万円

特典等:年次報告

**(4) 補助金・助成金の獲得**

創造性及び企画性が高く、特色ある国際的水準の実演芸術の公演事業、専門的人材や実演芸術に係る人材養成事業、実演芸術の普及啓発のための事業は、文化庁や公益財団法人地域創造などの公的補助金・助成金の対象となります。

質の高いこれらの自主事業の企画立案を早い段階から行い、**多くの公的外部資金の獲得に努めます。**

また、公益財団法人花王芸術・科学財団、五島記念文化財団、アサヒグループ芸術文化財団等、各種公益財団が実施している助成金制度に積極的に申請し、獲得に努めていきます。

**(5) 撮影協力及び広告による収入の獲得**

**前川國男の建築物としての魅力を活かし、ロケーションBOXの強化に努める**ほか、ホールや共有スペースの空き時間を有効利用し、ファッション雑誌や建築雑誌の取材・撮影を積極的に誘致し、撮影手数料の増収を図ります。

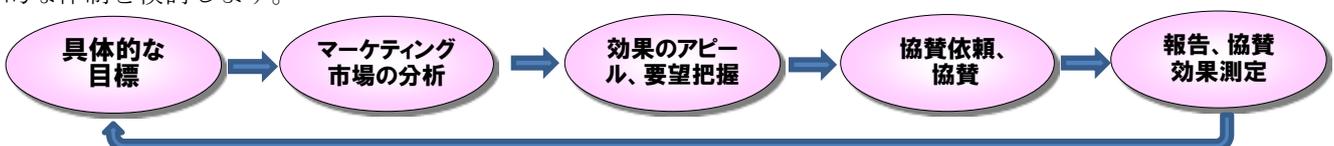
また、**貸館事業、さらには来街者に向けた広告も募り、広告料収入の増収を目指します。**

**(6) 寄付金の獲得**

様々な場面において、60年の歴史を持つ当館との縁や思いを形にしていただき、当館運営の充実強化につなげるため、財団事務局と連携しながら**寄付金獲得**に積極的に取り組みます。

**(7) 協賛獲得の恒常的な組織の設置**

協賛金の獲得にあたっては、財団事務局と連携し、ファンドレイジング担当の専門職員の設置など、効果的な体制を検討します。



事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題4 [館の運営に関する業務] 1 休館日及び開館時間並びに施設の機能向上について

休館日及び開館時間については、東京文化会館及び東京芸術劇場条例施行規則に基づき、可能な限り、利用者のニーズに沿った対応をすることを基本とします。また、同時に、施設設備の適切な維持管理を行うために、利用者の利便性に配慮しつつ、定期的な保守日の確保にも努めてまいります。

## 1. 開館時間

## (1) 開館時間

館の開館時間は、原則として9:00から22:00までとなっていますが、アンコール等で公演が長引く場合などは、柔軟に対応しています。利用者からも高い評価をいただいております。今後も、現行の開館時間を原則としつつ、公演の状況等に応じて、安全性を確保しながら対応していきます。

また、音楽資料室については、火曜日から金曜日は11:30から18:30まで、土曜・日曜・祝日は11:30から17:00まで開室しています。

今後も、曜日及び時間ごとの利用者数や利用目的などを調査し、開室日及び開室時間 について必要な検討・見直しを行ってまいります。

## (2) 時間外利用

オペラ、バレエ等の公演に際し、公演終了後の撤去・搬出作業や演目の入れ替えによる舞台仕込み替え作業等の時間外利用については、主催団体の意向とハード、ソフト両面の安全性にも十分配慮しながら対応していきます。

また今後、安全で質の高いサービス提供し、高水準の公演を継続して招致していくためには、利用団体や当館スタッフの適切な労働環境を確保していく必要があることから、他館の状況を踏まえつつ、夜間と翌朝の時間外利用に伴う対応インターバル時間の設定等について検討していきます。

また、レストランの営業時間は、原則として11:00から19:00までとなっていますが、終演後の余韻を楽しんでいただけるよう、終演1時間後(ラストオーダー30分)までの時間外営業や、主催団体から終演後にパーティー会場としてホワイエの利用について要望があった場合には調整を行います。

## 2. 休館日及び臨時休館日

## (1) 休館日

館の休館日は、現在、年末年始(1月1日から3日及び12月28日から31日)となっていますが、年末は、「ベートーヴェンは凄い！全交響曲連続演奏会」をはじめ、毎年利用者からの要望が多いことから、積極的に開館していきます。

また、年始においても、東京文化会館の新年の幕開けを飾る、恒例の「ニューイヤーコンサート」を自主事業で開催していきます。

音楽資料室については、図書整理等のため、原則毎週月曜日のほか、特別整理期間及び年末年始等に休室日を設けます。

## (2) 臨時休館

## ①保守点検

月2日は、舞台機構等をはじめとした施設・設備の保守点検のため、臨時休館します。

施設・設備の不具合により公演に支障が生じた場合は、公演そのものを台無しにしてしまい、館の信用を深く傷つけることにもなります。そのため、利用者の理解を得ながら、十分なメンテナンスを行ってまいります。

## ②工事休館

昭和36年の開館から58年が経過し、施設・設備の劣化が進んでおり、施設・設備の安全性と快適性を維持するため、これまでの夏期2週間程度に加えて、冬期にも1週間程度の工事休館日を設けます。

また、日々の施設・設備の予防保全の観点から、施設の予防調査及び今後の耐用年数や保証期限が切れる設備等を計画的に改修できるよう、改修工事を提案いたします。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題4 [館の運営に関する業務] 1 休館日及び開館時間並びに施設の機能向上について

## 3. 多言語化

前期指定管理期間では、外国人旅行者の急増や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、外国人がストレスなく芸術文化に触れることができる環境を整えるため、ハード面の多言語化の体系的な整備、ICTや音声ガイド等の活用やショップ・レストラン等を含めたスタッフ対応等ソフト面での充実について、欧米・アジア諸国の主要な文化施設の水準を参考に対応方針を策定するとともに、お客様の利用実態に即した対応計画を策定し取り組んでまいりました。

今期指定管理期間においても、必要な措置は東京都と協議の上、前期指定管理期間において達成した水準を維持していくとともに、お客様のニーズを踏まえ、最先端技術の活用等により更なる充実を図ってまいります。

※ 詳細は提案課題4-2-(1)を参照

## 【前期指定管理期間の取組】

平成28年度 対応計画の策定  
平成29年度～平成31年度 整備実施、効果検証、改善

## 4. バリアフリー化

前期指定管理期間では、超高齢社会への対応や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、あらゆる人がストレスなく芸術文化に触れることができる環境を整えるため、事業やお客様サービス等ソフト面のバリアフリー化について、お客様のニーズを踏まえた対応方針を策定するとともに、利用実態に即した対応計画を策定し取り組んでまいりました。またハード面のバリアフリー化についても、東京都と一体となって整備を進めてまいりました。

今期指定管理期間においても、必要な措置は東京都と協議の上、前期指定管理期間において達成した水準を維持していくとともに、多様性のある社会の実現に向け更なる充実を図ってまいります。

※ 詳細は提案課題4-2-(1)を参照

## 【前期指定管理期間の取組】

平成28年度 対応計画の策定  
平成29年度～平成31年度 整備実施、効果検証、改善

## 5. 利便性の高い決済手段等

チケット販売窓口では、高額なチケットをお買い求めになるお客様も多くいらっしゃるため、クレジットカード決済を導入し、利便性の向上を図ってまいりました。SuicaやPASMO等のICカード決済、QRコード決済につきましては、チケット発券システム事業者の対応が整い次第、順次導入してまいります。

また、施設貸出窓口においてクレジットカード・ICカード・QRコード各決済の一括導入を令和2年度内に予定しております。

今後もお客様にとって利便性の高い決済手段の充実を検討してまいります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて (1) 来館者への基本的なサービス

### 1. 実施方針

音楽芸術を継承、創造及び発信する場を提供するとともに、来館者の方々が文化的環境を満喫することができる豊かな場所となるよう、来館者の立場に立ったサービスを提供してまいります。

#### (1) 地域の文化拠点として、心豊かな生活の実現を目指します

潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を実現するための場として、また、社会参加の機会を開く社会包摂の機能を有する文化拠点として、満足度の高い時間をお客様へ提供する運営を目指します。

#### (2) あらゆる事態に対応できるプロフェッショナルなスタッフを揃えます

日常的にはきめ細やかな、そして緊急時には迅速・確実な対応を徹底します。受付・警備・清掃・ホール案内について、専門的な訓練を受けたスタッフを擁する事業者へ委託し、それぞれ研修を繰り返すことによって、接遇レベルを常に高く保ってまいります。

### 2. サービス充実に向けた取組み

#### (1) 受付案内業務

来館者や主催者を最初にお迎えするのは受付・案内スタッフです。この受付・案内スタッフの気持ちの良い対応が、館のファンをつくる大きな要因の一つになると考えます。

総合案内、施設の予約や利用料金の支払い窓口、音楽資料室、チケットサービス、ショップ、レストランなど、お客様と接する全ての場所を、館の顔と位置付け、接客レベルの高い事業者を活用し、質の高いサービスを安定的に提供いたします。

※総合案内・電話案内:2名以上配置(利用状況により増員対応)

※チケットサービス窓口・電話受付:3名以上配置(チケット販売状況により増員対応)

※会議室受付:2名以上配置(利用状況により増員対応)

#### (2) バリアフリーへの配慮

① 当館は建築年代が古く、現代仕様の施設に比べ設備面では劣る部分がありますが、こうしたハード(老朽施設)の限界をソフト(心くばりと工夫)でカバーすべく、車椅子の方や高齢者の方々が心地よく過ごしていただけるよう、きめの細かい接遇によって最善を尽くします。

② エレベーターのない大ホールについては、楽屋口エレベーターを使い、屋上の屋外通路から4階客席へ入るバリアフリー動線を設けています。また、多目的トイレ(音声案内付)、点字ブロック、オストメイトを整備しています。

③ 高齢者や子供、障害者、外国人が安全にストレスなく芸術文化に触れていただけるよう、館をあげて取り組みを進めます。

《例》

- ・大き目な文字表示、多言語表記
- ・外国語を話せるスタッフの配置
- ・筆談、車椅子、補助犬、ベビーカー対応
- ・客席内階段への手摺り設置、ユニバーサルガイドの作成、サイン表示
- ・誰もが読みやすく使いやすいアクセシビリティに配慮したホームページの運営

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて**  
**(1) 来館者への基本的なサービス**

**(3) 海外からの来館者等へのサービス充実**

海外から日本を訪れる外国人に、当館をご利用していただけるよう、次のような取り組みを進めていきます。

①外国語案内の充実

<例>ホール内での外国語によるアナウンスを実施

総合案内での携帯型音声通訳機導入等による外国語対応の拡充(英語以外)

多目的トイレの音声案内の多言語化

②ホール施設内のサインの見直し、広報物、チラシ等の多言語化

③チケット購入時、英語表記の伝票を使用、クレジットカードや電子マネーでの決済対応

④海外からのチケット購入のオンライン化

**(4) 救急対応**

長年にわたる救急対応の経験を活かし、館内スタッフの連携により、迅速で万全な安全管理体制を構築します。

**(5) その他基本的サービス**

①レセプション業務 : 専門的な訓練を受けたスタッフを擁する事業者へ委託します。

※レセプション配置数 (4月～10月)大ホール25人 小ホール5人(業務責任者1名含む)

(11月～3月)大ホール27人 小ホール5人(業務責任者1名含む)

②無料コインロッカー : 小ホールホワイエ、音楽資料室に設置します。

③車椅子の貸出し : ご希望により貸し出します。(4台)

④キッズシートの貸出し : ご希望により貸し出します。(30個)

⑤給水機の設置 : 資料室前、大ホール客席4階、大ホール売店カウンター隣、小ホール売店カウンター隣に設置します。

⑥託児室の提供 : ご希望により貸し出します。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて (2)レストラン及びショップ等の運営

### 1. ショップ

#### (1) 運営方針

公演の来場者やチケット購入目的の来館者だけでなく、上野の森への来場者も積極的に迎え入れ、上野公園を訪れる全ての来場者に向けたサービスを提供し、賑わいを創出していきます。

公演に訪れるお客様に満ち足りた時間を過ごしていただくためには、ショップやチケットサービスにおいても、館としてホスピタリティ溢れるトータルなサービスを提供することが重要だと考えます。そのため、世界最高水準の公演を提供するホールに相応しく、収益性の高い運営事業者を「企画コンペ方式」にて決定の上、委託します。

#### (2) 計画概要

##### ①ショップ(2か所)

館におけるショップの役割は、観劇やコンサートの感動を思い出としてお持ち帰りいただけるような商品を提供すること、世界中から東京を訪れる観光客のために質の高いお土産として相応しい商品を提供することです。

お客様にとって見やすく買いたくなるような空間作りと、館のイメージアップにつながるような売場作りを目指します。

《商品ラインナップ例》

- ・東京文化会館のオリジナルグッズ
- ・館での上演ジャンルに合わせたオペラ・バレエ・クラシック等の関連商品
- ・文化の発信地「上野」のお土産に相応しい商品
- ・海外からのお客様にも喜んでいただけるような日本の伝統文化が感じられる商品

##### ②チケットサービス

公演を楽しまれるお客様との接点は、チケットをご購入いただくときから既に始まっています。公演を心待ちにされているお客様の気持ちに寄り添い、施設の特徴を十分理解したスタッフが親切丁寧にチケット手配のお手伝いをいたします。

※窓口・電話受付3名以上配置(チケット販売状況により増員対応)

### 2. レストラン・カフェ

#### (1) 運営方針

公演前に談笑して胸躍らせ、公演後は舞台の余韻を楽しむといったように公演前後も含めた贅沢な時間をお過ごしいただくため、レストラン及びカフェを通じ、飲食サービスを提供します。

質の高いレストラン及びカフェを円滑に運営するためには、外部のスペシャリストによる優れたアイデアとノウハウが必要です。

レストラン及びカフェにおいては、館の基本方針や館内サービスの考え方に沿った運営事業者を、「企画コンペ方式」により決定の上、委託します。

#### (2) 計画概要

##### ①レストラン及びカフェ

館におけるレストラン及びカフェの役割は、館及び上野の森にお越しのお客様に良質な飲食と憩いの場を提供し、満ち足りた至福のひと時をゆったりと過ごしていただくことです。

上野駅から至近のロケーションを活かし、公演と連動したレストランサービスの提供、工夫を凝らしたメニュー展開、快適な雰囲気づくりを目指し、座席予約やメニュー予約など、お客様本位のサービスを提供していきます。

##### ②楽屋カフェ

出演者、館内利用者、館内スタッフ等は、最高の公演を成功させるための準備等に余念がなく、自由となる時間が限られています。外出せずにスピーディーに随時利用できる飲食サービス及びケータリングを提供していきます。

### 3. ユニバーサルデザインへの配慮

高齢者や子供、障害者、外国人が安全にストレスなく芸術文化に触れる環境を整えるため、レストラン、カフェ、ショップ等も含め、館をあげてユニバーサルデザインに取り組みます。

《例》

- ・大きめな文字表示、ふりがな、多言語表記
- ・外国語を話せるスタッフを配置
- ・筆談、車椅子、補助犬、ベビーカー対応
- ・子供向けメニュー

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて  
(3) 館内ホスピタリティ等の充実**

**1. 館内ホスピタリティについての基本的な考え方**

文化会館の大ホールや小ホールなどを利用する主催者、また、そこで催される公演を観に訪れる来館者など、様々な目的で来館される全てのお客様の「安全・安心の確保」と、「相手に寄り添う心をこめたおもてなし」を実践します。

**東京文化会館が目指す“おもてなし”**

- 1 主催者と観客、二つのお客さまにとって最高の公演を実現し、提供していきます。**  
安全を確保しつつ、創意工夫し主催者の要望に最大限にお応えする、「NOと言わない舞台管理」を実践します。世界最高水準のオペラ・バレエ・クラシック等、お客様にご満足いただける良質な公演ラインナップを提供いたします。
- 2 様々なニーズを受けとめ、どなたにも心地よいおもてなしを追求していきます。**  
ご来場のお客さまに寄り添う、親切で心をこめたおもてなしを実践します。年齢、国籍、障害等、様々な個性を有するお客様一人ひとりに向き合い、ご意向を踏まえた満足いただけるサービスの提供に努めます。
- 3 施設(ハード)の限界を、心くばりと工夫(ソフト)でカバーしていきます。**  
50余年前の建物であるため、施設の構造上の限界がありますが、スタッフ一人ひとりの知恵と工夫でカバーしていきます。例えば、ご予約時に車いす利用の申し出をいただいたお客様には、ご希望により、当日に駐車場や駅出口向いでご来場をお待ちし、お席までご案内します。  
また車椅子のお客様が一般席でのご鑑賞を希望される場合、客席内の階段移動をサポートします。楽屋口エレベーターを活用し、屋上の屋外通路から大ホール4階客席へのバリアフリー動線を設けます。

**2. 館内ホスピタリティ向上に向けた具体的な取組み**

**(1) コミュニケーション機能の充実及び施設サービスの維持・向上**

お客様は一人として同じではなく、ご提供するサービスも一通りではありません。コミュニケーション力を十分に発揮し、密接なコミュニケーションの中からお客様の思いを導き出し、画一的ではない一人ひとりの気持ちに寄り添ったサービスを提供いたします。お客様から発せられる言葉のみならず、表情や態度など声なき声にも応えていきます。総合案内は、当館だけでなく地域や近隣施設の情報も幅広くご案内し、上野公園を訪れる方にとっての「コンシェルジュ」としての機能を果たしていきます。  
また、幅広い年齢層の方に、快適で安全にご利用いただける館であるために、清潔で快適な環境を維持し、誰もが安心して利用できる施設サービスの維持・向上を図ります。  
さらに、施設のバリアフリー化、多言語対応やアーカイブ化を含めた鑑賞環境の充実・強化などにより、子供や高齢者、障害者、外国人など、様々な人々が安全にストレスなく芸術文化に触れることができる環境作りを目指します。

**(2) お客様の「声」を管理運営にフィードバックします**

私たちは、コミュニケーションを通じて得られたお客様の「声」を、無駄にいたしません。アンケートや改まった調査のみならず、日々のコミュニケーションの中でのお客様の何気ない一言もマーケティングの貴重なデータとして集積します。集積したデータをまとめ、施設運営に携わるすべての職員が目を通し、問題意識を共有します。またCS(来館者満足)に向けて、それらのフィードバックが確実にいけるよう、日々の業務の中に反映させます。

**3. お客様からのご指摘への対応**

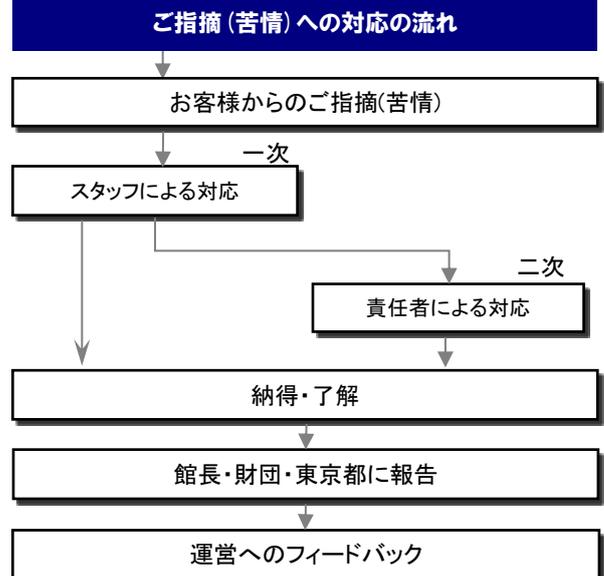
多くの方が訪れる文化施設では、ほんのささいなことでも来館者の方からのご指摘につながるものが少なからずあります。そうしたご指摘(苦情)に真摯に向き合い、来館者の方に納得いただけるまでお話を伺う姿勢をもって接します。

事態が発生した場合は真摯に受け止め、関係機関への報告はもちろん、事例を情報として共有するとともに整理し、再発防止に努めます。

お客様からのご指摘は、スタッフの対応次第で未然に防ぐことができます。各部門での研修やケーススタディを通じて、万が一の場合にも落ち着いて対応できるように努めていきます。

マニュアルを整備しつつ、それに頼らず、お客様一人ひとりに対するマインドを持つことをスタッフに意識させます。利用者・来館者の方に対する聴く姿勢を持ち、「ひとこと」いただけるような場づくりを心がけ、清掃や警備などの委託事業者も含め、館に携わる一人ひとりが「ご相談窓口」として対応します。

また、アンケートなどには迅速かつ誠実に対応し、来館者の方に「また来たい」と思ってもらえるような信頼関係の構築を目指します。



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題5【組織及び人材】 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保について

## 1. 基本的な考え方

**(1) トップマネジメント機能の強化**

東京文化会館は、優れた音響とともに高度な舞台管理・貸館運営を行うことで、首都圏のお客様に、世界を代表するオペラやバレエ等、最高水準の公演ラインナップを提供し、音楽・舞台芸術の殿堂として、高い評価をいただいております。

近年は、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の施行、文化芸術振興基本法の改正を踏まえ、公立文化施設として文化芸術の振興を図る事業の充実を図っています。劇場等に期待される役割は、貸館運営だけでなく、新たな舞台芸術の「創造・発信」、幅広い人々に芸術鑑賞・参加の機会を提供する「教育普及」、「専門人材の育成」、芸術を活用した「社会的課題の解決」等に向けた主体的な取組へと変化してきています。

こうした時代の潮流に加え、聴衆の高齢化によるクラシック音楽を巡る経営環境の変化を控え、当館は、基幹となる指定管理業務に加えて創造発信型事業などの先進的な業務についても、より積極的に取り組んでまいります。

当館は、文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 総合支援事業採択館として全国的な劇場、芸術文化の活性化に向け、先導的な役割が求められており、全国の劇場とのネットワークを構築し、共同制作・巡回公演、知見や技術の提供等、音楽ホール等の経営環境が変化する中、より積極的に役割を果たしていきます。

次期指定管理期間において、こうした使命を中長期的により一層効果的かつ着実に果たしていくため、舞台芸術の専門家として「舞台芸術監督」を配置し、「舞台芸術の殿堂」である当館の主催事業をけん引する創造性の高い事業の企画・制作を音楽の専門家である「音楽監督」とともに構築していく体制を整えます。

また、音楽・舞台の企画制作とマネジメントの両面に経験・素養があり、発信力・誘客の強化、外部資金の獲得等を担える専門人材の副館長への起用を検討するなど、トップマネジメント機能の強化に努めてまいります。

**(2) 組織再編による体制の強化**

次期指定管理の開始に伴い、ホール運営に必要な体制の強化に向けた組織再編を行います。

管理課に内包した舞台管理部門を「舞台技術課」として設置し、建物設備・舞台設備の両面における管理・運営のみならず、貸館や自主事業との連携をよりスムーズに行う体制に強化します。

また、営業機能を拡充し、当館の特徴である高水準の公演を活かした主催者・会館双方にメリットのある連携・協働、幅広い公演開拓のための営業、事業を支える外部資金の獲得や、若年層等の新たな顧客開拓のためのコミュニケーション、資料室・建築・付帯施設の魅力発信による来館動機の拡大などを進めるため、体制を強化します。

情報発信については、営業推進係に内包されていた広報担当を「広報係」として設置し、自主事業の広報のみならず、貸館との連携強化やSNS等の時代のニーズにも対応できる体制を整えるとともに、事業終了後の発信にも力を入れていきます。

また、主催事業のチケット販売を拡大し、より幅広い層の観客動員を図れるよう、体制を構築してまいります。

**(3) 自主事業の充実、オリンピックのレガシー展開、社会包摂への対応**

『未来の東京』戦略ビジョンを踏まえ、当館の自主事業の柱の一つに位置付ける教育普及及び社会包摂事業を拡充して実施し社会的課題の解決を図っていくとともに、オリンピックのレガシーとして首都東京からの発信として世界的に注目を集めた「オペラ夏の祭典」を新国立劇場との共同制作として継続していくこと、地方の劇場へのプログラムの提供等、連携・波及を図っていくこと等の舞台芸術の展開を行うこと等から、事業企画課の体制を強化します。

**(4) 音楽資料室業務の拡充**

時代のニーズに対応したデジタル化の推進や広報の充実を図るため、司書の統括責任者を配置して、価値ある資料を多様なアプローチで提供できる仕組みを構築し、コアなファンから一般の方々までが気軽に利用できるよう改善できる体制を構築します。

**(5) 外部専門事業者の活用**

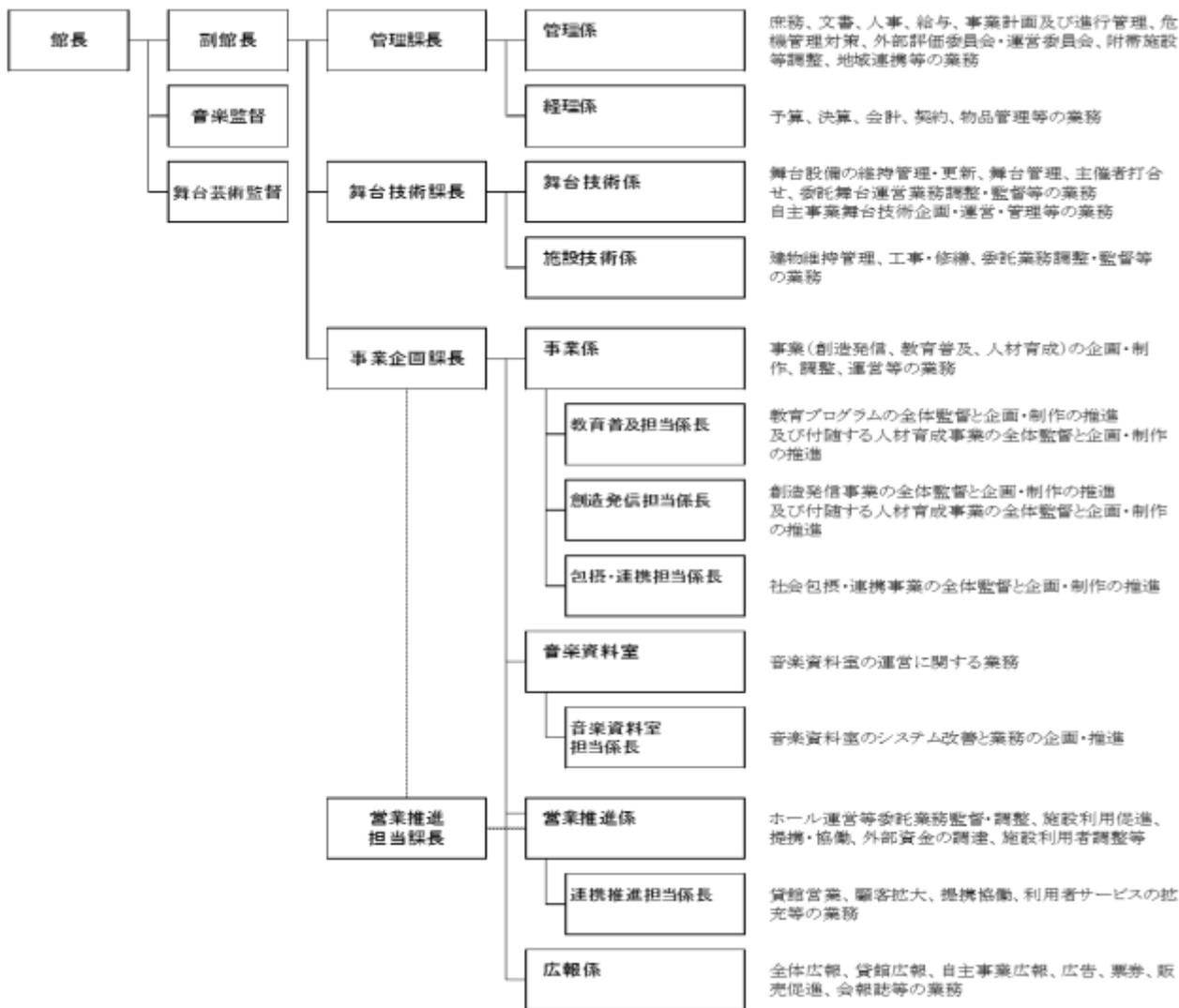
舞台運営業務、レセプション業務、ホール案内業務、チケットサービスの運営等については、専門事業者へ委託し、経験とノウハウを活用し、質の高いサービス提供を図ります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題5 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保について

2. 運営体制

(1) 組織と各部署の業務内容



\*職員数は、令和2年度の調整人員をもとに、令和3年度以降、調整人員要求を行う予定の人員を加えている。

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題5 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保について

(2) 各組織の人員配置

令和3年度は、これまでの指定管理業務を踏まえた組織の再編を行い、今期指定管理期間の基本方針に則った運営に臨みます。  
 歴史ある施設としての価値を高めることはもとより、平成24年度に施行された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」に則り、時代のニーズに即したより柔軟で活発な「舞台芸術の殿堂」であるために、運営に不可欠な利用促進・資金調達等の渉外業務や事業に携わる専門人材、それを効果的に発信する広報、安定した施設や舞台の管理・運営を行う専門人材、そして、一流のオペラやバレエ公演の誘致を専門的に行う人材等を増員し運営してまいります。

	令和2年度	増減	令和3年度	増減	令和4年度	増減	令和5年度	増減	令和6年度	増減	令和7年度
館全体											
管理課											
館長											
音楽監督											
舞台芸術監督											
副館長											
管理課長											
管理係											
経理係											
舞台技術課											
舞台技術課長											
舞台技術係											
施設技術係											
事業企画課											
事業企画課長											
事業係											
音楽資料室											
営業推進担当課長											
営業推進係											
広報係											

【現定数と比較した増減数】

- |          |     |   |
|----------|-----|---|
| ① 舞台芸術監督 | R3~ | 提案課題4-3(1)  |
| ② 管理課長   | R3~ | 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律や『未来の東京』戦略ビジョンに則った運営の充実 提案課題2-1(1) |
| ③ 管理係    | R3~ | 舞台技術課設置に伴う組織再編                                      |
| ④ 管理係    | R3~ | 舞台技術課設置に伴う組織再編                                      |
| ⑤ 舞台技術課長 | R3~ | 舞台技術課設置に伴う増   |
| ⑥ 舞台技術係  | R3~ | 組織再編  |
| ⑦ 施設技術係  | R3~ | 工事・修繕等への対応のため                                       |
| ⑧ 施設技術係  | R3~ | 組織再編による管理係からの移管                                     |
| ⑨ 事業係    | R3~ | レガシーオペラ、教育普及・社会包摂事業の拡充                              |
| ⑩ 音楽資料室  | R3~ | 音楽資料室の運営の充実 提案課題3-3(2)、5-1(4)                       |
| ⑪ 音楽資料室  | R3~ | 業務の充実に伴う増   |
| ⑫ 営業推進係  | R3~ | 広報係設置による組織の再編                                       |
|          |     | 館の運営を支える資金調達、営業、渉外の充実 提案課題2-1(1)、3-4(2)(5)、4-2      |
|          |     | 組織再編、事業の充実に伴う増 提案課題5-1(2)                           |
|          |     | 事業の充実に伴う増 提案課題5-1                                   |

※ 令和3年度以降の人員配置については、現在想定する事業等の動向や、今後東京都から実施を求められる事業等に連動して必要となる人員の確保に向けて、適切に東京都へ要請し、措置されるように努めます。

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題5 [組織及び人材] 2 明確な責任体制の構築について

## 1. 基本的な考え方

私たちは高い専門性をもった文化施設運営のプロフェッショナル集団として、事故なく円滑に業務を遂行することを使命と考えております。そのためにも、明確な責任体制を構築し、専門的かつ幅広い視野を持ってそれぞれの組織を統括し、より良い館の運営に努めます。

文化会館の最高責任者を館長として、館運営は、音楽監督(自主事業の企画責任者)、副館長(経営部門の責任者)、管理課長(管理部門の責任者)、事業企画課長(自主事業の制作・執行責任者)、サービス推進担当課長(渉外部門の責任者)のもとに、各部門が連絡調整を図りながら事業を運営いたします。

館長	館の代表として事業を統括します。
音楽監督	自主事業の実施に伴う音楽芸術の監督を行います。
舞台芸術監督	舞台芸術の創造・発信、教育普及、人材育成等の自主事業の企画立案を行います。
副館長	館長の意向を受け、日々の館運営全般を統括します。
管理課長	副館長を補佐して、館の人事・財務・施設の維持管理等を統括します。
舞台技術課長	施設・舞台を技術面から監督し管理・運営を統括します。
事業企画課長	音楽・舞台芸術監督の意を受けて自主事業の企画・制作、広報戦略等の事業運営を統括します。
営業推進担当課長	館の窓口として、渉外、広報や誘客等を統括し、VIPの来館や視察に対応します。

## 2. 人材配置の考え方

職名	人材配置の考え方
館長	館の最高責任者でもある館長については、音楽・舞台芸術に造詣が深く、経営的な視点においても卓越した見識を持つ人物を選任します。
音楽監督	特に音楽に精通し、舞台芸術監督と共に音楽性の高い自主事業を企画立案できる人材を選任します。
舞台芸術監督	音楽や舞台芸術に精通し、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律と「『未来の東京』戦略ビジョン」を踏まえた自主事業を企画立案できる人材を選任します。
副館長	管理職として、劇場・音楽堂における制作・運営等の業務経験が豊富で、財務・人事等を含めた管理運営面のマネジメント力を有する人材を起用します。
管理課長	総務、人事等を含めた管理運営面のマネジメント力を有する人材を起用します。
舞台技術課長	施設や舞台技術に精通し、豊富な経験とマネジメント力を有する人材を起用します。
事業企画課長	音楽や舞台芸術に精通し、豊富な経験、人脈、マネジメント力を有する人材を起用します。
営業推進担当課長	劇場・音楽堂運営業務の豊富な経験と業界やマスコミ等の人脈とマネジメント力を有する人材を起用します。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題5 [組織及び人材] 3 専門的職員等の配置について

## 1. 基本的な考え方

「舞台芸術の殿堂」である館を安定して運営するためには様々な専門性が必要です。自主事業を支える音楽や舞台芸術の専門性、貸館を支える営業力や調整力、舞台技術の知識、施設を総合的に管理運営する能力等、欠かすことの出来ない知識を持った人材を適材適所に配置し、個々の持つ専門性を十分に発揮できる環境を整え施設を支えてまいります。

## 2. 人材配置の考え方

## (1) 運営を担う専門人材

お客様サービスの向上、来館と施設利用の促進、外部事業者との提携・協働・資金調達、安全・安心・質の高い演出を支える舞台管理、顧客開拓につながる広報など、館の運営基盤と主催事業の展開を支える人材を配置します。

副館長	①館統括 ②館長補佐 実質的な運営統括者として、館運営を総指揮
舞台技術課長	①課の統括 ②施設の維持・管理・運営監督 都内に数少ない、本格的なオペラ・バレエが可能な当館の舞台設備を活かし、安全かつ最良の舞台づくりで質の高い公演をサポートするとともに、利用者と最適な使用期間調整をも行う、高度な技術と豊富な経験、実績を有する舞台技術者で、施設の設備管理の専門的知識・経験が豊富
舞台技術係長	①係の監督 ②施設・舞台管理 ②ホール利用者調整 ③委託業者の指示・監督・調整 舞台技術・設備の専門的知識を持ち、係の監督者として施設の管理・運営の実務を統括
舞台技術係	舞台技術の専門的知識を持ち、備品管理や主催事業の運営に携わる
施設技術係	施設技術の専門的知識を持ち、施設の点検や備品管理等、委託業者との窓口となる
営業推進担当課長	①渉外統括 ②委託業者監督・調整 ③営業推進係・広報係統括 ホールサービスの向上、施設利用の促進、資金調達・提携・協働、広報等の渉外業務担当し、運営の牽引役を担う
営業推進係長	①係の監督 ②ホール運営 ③利用促進 ④顧客サービス ⑤貸館調整 ⑥施設利用者管理 係の監督者として、担当課長を補佐し、ホール運営、渉外調整等の実務を総括
営業推進係	営業推進係長を補佐し、ホール運営、お客様サービス等に携わる
連携推進担当係長	①貸館営業 ②顧客拡大 ③提携・協働 ④利用者サービスの拡充 主催者との提携・協働、幅広い音楽ジャンル主催者への働きかけ、自主事業や貸館公演の充実を支える営業活動や顧客拡大の制度運営を推進する。 音楽業界に明るく、公演マネジメント、顧客開拓・拡大の経験を有し、渉外営業能力を有する人材
広報係長	①全体広報 ②取材対応 ③自主事業公演広報業務(票券業務、チラシ・プログラム等制作、広告出稿、SNS、報告書作成) ④販売促進 マスコミ等業界に詳しく、新たな企画の発想力と情報の発信力を兼ね備える効果的な広報媒体の作成・配布による観客動員を推進する
広報係	広報係長を補佐し、効果的な広報や販促、徹底した票券管理等、専門的な知識を活用して業務に携わる
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題5 [組織及び人材] 3 専門的職員等の配置について

## (2) 芸術文化振興を担う専門人材

音楽や舞台芸術の専門的な知識を有し、公演の企画制作、人材育成、教育普及、ネットワークの形成、芸術文化を支える人材育成など、芸術文化の振興業務を支える人材を配置します。

<b>音楽監督</b>		自主事業の企画立案 特に音楽を熟知し、創造性溢れる事業展開の企画立案の音楽芸術性を担保する
<b>舞台芸術監督</b>		自主事業の企画立案 音楽・舞台芸術を熟知し、創造性溢れる事業展開の企画立案を担う
<b>事業企画課長</b>		事業企画課業務統括 音楽・舞台芸術に精通し、人脈を活用して事業を企画・制作・推進する
<b>事業係長</b>		①系の監督・執行管理 ②助成金・補助金獲得 ③音楽資料室事業推進・監督 音楽・舞台芸術の豊富な知識や実務経験を活かし、チームリーダーとして全体を牽引する
<b>事業係</b>		事業係長を補佐し、系の庶務、助成金等獲得業務に携わる
<b>教育普及担当係長</b>		教育普及事及び人材育成事業(ワークショップリーダー育成)の企画・制作・推進 音楽・舞台芸術と教育プログラムの幅広い知識を有し国際的なネットワークを活用して教育プログラムを牽引する
<b>事業係 教育普及/人材育成担当</b>		音楽や舞台芸術の知識と運営経験を有し、ワークショップリーダー育成事業を通じた参加型事業の企画・制作を推進する
<b>創造発信担当係長</b>		創造発信事業及び人材育成事業(新進演奏家)の企画・制作・推進 音楽・舞台芸術の豊富な知識や語学力、実務経験を活かして国内外の創造発信事業の連携や企画・制作を推進する 音楽や舞台芸術の知識と運営経験を有し、コンクールの運営をはじめとした人材育成事業を運営する
<b>事業係 創造発信/人材育成担当</b>		音楽や舞台芸術の知識と運営経験を有し、国際連携に必要な経験や語学力を活用して企画・制作・運営を担う
<b>包摂・連携担当係長</b>		様々な機関との連携し社会包摂事業の企画・制作・推進 音楽・舞台芸術と教育プログラムの幅広い知識を有し国際的なネットワークを活用して教育プログラムをベースとする社会包摂事業を牽引する 豊富な知識や語学力、実務経験を活かして国内外の連携を図りながら幅広い社会包摂に伴う人材育成事業の企画・制作を推進する
<b>事業係 包摂・連携担当</b>		音楽や舞台芸術の知識と運営経験を有し、国際連携に必要な経験や語学力を活用して企画・制作・運営を担う

## (3) 音楽資料室運営を担う専門人材

音楽資料室では、主に楽譜等の音楽に関連する資料を扱い、レファレンスサービスや複写サービスを行っていることから、図書館業務や著作権に加え、音楽の専門知識を持つ職員を配置します。

<b>音楽資料室係長</b>		①音楽資料室の統括 ②事業推進 ③利用環境の改善
<b>音楽資料室担当係長</b>		音楽資料室のシステム改善と業務の企画・推進
<b>司書</b>		①音楽資料室の運営 ②資料を通じたレファレンス活動 ③資料室の教育活動

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題5 [組織及び人材] 4 人材育成の取組について

## 1. 人材育成方針

私たちは高い専門性をもった文化施設運営のプロフェッショナル集団として、業務全体の質の維持向上を図るために、継続的な職員のレベルアップのための取組を進めてまいります。

これまで職員が培ってきた知識・ノウハウを継承するとともに、館全体を総合的にレベルアップしていくため、OJTを含めた人材活用・育成制度を通じて、人材の能力水準の維持、向上に計画的に取り組んでまいります。また、従来の指定管理業務に留まらず、東京都の新たな文化政策に対応できる人材を育成してまいります。

研修以外では、東京芸術劇場などの他館との連携を通して、館内では学ぶことの出来ないノウハウを共有する機会を創出し、スキルアップを図ります。

## (1) 職員等の総合的レベルアップ

- 1 「舞台芸術の殿堂」としての使命を自覚し、優れた音楽舞台芸術を発信できる職員の育成を目指します。
- 2 新たな課題に適切に対処できる広い視野を養い、文化施設の運営に必要な専門能力のさらなる向上を図ります。
- 3 経営上のバランス感覚、的確な状況判断及び問題解決能力に優れた人材を育てます。
- 4 館内に従事する全てのスタッフが館の顔となり、利用者に快適な場所を提供する人材となるよう育成します。

## (2) 専門性の向上

- 1 舞台芸術、新進若手専門人材の育成、音楽教育プログラムの運営に必要な専門性の高い職員を育成します。
- 2 優れた舞台芸術の誘致や資金を調達し、調整・管理・運営できる文化施設の安定した運営を支える人材を育成します。
- 3 舞台機構の知識や技術を磨き、安心安全な舞台管理・運営を支える人材を育成します。
- 4 音楽・舞台芸術情報の一大集積地として、価値ある情報を的確に収集・整理・提供する専門性の高い職員を育成します。

## 2. 具体的な取組

## (1) 研修等の充実

- ① 全職員・従業員を対象に、緊急時対応、個人情報保護、基本的な接遇の心構えと身だしなみや顧客対応等の接遇全般、ノーマライゼーションに対する理解などについて研修を行い、誰もが基礎的な顧客対応を身に着けます。
- ② 全職員を対象に、財団全体で取り組む研修や、(社)全国公立文化施設協会、国際交流基金等の他団体主催の研修や講演会等、日常業務研修の範囲に留まらない様々な機会への参加を促し、新しい視点を持って業務に取り組む機会を創出します。  
また、各セクションの業務を学ぶ機会を館内研修として実施することで、施設の持つ専門性を共有する機会を設け、自らの業務を見直し改善できる人材を育成します。
- ③ 経営層の育成のために、係長及び課長を対象とした管理監督職研修等に派遣します。  
経営層においても事業の専門性を十分に理解するためのOJTを活用することで、バランス感覚や問題解決能力の向上を図ります。  
このような研修を通して新たな視点を持つことで企画・制作力や観察力を充実させ、様々な角度から館のレベルアップに繋がります。

## (2) 業務遂行上の取組

- ① 各ジャンルの事業や東京芸術劇場との連携を通して学びの機会を創出し、制作者、舞台技術者等のプロフェッショナルとしてのスキルアップを図ります。また、公立文化施設協会等が実施するアートマネージメント、舞台技術者研修等にも積極的に派遣します。
- ② より効果的な音楽文化施設の運営のため、マーケティング、広報戦略、アートマネージメントについて業務担当者を中心に外部から専門家を招いて勉強会を実施し、実践的なノウハウを学びます。  
これらの勉強会には担当外セクションからの参加も可能とし、幅広い知識を持つ人材が育つことで、より安定した運営を実現します。
- ③ 音楽資料室の蔵書を活用した講座の企画や、施設内で上演される作品紹介などを積極的に職員が担当し、資料作成などの経験を積んで自己研鑽していきます。また、音楽図書館協議会主催の司書研修や文化庁主催の著作権研修等にも積極的に派遣します。  
館内業務での研鑽に加え、東京芸術劇場との連携や他の専門的な研修により視野を広げ、専門性のスキルアップに繋がります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(1) 施設等の管理業務

1. 実施方針

館の事業運営と連携をとると同時に、都立文化施設として、「関係法令等に従い」「計画的に」「経済的かつ効率的に」「適切な措置を行う」ことにより、『安定した確実な管理』を実施します。また、物品については『適切な管理』を実施します。館の特性等を考慮し、以下のポイントは特に重要と考えます。

●これまでの経験や実績をもとに、建物の魅力を生かしつつ、あらゆる人々が利用しやすい施設管理、機能更新を目指します。具体的には、安全・安心かつ清潔を基本とし、それを支える適切な維持管理に努めます。

最高のコンサートホールの快適な環境を維持し、安心・安全を基本として、利用者や来館者が豊かさや潤いを実感できる時間を共有していただくために、万全を期します。引き続き、さらに快適なホール環境の実現と効率的な保守管理に努め、日本の音楽ホールの新たな管理運営モデルとなるべく全力で取り組みます。

【日々の施設設備のメンテナンス方針】

関係法令や東京都の維持保全業務標準仕様書、設備機器製作所基準等に基づき、設備機器の運転・監視、保守、点検や清掃等の保全業務を計画的に実施します。また、破損や故障等の修繕には迅速に対応し、施設の機能維持に努めます。各施設設備のメンテナンスの主な内容は別表のとおりです。

2. 実施体制

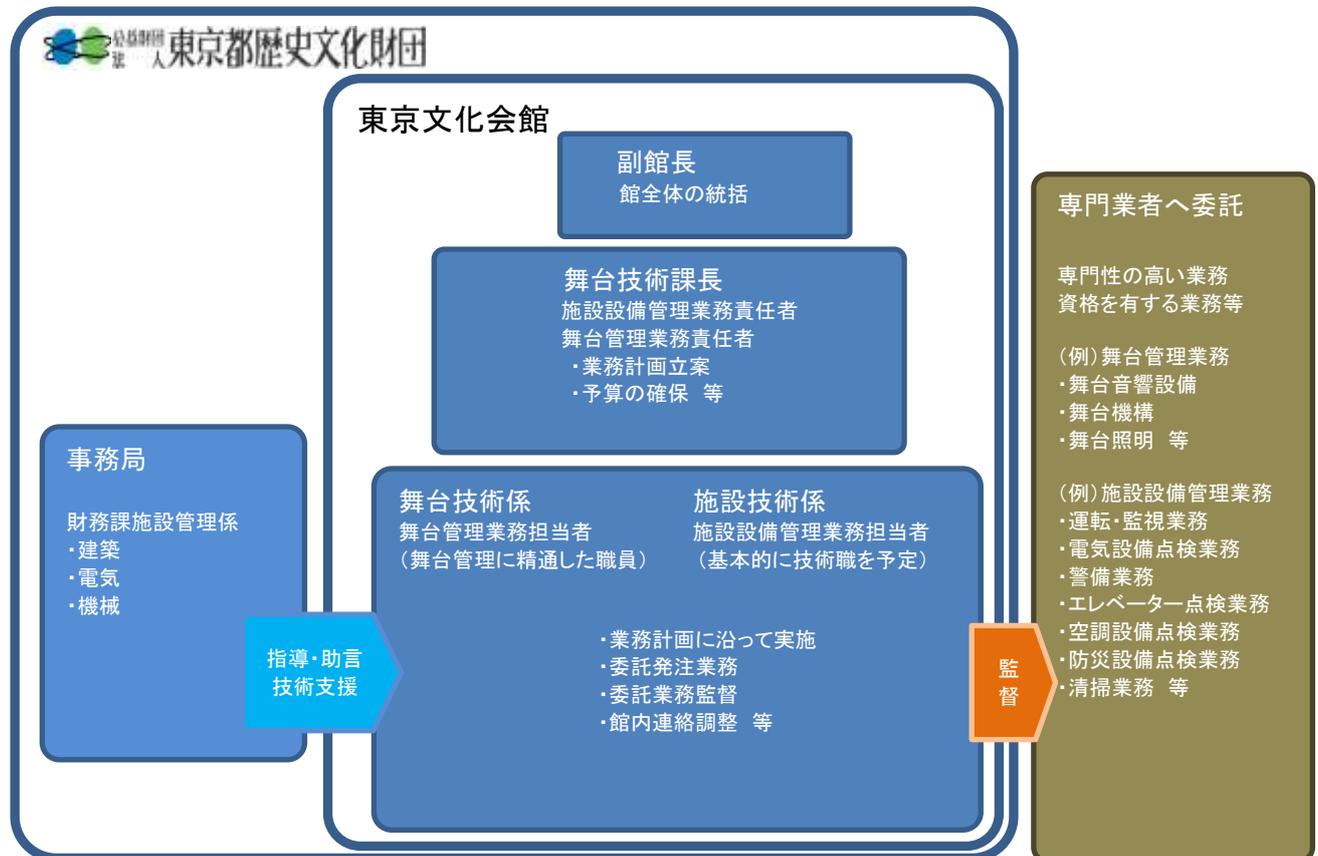
施設設備管理業務を効率的に行うために次のように実施体制を整えます。

館全体を統括する副館長のもと、舞台技術課長を施設設備管理業務の責任者とし、施設技術系の職員(基本的に技術職を予定)を実務担当者とし、業務計画の立案やその実施においては、館の特性や運営を考慮し、事務局財務課施設管理係の技術支援を受けながら、組織的に対応します。

なお、舞台に関しては、舞台管理専門の係員が対応します。

また、物品は、館全体を統括する副館長のもと、舞台技術課長を物品管理業務の責任者とし、経理系の職員を実務担当者とし、東京都への報告等は、事務局財務課契約係を通じて、組織的に対応します。

【施設管理業務実施体制】



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(1) 施設等の管理業務**

**【指定管理者による修繕工事等の考え方】**

指定管理者による修繕工事等は、施設管理の観点から、以下のような考え方で取り組みます。

**○日常的な補修・修繕工事…破損や故障等に迅速に対応して建物の現状機能を保持する工事**

- ・安全確保を最優先とし、かつ、来館者、展覧会及び公演等への影響を考慮した応急措置、補修・修繕を実施します。
- ・事業・運営等に根本的な影響がなく、その不具合等が拡大する恐れのないものについては、滞りなく適切に補修・修繕を実施します。
- ・予定価格が高額な場合は、都との協議の上実施します。
- ・工事記録は適切に保管するとともに、都に報告します。

**○建物の安全管理のための修繕工事…建物の運営における安全管理等のための設備機器のオーバーホールや消耗品の交換等の工事**

- ・定期点検等による機能や劣化状態の把握により、故障等の不具合が生じる可能性が高いと予測された場合、予防的な措置として実施します。
- ・事業・運営に欠かせない重要な設備機器や事故に繋がる恐れのあるエレベーター等は、適切な予防保全を行い安全管理に努めます。
- ・予定価格が高額の場合は都との協議の上実施します。
- ・工事記録は適切に保管するとともに、都に報告します。

**○施設の維持向上に必要不可欠な改修工事(1)…法令改正等により、社会的・政策的に施設整備が求められるもの、防災対策、バリアフリー、インフラ整備及び省エネ対策等に関する工事**

- ・都との協議の上実施します。
- ・工事記録は適切に保管するとともに、都に報告します。

**○施設の維持向上に必要不可欠な改修工事(2)…上記のいずれにも該当せずかつ著しい原状変更を伴う改修工事等(利用者サービスの向上(ショップ・レストランの改装等)、施設管理の利便性の向上(事務室等のレイアウト変更等)のための工事等)で、指定管理者の発意によるもの**

- ・指定管理者の自主財源で実施します。
- ・都との協議の上実施します。
- ・工事記録は適切に保管するとともに、都に報告します。
- ・原則として、原状回復します。

なお、修繕工事等の実施にあたっては、ホールの稼働率が高く施工日を確保することが困難な中で、月2日の保守点検日及び夏期・冬期に休館日を設けるほか、半日単位からホールの空きコマ等を有効活用し、計画的に取り組んでまいります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(1) 施設等の管理業務**

**3. 業務委託の考え方**

施設設備管理業務の適切な実施のためには、財団職員の業務だけでなく、重要な設備機器や複雑・高度な機構を持つ装置・システム等に関する業務は、その業務に精通した専門業者に適切に委託し、特に有資格者による点検や専門性の高い業種等についても委託が必要であると考えます。業務を委託した場合には、受託者に記録等の報告を求め、状況や内容の確認を適切に行います。

**【委託業務一覧】**

項目	主な業務内容
建物設備管理	日常運転・監視業務 建築物全般点検保守業務(建築基準法定期点検含む) 電気設備点検保守業務 空調設備点検保守業務 給排水衛生設備点検保守業務 消防設備点検保守業務 環境衛生管理業務 昇降設備点検保守業務
清掃	清掃業務
警備等	中央監視業務 受付管理業務 巡回等業務 駐車場管理業務
舞台設備等管理	舞台機構点検保守業務 舞台照明設備点検保守業務 舞台音響設備点検保守業務
植栽管理	植栽管理業務

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
1 施設設備		
(1)建築全般		
建物外部		
屋根	①排水・防止性能状態の点検 ②笠木及びパラペットの点検 ③手摺の取付部の変形・破損の点検 ④ルーフ・ドレン・樋の点検	1/年
外壁	①ひび割れ・破損状態の点検 ②タイル等の浮き・剥離状態の点検 ③防水性能・状態の点検	1/年
建具	①開閉・作動状態の点検 ②建具回りの漏水・シーリングの点検 ③ガラス固定状況の点検	①2/年 ②③1/年
建物内部		
壁	①劣化及び損傷状況の点検	1/年
天井	①仕上材等の固定、劣化及び損傷状況の点検	1/年
床	①劣化及び損傷状況の点検	1/年
階段	①亀裂その他の損傷、変形又は腐食の有無を点検	1/年
自動扉	①傷、さび、腐食及び汚れの有無を点検 ②作動時の異常音の有無の点検 ③動力部・作動部の点検 ④制御装置・センサー部・電気回路の点検	※1/年

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
(2)電気設備		
特高受変電設備		
断路器	①がいし汚損、損傷の有無 ②端子及び刃の過熱、変色の有無 ③接地線の状態点検	①②1/週 ③1/月 ※1/年
遮断器	①開閉表示確認 ②異音、異臭、振動の有無 ③汚損、損傷、亀裂の有無 ④操作部の損傷、ボルト類の緩み ⑤接地線の状態	①②1/日 ③④1/週 ⑤1/月 ※1/年
変圧器 (モールド)	①温度の記録 ②異音、異臭、振動の有無 ③汚損、損傷、腐食の有無 ④端子部の損傷、変色の有無 ⑤接地線の状態	①②1/日 ③④⑤1/週 ※1/年
避雷器	①汚損、損傷の有無 ②接地線の状態点検	※1/年
計器用変成器	①汚損、損傷の有無 ②端子の状態	1/週 ※1/年
配電設備		
断路器	①がいし汚損、損傷の有無 ②端子及び刃の過熱、変色の有無 ③接地線の状態点検	①②1/週 ③1/月 ※1/年
遮断器	①開閉表示確認 ②異音、異臭、振動の有無 ③汚損、損傷、亀裂の有無 ④操作部の損傷、ボルト類の緩み ⑤接地線の状態	①②1/日 ③④1/週 ⑤1/月 ※1/年
開閉器	①開閉表示 ②機構部の変形、損傷の有無 ③接地線の状態	①②1/週 ③1/月 ※1/年
変圧器 (モールド)	①温度の記録 ②異音、異臭、振動の有無 ③汚損、損傷、腐食の有無 ④端子部の損傷、変色の有無 ⑤接地線の状態	①②1/日 ③④⑤1/週 ※1/年
電力コンデンサ	①異音、異臭、振動の有無 ②汚損、損傷、腐食の有無 ③端子部の損傷、変色の有無 ④接地線の状態	①～③1/週 ④1/月 ※1/年
直列リアクトル	①異音、異臭、振動の有無 ②汚損、損傷、腐食の有無 ③端子部の損傷、変色の有無 ④接地線の状態	①～③1/週 ④1/月 ※1/年
計器用変成器	①汚損、損傷の有無 ②端子の状態	1/週 ※1/年
配電線 バスダクト	①外観の異常の有無	1/月 ※1/年
電力ヒューズ	①汚損、損傷、腐食の有無 ②端子、過熱、変色の有無	1/週 ※1/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

## 別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
特高受電盤 高・低圧配電盤	①各計器指値、温度の確認・記録 ②信号灯・表示灯の点灯確認 ③施錠の確認 ④盤の汚損、損傷の有無 ⑤異音、異臭、振動の有無 ⑥操作開閉器等の状態	①～③1/日 ④～⑥1/週 ※1/年
保護継電器	①動作表示の確認 ②カバー汚損の有無	①1/日 ②1/週 ※1/年
電気室	①扉開閉、施錠確認 ②室内の汚損、漏水、浸水等の有無	①1/日 ②1/週 ※1/年
試験・測定	①シーケンス試験(インターロック試験、保護連動試験) ②絶縁抵抗測定 ③接地抵抗測定	※1/年
非常発電設備		
自家発電装置	①発電機の汚損、損傷、取付状態 ②エンジン外観の汚損、損傷の有無 ③燃料油、潤滑油の漏れ、油量 ④試運転の実施、運転状態、表示計器類の確認	①②1/週 ③1/日 ④1/月 ※2/年
発電機盤	①スイッチ、表示、計器の確認 ②操作開閉器等の状態確認 ③端子部の状態点検	①1/日 ②③1/週 ※2/年
付属装置	①燃料タンクの残油量の確認 ②燃料タンク、防油堤、油面計の漏れ等点検 ③燃料系ポンプ・配管・バルブ・ダクトの損傷、取付状態点検 ④始動装置の整流器スイッチ、表示、計器の確認 ⑤始動用蓄電池電圧確認、漏液の有無	①～③⑤1/週 ④1/日 ※2/年
点検報告等	消防法及び関係法令に基づく点検基準により、機器点検、総合点検を実施し、報告等必要な措置の実施	※2/年
直流電源設備		
直流電源装置	①整流器盤内外部の汚損、損傷の有無 ②異音、異臭、腐食の有無 ③スイッチ、表示、メーターの確認 ④端子部の状態、緩みの点検	①②④1/週 ③1/日 ※2/年
蓄電池	①液量確認、電槽の損傷、漏液の有無 ②配線状態、端子部の緩み	1/週 ※2/年
点検報告等	消防法及び関係法令に基づく点検基準により、機器点検、総合点検を実施し、報告等必要な措置の実施	※2/年

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
負荷設備		
分電盤、動力盤、制御盤	①外観の汚損・損傷の有無 ②盤内機器の異常の有無 ③端子部の緩み、過熱の点検 ④計器指示値の確認 ⑤表示灯の確認	①②1/日 ③～⑤1/月 ※1/年
トランス盤	①計器指示値の確認 ②表示灯の確認 ③外観の汚損・損傷の有無 ④盤内機器の異常の有無 ⑤異音・異臭・発熱の有無	1/月 ※1/年
照明コンセント(外灯舎)	①器具の汚損、変色、錆、変形、脱落の有無 ②異音、異臭、発熱の有無 ③安定器、管球・グローランプの交換	①②1/月 ③都度 ※1/年
照明調光設備	①調光装置、スイッチ類の外観点検 ②調光装置、異音、発熱の有無 ③各種スイッチの正常位置の確認 ④動作、機能の確認	1/月 ※1/年
避雷設備	①避雷針の状態点検 ②接地線の点検	1/月 ※1/年
計量メーター類	①テナント及び自動販売機等の使用量の記録	1/月 ※1/年
弱電設備		
拡声設備	①放送機器の外観点検 ②スイッチ、表示、電源確認 ③放送動作、機能の確認	1/月 ※2/年
電気時計設備	①親機、子機の外観 ②スイッチ、表示、電源電圧確認 ③動作確認、時刻補正	1/月 ※3/年
構内電話交換設備	①電子交換機の外観点検、表示確認 ②電話機の設置状態	1/月 ※2/年
FREE Wi-Fi	公衆無線LANの点検	1/月
監視カメラ(ITV)設備	①ヘッドエンド、モニター、カメラの外観 ②モニター映像状態確認	1/月 ※2/年
テレビ共聴設備	①アンテナ・支柱等 ②ブースター分配器等 ③映像状態確認	1/月
電気錠等設備	①制御盤の外観点検 ②作動状態点検	1/月 ※2/年
案内表示設備	①案内表示板、制御装置外観、設置状態点検 ②案内表示板パネル表示確認	1/月 ※1/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

## 別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
(3)空気調和設備等		
空気調和設備		
空冷モジュールチラーユニット	①各計器の指示値の確認記録 ②冷水・温水の確認記録 ③各制御機器の点検・調整 ④各保護装置の点検・調整 ⑤フィン汚れ・破損の確認	①②1/時間 ③④1/日 ⑤1/月 ※2/年
吸収式冷温水発生機	①各計器の指示値の記録 ②冷水・温水・冷却水の記録 ③各制御機器の点検・調整 ④各保護装置の点検・調整 ⑤燃焼装置及び燃焼状態の確認 ⑥燃料系統の洩れの点検	①②1/2時間 ③～⑥1/日 ※1/年
ボイラー及び付属機器	①使用圧力、温度の確認記録 ②燃料系統(ガス)漏れの点検 ③水質管理(缶水分析) ④給水装置の点検(インジェクター装置含む) ⑤水面計の確認 ⑥薬品注入装置の点検 ⑦燃焼室内・燃焼装置の点検及び燃焼状態の確認 ⑧煤煙濃度計の指示値の確認 ⑨付属機器(連続プロー計・軟化装置)の損傷・腐食の点検 ⑩自動制御機器の動作確認 ⑪ボイラー外部の汚れの清掃	①1/2時間 ②～⑪1/日 ※1/年
煙導及び煙突	①煤煙濃度計の光源部の清掃 ②損傷の有無の点検 ③劣化の有無点検 ④すす、水たまりの有無点検	①1/月 ②2/年 ③～④1/年
冷却塔	①給水・排水装置の機能点検及び調整 ②水槽内の汚れ・腐食の点検 ③送風機の機能点検 ④付属機器の機能点検 ⑤冷却水ポンプの機能点検 ⑥充填剤の破損・老化の点検	①②1/日 ③④1/週 ⑤⑥2/年 ※1/年
熱交換器	①水温・水頭圧・蒸気圧の点検記録 ②水・蒸気の漏れの点検 ③基礎、配管、弁の状態点検	①1/日 ②③1/週
空気調和機加湿器	①自動制御装置の機能点検 ②機器内外部の点検 ③フィルターの汚れと取付け状態の点検 ④各種配管の洩れ・腐食・損傷の点検 ⑤正常運転・規定電流の確認記録 ⑥異音・振動の有無の点検 ⑦ベルトの点検調整 ⑧軸受温度・注油状態の点検 ⑨プレフィルターを加湿期間終了後洗浄 ⑩加湿装置点検調整 ⑪ダクト内外部及びダンパー機能の点検 ⑫空気調和機、全熱交換器、外気処理空気調和機及びファンコイルの清掃	⑤⑥1/日 ①～④⑦～⑪1/月 ⑫1/年
パッケージ型エアコン	①送風機外観点検 ②圧縮機の異音・振動の有無 ③排水口のつまり・冷媒漏れの点検 ④フィルターの汚れ点検清掃 ⑤ベルトの点検調整	1/月 ※1/年、都度

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
フィルター	①汚れ、破損の点検及び差圧メーターの確認記録 ②巻き取りシャフトの点検及び軸受注油 ③制御盤の動作点検	1/月 ※4/年
ファンコイル ユニット	①送風機の異音、振動の有無 ②コイルの汚れの有無 ③ドレンパンの損傷、汚れ、詰まりの有無 ④エアフィルターの汚れの有無 ⑤自動制御等付属装置の作動確認	1/月 ※1/年、2/年、都度
送風機及び排風機	①電流値の確認 ②羽根車・ケーシングの汚れの有無 ③振動・異音・ボルトの緩み等の有無 ④錆、腐食の有無 ⑤Vベルトの伸張度の適否 ⑥軸受温度の適否	①1/日 ②～⑥1/月 ※1/年、都度
ポンプ・配管	①膨張タンク内外の腐食の有無 ②ポンプ電流値の確認 ③圧力計の指示値の確認 ④回転部、摺動部・可動部の異常の有無(異音、異臭、過熱) ⑤油量の適否及び注油 ⑥グラント部よりの滴下水量の適否 ⑦配管系の損傷・錆・漏水の有無 ⑧バルブの機能確認 ⑨蓄熱槽の汚れの有無	①④～⑨1/月 ②③1/日 ※1～2/年、都度
風道及び 付属装置	①風道の漏気の有無 ②ダンパーの機能確認 ③吹出口還気口の汚れの有無	1/月
還水槽	①制御装置の調整 ②槽内清掃 ③返送ポンプの整備	※①②1/年 ※③都度
自動制御装置	①計装機器及び補機の作動・制御 ②計装機器の補正 ③取付状態 ④作動確認点検 ⑤機器の性能点検・整備 ※詳細はメーカー標準仕様	※1/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
(4)給排水衛生設備		
給排水衛生設備		
受水タンク(上水) 高置タンク	①槽内の堆積物及び汚れの有無 ②警報装置及び制御装置の作動確認 ③錆及び損傷の有無 ④ボールタップ及びFMバルブの作動状態 ⑤マンホール施錠の有無 ⑥防虫網の取付状態及び損傷の良否	1/月 ※1~2/年
汚水槽 雑排水槽 湧水槽	①害虫発生状況の有無 ②悪臭の有無 ③警報装置及び制御装置の作動確認 ④浮遊物及び沈殿物の有無 ⑤防虫網の取付状態の良否 ⑥マンホールの密閉状態の良否	1/月 ※3/年
加圧ポンプユニット	①圧力・電流値・作動確認記録 ②外観・機能点検及び清掃 ③異音・振動の点検 ④注油及びカップリングの点検	1/月 ※1/年、都度
陸上ポンプ	①圧力、電流値による作動確認 ②異音、振動の有無 ③フード弁及びチェック弁の機能確認 ④グラント部よりの滴下水量の適否 ⑤油量の適否 ⑥ドレン排水状態の良否	①1/日 ②~⑥1/月 ※1/年、都度
排水ポンプ	①圧力・電流値・作動確認記録 ②ケーブル類の劣化の有無 ③回転状態確認	1/月 ※3/年
電気温水器	①外観点検及び清掃 ②温度及び点検調整 ③水槽内の点検	①②1/月 ③2/年 ※1/年
ガス湯沸器	①外観点検及び清掃 ②温度及び点検調整 ③水槽内の点検	1/月 ※1/年
洗面器 大小便器	①亀裂、破損の有無 ②水栓及び接合部等よりの水漏れの有無 ③排水状態の良否	1/月
フラッシュバルブ	①詰まりの有無 ②水量調整 ③水漏れの有無	1/月
各種配管	①排水状態の良否 ②水漏れの有無 ③つまり・漏水・溢れの修理	1/月 ③都度
排水ます	①昆虫発生状況の有無 ②悪臭の有無 ③沈殿物及び堆積物の有無	2/年
ウォーター クーラー	①外観上の錆及び損傷の有無 ②水漏れの有無 ③給水状態及び色、濁り、臭気の確認	①②1/月 ③1/日
ガス設備	①ガス使用機器、配管よりの漏れの有無 ②ガス感知器の作動確認	1/月

## 東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
(5)消防用設備		
消防用設備		
消火器	①設置状態確認	1/月 ※2/年
屋内消火栓 設備	①制御盤、ポンプ状態確認 ②総合盤設置状態確認	1/月 ※2/年
スプリンクラー 設備	①制御盤、ポンプ状態確認 ②アラーム弁類状態確認	1/月 ※2/年
ドレンチャー ポンプ設備	①制御盤表示確認 ②盤設置状態	1/月 ※2/年
自動火災報知 設備	①火災報知器スイッチ、表示状態確認 ②盤類、感知器設置状態	1/月 ※2/年
ガス漏れ警報 装置	①警報盤スイッチ、表示状態確認 ②検知器類状態	1/月 ※2/年
避難器具	①装置設置状態確認	1/月 ※2/年
誘導灯及び誘導標識	①器具設置状態確認 ②ランプ点灯確認、交換	①1/月 ②都度 ※2/年
排煙設備	①装置設置状態確認	1/月 ※2/年
連結送水管	①機器設置状態確認	1/月 ※2/年
非常用照明	①外観点検 ②機能点検	※2/年
防火戸 防火シャッター等	①外観点検 ②機能点検	1/月 ※2/年
機械排煙設備	①外観点検 ②機能点検 ③総合点検	①②1/月 ①②※2/年 ③※1/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
(6)その他		
中央監視・制御装置		
監視制御装置	①外観の汚損、損傷の有無点検 ②監視盤、中継盤機器設置状況点検 ③表示部の状態、機能確認 ④各種指示値の確認記録 ⑤警報装置の作動確認 ⑥プリンタ等出力装置機能確認 ⑦電源装置の表示、状態確認	1/日
無停電電源装置 (UPS)	①信号、表示灯の点灯確認 ②作動状態の確認 ③異音、異臭の有無 ④外観の汚損、損傷の有無	①、②1/日 ③、④1/月 ※1/年
受変電設備 監視制御装置	総合点検	※2/年
空調設備 自動制御装置	総合点検	※1/年、4/年、1/月
環境衛生管理		
空気環境	①温度及び湿度の適否確認 ②浮遊粉塵測定 ③一酸化炭素測定 ④炭酸ガス測定 ⑤温度測定 ⑥相対湿度測定 ⑦気流測定	①1/日 ②～⑦6/年
給水設備	残留塩素の測定	1/日
排水設備	①槽内浮遊物及び沈殿物の有無 ②槽内壁面等の損傷、亀裂の有無 ③マンホールの密閉の良否 ④害虫発生の有無 ⑤悪臭の有無 ⑥防虫網の損傷の有無 ⑦警報装置作動の良否 ⑧自動制御装置の作動の良否 ⑨ポンプ及びバルブ類の作動の良否 ⑩排水管及び通気管の損傷、腐食、詰まり、漏れの有無 ⑪阻集器の沈殿物量及び詰まりの良否 ⑫トラップの封水深の良否 ⑬トラップの沈殿物及びスケールの有無	1/月
水質検査	①給水 ②給湯	①※2/年 ②※1/年
ばい煙測定	①冷温水発生器 ②加湿ボイラー、煙道	①※2/年 ②※1/年
害虫駆除	ビル管法の規定に基づくねずみ・衛生害虫の防除	※3/年

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
その他 建築設備等		
エレベーター	走行状態の確認	適宜
	①標準仕様書及び製作メーカー基準に準拠した定期点検整備 ②建築基準法による定期検査	①1/月 ②1/年
自動扉設備	①劣化、状態点検、清掃 ②作動、安全装置機能確認、動作調整	※4/年
電動式シャッター、排煙口	①劣化、状態点検、清掃 ②作動、安全装置機能確認、動作調整	※3/年
高所作業台装置	状態、作動確認	※1/年
その他 法定点検		
建築基準法第12条 による点検	建築物の敷地及び構造	1/3年
	建築設備等 昇降機と昇降機以外の建築設備	1/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

## 別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
<b>2 清掃業務</b>		
共用部分		
エントランスロビー、 ホワイエ等	①床面の清掃 ②ドア及び扉の清掃 ③窓枠、壁、備品等の清掃 ④マット等の清潔確保	各所日常・定期及び 都度管理
便所、給湯室、シャ ワールーム等水周り	①床面の清掃及び乾燥 ②鏡や棚の清潔確保 ③衛生陶器の清掃 ④衛生消耗品の補充 ⑤ドア、間仕切りの清掃	各所日常・定期及び 都度管理 ④2回/日 ⑤1回/日
通路、廊下など	床面及び壁・天井の清掃	各所日常・定期及び 都度管理
階段		
エレベーターホール	床、エレベーター内部の清掃 エレベーター階表示インジケーターの清掃	
エレベーター内		
利用施設		
ホール	床面、壁、椅子、備品等の清掃	各所日常・定期及び 都度管理
音楽資料室	床面、壁、書庫、雑誌架、備品等の清掃	各所日常・定期及び 都度管理
<b>3 警備業務</b>		
本館開館中の業務		
	常駐箇所(2ヶ所)での来館者のチェック及び簡易なインフォメーション	随時
	常駐箇所のほか、ホール、楽屋、会議室、食堂等の盗難火災予防のための巡回	2回/時
	ホームレス及び不審者の退去措置	3回/日
	搬入搬出路、駐車場の管理	随時
	消防用器材器具の確認(消防用設備設置数及び配置図、誘導灯設備)	2回/時
	ホール入場者(行列)の整理、ダブ屋等の取締り	公演数/日
	皇族、国賓等の来館に伴う特別警備	随時
	身体障害者の来館に伴う案内、移動の介助等	随時
	大、小ホール開閉場時及び開場中の警戒立会巡視	2回/時
	主催者及び出演者への呼出、連絡	随時
リハーサル棟開館中の業務		
	来館者のチェック	2回/時
	楽器搬入口における立会	随時
	各室の鍵の管理、随時巡回による利用状況の把握	2回/時
	防火管理者の指示に基づく非常放送設備の操作	2回以上/月
終演後開館までの業務		
	閉館後の大小ホール、舞台及び楽屋廻り並びに会議室等の巡回 チェック確認、拾得物の整理	2回/日
	既定計画に基づく大ホール舞台袖からの楽器・機材等の搬入出の立 会等	随時
	(楽器・機材等運搬車、出演者送迎用バス等)の退出確認	随時
	深夜、早朝における館内外巡回取締	2回/日
	緊急電話の受理、連絡	随時
	忘れ物等の拾得物の管理	1~2回/日
その他		
	22時00分以降の電話の受理、連絡	随時
	火災及び各種事故の早期発見と応急措置等非常時の対応(火災報知 機の監守を含む)	2回/年

## 東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
4 舞台設備(舞台機構・舞台音響・舞台照明)の保守管理業務		
舞台機構		
吊物機構	①巡視外観点検 ②機能点検 ③整備点検 ④総合運転調整	※2回/年
床機構 (大ホールオーケストラ迫、制御盤及び操作盤並びに小ホール舞台迫、ピアノ迫、制御盤及び操作盤)	①巡視外観点検 ②機能点検 ③整備点検 ④総合運転調整	※10回/年
床機構(上記を除く)	①巡視外観点検 ②機能点検 ③整備点検 ④総合運転調整	※2回/年
操作制御盤	①巡視外観機能点検 ②インバーターユニット点検	※1回/年
位置管理システム	システムの点検及び調整	※1回/年
舞台用リフト	①標準仕様書及びメーカー基準に準拠した定期点検整備 ②建築基準法による定期検査 ③労働安全衛生法による性能検査(該当する場合)	※①10回/年 ②③1回/年
舞台音響設備		
音響調整卓	①外観機能点検 ②精密点検	※①1回/年 ※②3回/年
パワーアンプ、スピーカーコントローラ及びエフェクタ	①外観機能点検 ②精密点検	※①1回/年 ※②3回/年
録音卓	①外観機能点検 ②精密点検	※①1回/年 ※②3回/年
マイク、スピーカー及びスピーカー回線	①外観機能点検 ②精密点検	※①1回/年 ※②3回/年
上記以外の音響設備	①外観機能点検 ②精密点検	※①1回/年 ※②3回/年
舞台照明設備		
主幹盤、分岐盤、トランス盤及び作業灯タイマー盤	①外観点検及び清掃 ②運転点検、状態点検 ③正常動作確認 ④回路絶縁測定	※2回/年
電源接続盤及び直流電源盤	①外観点検及び清掃 ②電圧確認、電源出力確認 ③運転点検、状態点検 ④正常動作確認	※2回/年
直調切替マグネット盤、天板切替盤	①外観点検及び清掃 ②状態点検、動作点検、運転点検 ③正常動作確認	※2回/年
調光器盤及び調光制御盤	①外観点検及び清掃 ②状態点検、動作点検、運転点検 ③電圧測定、調整等	※4回/年
照明操作卓、シューティング操作卓及びCPU盤	①外観点検及び清掃 ②動作点検、電圧点検、状態点検 ③シューティング卓点検	※①②9回/年 ※③6回/年

東京文化会館 メンテナンス表

別表

項目	業務内容	規模・回数等 (※:定期点検)
制御信号パッチ盤	①外観点検及び清掃 ②状態点検、動作点検、運転点検	※9回/年
ネットワークパッチ盤・ 中継盤、DMXノード	①外観点検及び清掃 ②状態、動作点検	※2回/年
負荷モニター盤	①外観点検及び清掃 ②状態、動作点検	※2回/年
ワイヤレス装置	①外観点検及び清掃 ②状態、動作点検	※9回/年
舞台袖操作盤、コネ クタボックス及び作業 灯パネル	①外観点検及び清掃 ②状態、動作点検 ③バッテリー確認	※2回/年
フライダクト、舞台面 コンセントボックス及 びフロアーコンセント	①取付・配線状態点検、締付点検 ②回路状態確認 ③絶縁試験	※9回/年
ジョイントボックス	①取付・配線状態点検、締付点検 ②回路状態確認 ③ボックス内清掃	※2回/年
リモコンスポットライト	①状態確認、破損の有無の確認 ②動作点検	※6回/年
クセノンピンスポットラ イト	①状態確認、破損の有無の確認 ②動作点検	※1回/年
カラースクローラ	①状態点検、動作点検及び調整 ②投光試験	※4回/年
ボーダーケーブル及 びケーブルリール	①状態点検、破損の有無の確認	※4回/年
客席調光卓	①外観点検及び清掃 ②動作点検、電圧点検、状態点検	※4回/年
バリライト	①状態確認、破損の有無の確認 ②動作点検	※1回/年
全ての舞台照明機器	総合操作試験	※9回/年
5 植栽管理業務		
裸地管理		
草刈	小ホール南側庭園	3/年
植込地管理		
除草	①小ホール南側庭園 ②リハーサル棟屋上部 ③3階屋上部	①③3/年 ②リハーサル棟屋上 部のみ2/年
刈込	刈込	1/年
施肥	施肥	2/年
植木管理		
剪定	剪定	1/年

**提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(2)危機管理体制の整備**

**1. 危機管理対策の基本的考え方**

施設の管理運営に伴う危機とは、火災、地震、風水害、感染症、不審者、テロ、建物・設備等に起因する事故など、様々なものが想定されます。これまで財団が培ってきた安全管理ノウハウに基づき、危機管理対策の向上に努めてきましたが、さらに新型コロナウイルス等の感染症が発生した際の対応を含め、危機に際し柔軟な対応ができるよう、危機管理マニュアルの見直し、社会状況に合わせた対策の策定や訓練を行うなど、これまで以上に危機管理対策の推進を図ります。その際、都立文化施設として、地域や館の特性等を踏まえ、より実践的・効果的な対策を講ずべく尽力いたします。

当館は、東京都が目指す「安全・安心な都市」の実現に向け災害対応力を備えるとともに、後世に継承させていくべき文化資源を守ることを目的に、以下の危機管理対策を実施します。

**2. 危機管理における対応・対策**

**(1) お客様の安全確保等の取組**

来館されたお客様に対する安全確保は、施設管理運営の根幹となります。危機管理マニュアルを作成し、日頃から対策を進めるとともに、非常時の連絡体制を明確にし、万全の対応をとっていきます。主な危機に対する対応は以下のとおりです。

なお、テロ等の緊急処理事態に備えて、日頃から、東京都等の関係機関と危機情報を共有するとともに、各館と所轄警察署との緊密な連絡体制を維持していきます。また、オリンピック・パラリンピック開催時に実施したテロ対策の取り組みを活かし、テロ等に対し、引き続き、対策を進めます。

さらに、新型コロナウイルスをはじめとした、感染症の拡大防止についても、お客様の安全確保のため、また、都民開放施設の責務として、東京都及び医療機関等と連携し適切に実施いたします。

	対 策	発災時の対応
地震 火災 風水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>火気器具周辺には燃えやすいものを置きません。</li> <li>展示品等の落下防止、転倒防止などの対策をします。</li> <li>消火器等防災設備位置と避難誘導導線について日頃より把握するとともに定期点検を実施します。</li> <li>館周辺を見回り、強風にとばされやすいものや被害拡大につながる危険物を事前撤去します。</li> <li>看板等の取り付けを確認します。</li> <li>日頃より、周辺機関と連携を密に取り、あらゆる事態を想定した訓練を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の安全確保を最優先とし、各自が自衛消防計画に基づき初期消火、消防・警察への通報、避難誘導を行います。</li> <li>地震の場合には、地震の大きさや震源地情報、館周辺の被害状況等を情報収集し、お客様に適宜適切に情報提供を行います。</li> <li>SNSを利用して、施設周辺の状況や交通情報等お客様に必要な情報を提供いたします。</li> <li>負傷者が発生した場合は、負傷者の応急手当や、同行者の捜索を行うとともに、直ちに医療機関に連絡を行い、搬送の協力をを行います。</li> </ul>
不審物 不審者 テロ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>挙動不審の者がいたら声をかけるとともに、関係部署への連絡連携を密にするよう心がけます。</li> <li>職員は必ず職員証を携帯します。</li> <li>放置機材や荷物等による死角となる場所をつくりません。</li> <li>所管警察署等が行う訓練への参加等、日頃から緊密な連絡体制を構築します。</li> <li>テロ予告やテロ発生時の対応について、事前に危機管理マニュアルに定めることで、万が一、予告があった場合及びテロが発生した際に、適切に対応するよう備えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の安全確保を最優先とし、警察への通報、関係部署への連絡を速やかに行い、迅速に必要な対応を行います。</li> <li>テロ発生時には、事前に定めたマニュアルに基づき、テロの形態等に応じて避難行動を行うなど、適切に対応を行います。</li> <li>爆破予告等があった場合、危機管理マニュアルに基づき、直ちに警察へ通報するとともに、お客様を館外の安全な場所へ避難誘導いたします。避難誘導後、トイレ、ゴミ箱等館内を再点検し、不審物の有無を確認します。</li> </ul>
感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所や最寄り医療機関等との連絡体制を構築します。</li> <li>平常時からの対策として消毒液等を設置し注意喚起します。</li> <li>新型コロナウイルス等の感染症が都内で拡大している時期には、施設管理者として対応方針を定め、徹底して拡大防止に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染の疑いのある来館者が発覚した際は直ちに保健所へ情報提供し、指示に従い行動します。</li> <li>新型コロナウイルス等に職員が感染した際は直ちに保健所へ連絡をし、指示に従い行動します。併せて、HP等で必要な情報公開を行います。</li> </ul>
事故 急病人	<ul style="list-style-type: none"> <li>所轄警察・消防署や最寄り医療機関等との連絡体制を構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救護室提供や応急手当の実施、救急車の出動要請(必要に応じて同行)等、迅速に対応します。</li> </ul>

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について (2) 危機管理体制の整備

### (2) 音楽資料室所蔵資料等に対する取組

お客様に対する安全確保とともに、音楽資料室で所蔵している貴重な資料、図書、レコード等を災害・盗難等から守り、確実に後世に継承させていくことも財団としての重要な役割です。

書庫を確実に固定するなど、地震時における図書の落下防止の処置をとっています。

また、盗難等の対策としては、警備監視員による立哨警備を中心に、地震・火災のみならず爆発物・盗難・不審人物のチェック等万が一に備えております。

### (3) 消防設備及び感知器の設置、訓練等

#### ① 消防設備

ハロゲン・ガス、スプリンクラー、携帯消火器、消火栓、防火シャッター、非常用自家発電機

#### ② 感知器

自動火災報知器、煙感知器、熱感知器、排煙機

#### ③ 訓練

消防計画に基づき、近隣消防署の協力を得て、消火器の実放射訓練、屋外消火栓の放水訓練、通報訓練、避難誘導訓練などを行う自衛消防訓練を行います。

#### ④ その他

館内にAEDを適切な位置に設置し、即時対応が取れる体制を整えます。また、防犯カメラについては、管理責任者を配置して要綱に基づき適正な運用を図っていきます。また、災害時に利用できるWi-Fiを適切に保守・運用します。

さらに、避難誘導の際に、海外からの来館者に適切な情報が伝わるよう、多言語による対応にも努めます。

## 3. 危機発生時の連絡体制の確保

危機発生時は、財団事務局及当館で災害等の情報収集を迅速に行います。当館の状況は、随時、財団事務局と東京都に対して報告します。当館では、連絡体制を確保するため、現場対応を担う職員と連絡調整を行う職員を区分するなど、館内の情報を共有した上で、緊密な連絡体制を確保します。そのため、緊急時に至急の連絡伝達を行う担当者「連絡責任者」をローテーション表等に明示します。隊長不在時には副隊長がその代理を務める、班長不在時には次席の班員が班長を務めるなど、勤務状況等に応じた実践的な体制を構築します。さらに、効率的な緊急対応を行うために当館で実施している方法等については、他館でも実施できるよう情報共有を図っていきます。閉館時においては、館内に常駐する監視警備員等から副館長等に被害状況等を報告することとし、状況に応じて財団事務局に連絡し、緊急連絡網により参集した職員が対応します。また、緊急用携帯電話を配布し、休日夜間でも速やかな対応が可能となる体制を構築します。

災害・事故等発生時には、正確かつ迅速な情報発信のためマスコミへの的確に情報を提供します。そのため、館内の危機発生時における体制を徹底し、指示・命令系統の徹底を図ることで、情報発信の一元化を図ります。

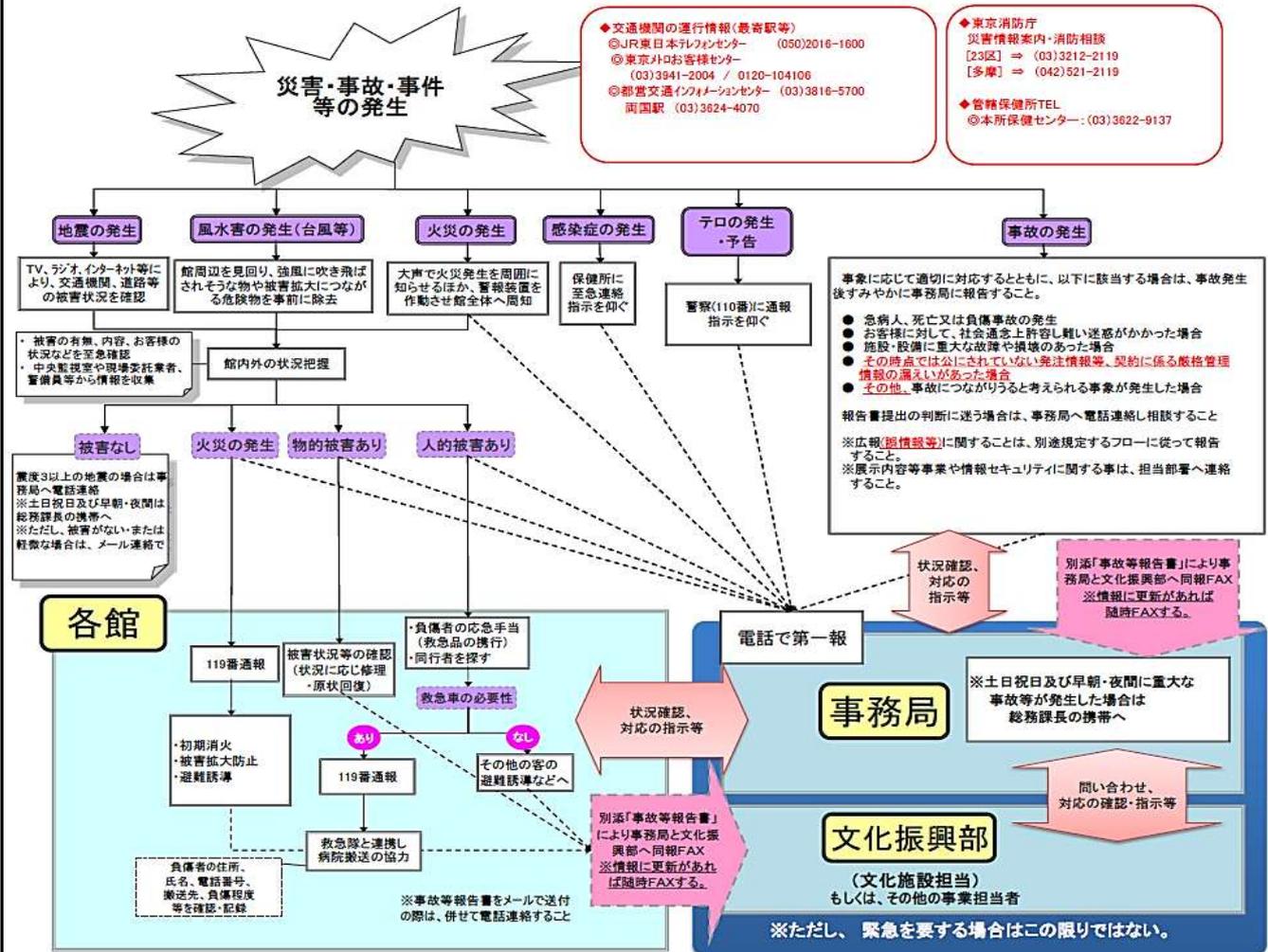
なお、東京都政策連携団体として、不適正事案発生時には、行政改革推進部にも報告をいたします。

事業者名・団体名

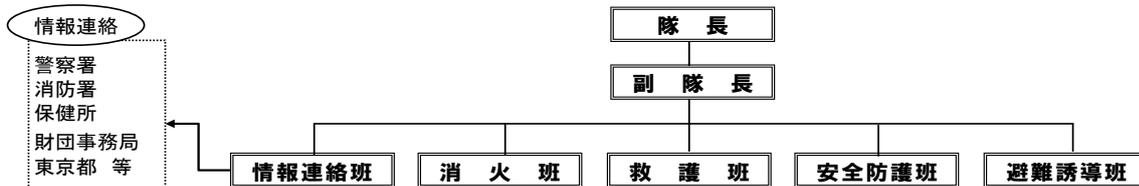
公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(2) 危機管理体制の整備

(1) 災害・事故等発生時におけるフロー(イメージ)



(2) 館内の災害・事故等発生時における体制例



4. 災害発生時における都立文化施設としての役割の遂行

大規模災害発生時等には、都との協定に基づき、都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たし、災害備蓄品の提供や、負傷者の救護医療スペースの確保などを東京都と協議の上、実施していきます。

また、都が指定する広域ボランティア活動拠点として指定された場合については、災害発生時、広域拠点として使用スペースの提供を行うなど、関係機関等の活動に協力します。

さらに、東京都国民保護計画における大規模集客施設として、テロ等の発生に備え、危機管理の強化を日頃から行うとともに、テロ等の危機に関する事業者連絡会に参画し、関係団体や地域団体と危機情報の共有を図ります。

今後も、より安全・安心して都立文化施設を利用していただけるよう、警察・消防機関の他、関係団体や地域団体等との連携を進め、危機管理体制の万全を図ってまいります。

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題6 【館の管理その他に関する業務】 2 地域等との連携の取組について

## 1. 基本的考え方

上野地域は、我が国を代表する文化施設や芸術系大学等が集積し、国内屈指の文化芸術拠点を形成しており、来街者は年間1,500万人を超えるとされています。地元台東区や地域の商店会や観光連盟や東京文化資源会議等も、地域の活性化を図るべく、文化・観光のまちづくりに積極的に取り組んでいます。

当館は、地域の文化施設、東京藝術大学、文化庁、東京都、台東区、地域団体、鉄道事業者等により構成する、上野文化の杜新構想実行委員会の一員として、地域の魅力を高める事業に積極的に取り組んでいます。

それぞれ力のある各施設が連携を深めることで、上野公園地域全体の魅力を高め、それがまた各館に還元されるような正のスパイラルを描くべく、上野文化の杜新構想実行委員会を通じて、地域全体としての連携イベント、情報発信の取組等に積極的に参画してまいります。また、教育普及活動や気軽な鑑賞機会の提供、建築の魅力のアピール等、東京文化会館の事業の効果を高めるため、それぞれの分野での各施設・地域団体との連携の充実も進めてまいります。

## 2. 連携の取組

## (1) 地域全体での取組

- 情報発信機能の強化……上野文化の杜ポータルサイトの構築、多言語化、バリアフリー化、案内サイン
- 連携事業の実施……東京音楽コンクールの入賞者など、若手音楽家がホール、博物館、美術館などの文化施設をめぐって演奏する、ミニコンサート「文化の杜の音めぐり」を実施します。

## (2) 文化会館と文化施設、地域団体との連携

## &lt; 教育普及活動 &gt;

- Museum Start あいうえの

上野地区の多彩な芸術文化が融合した取組みである「Museum Start あいうえの」。各文化施設ではその特徴を生かした教育プログラムを実施していますが、複数の施設が連携することで、幅広いプログラムが実現します。美術を専門とする東京都美術館が中心となって美術に関心を持つ児童を、音楽や絵本に結びつけた、「あいうえの冒険隊」は大成功を収め、今後も一層の連携を図ります。

## &lt; 多ジャンルの文化施設が連携する気軽な音楽鑑賞機会の提供 &gt;

- まちなかコンサート

美術館、博物館のロビー等を活用し、各施設の企画と連動したコンサート等を企画し提供します。当該館のお客様にコンサートを気軽に体験していただき、新たな音楽ファンの創出を図りながら、新進演奏家の活躍の機会も創出する取組みです。

## &lt; 地域商店会等との連携 &gt;

- 夏休み子ども音楽会

夏休みに開催する子供も楽しめるコンサートです。パンフレットを持参すると、「上野のれん会」店舗の協力による優待サービスが受けられます。上野公園からまちへの回遊のきっかけを提示しています。また、近隣文化施設の無料入場等、文化施設間の連携も同時に実施します。

- オペラBOX

東京音楽コンクール入賞者を支援するコンサートから始まったオペラBOXを、当初から上野中央通り商店会が応援しています。入場券を購入し、商店会の景品として活用することで、観客動員と来店客の増加の相乗効果を図っています。

- オペラをつくろう

文京アカデミーと連携し、都内近郊に在住する児童を対象としたワークショップを実施します。地域のファミリーが文化施設に足を運ぶ機会を創出するとともに、会場の提供や職員の育成等、それぞれのメリットを活かした協力関係を構築します。

- 教育普及・社会包摂ワークショップ

近年、参加型プログラムの要となっているワークショップの先駆的な取組を行っている当館が、文京区や港区、立川市等の文化施設や福祉施設等とも連携して各地で開催します。各地・各施設のニーズに応えるとともに、ワークショップリーダーの活躍の機会の創出にも繋がります。

## &lt; 上野公園近隣施設の回遊性 &gt;

- 夏休み子ども音楽会(再掲)

夏休みに開催するファミリー向けコンサートの当日、コンサートの入場者に「上野1DAYパス」を配布します。上野公園近隣施設の連携協力により、無料又は割引で回ることができます。

## &lt; 建築物の魅力の発信 &gt;

- 西洋美術館と連携した魅力の発信

東京文化会館は、戦後のモダニズム建築の代表的建築物であり、前川國男が師と仰ぐル・コルビュジエの設計した西洋美術館への敬意を込めて調和的に設計された建築物です。世界遺産登録された西洋美術館と連携した魅力の発信に努めます。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題7 [自由提案]

1. 社会的課題解決に取り組む拠点として

社会包摂を醸成するアートプラットホームとなる

14頁の『『未来の東京』戦略ビジョン』の実現に向けた取組』では、東京文化会館は人材育成、教育普及事業を通じてアーティストやワークショップリーダー、アートマネジャーの若手を発掘し、研修や実践の場を提供して成長を促しながら国際的な活躍の機会の創出に取り組むこととしています。28頁では財団の「クリエイティブ・ウェル・プロジェクト」の推進のために社会包摂事業「Convivial Project:コンビビアル・プロジェクト」を立ち上げることとしました。47頁の「調査研究の取り組み」では、高齢者向け音楽ワークショップの検証など当館が実施する多様なプログラムの事例等、「クリエイティブ・ウェル」に関する知見の収集と発信に取り組むこととしています。

社会的課題の解決に向けて、地域の音楽堂・ホールなどの文化施設が、それぞれの事業を通して果たす事のできる役割には、多くの可能性があります。東京文化会館が培った人材と作品や企画を、海外ネットワークや国内の教育機関、福祉施設との協働により国内外に還元、発信する取組が一層重要になると思われます。

東京文化会館は、先駆的な事業を展開していく、拠点(アートプラットホーム)の役割が期待されています。これらの取り組みを行うために、専門的な人材の確保はもとより、事業展開の基盤を館内に整備していく必要があります。

アートプラットホーム(活動の基盤)の整備

活動の担い手がノウハウを学び、日々研鑽・創造・実践し、それらの活動を記録、蓄積していく空間、場所が必要です。外部への出張実践はもとより、それに向けた施設内での様々な機会の創出に向け、以下のような施設の利用用途拡大を行い、施設の機能を十二分に活用しながら、円滑な活動の基盤を整備します。

拠点の基盤となる「制作活動を行う場所」を確保するために、館内の施設を『ミュージック・ラボ』として活用します。

『ミュージック・ラボ』として活用する施設(案)

【音楽鑑賞室】

日常的な創造や研鑽の場となる「アトリエ」として位置づけ活用してまいります。

【リハーサル室】

日常的な創造や研鑽の場として、また、実際に事業を行う場として有意義に活用してまいります。

【会議室】

現状の会議室の稼働率は、概ね55%程度であることから、施設の稼働率を向上させ有効活用を促進するため、老朽化の進む会議室に防音工事を施し、リハーサル室の機能を付加することで、様々な教育プログラムの実施、身近な演奏練習や発表、研修等、利用用途の拡大を図ります。従来の大小ホールの公演に伴う打合せや芸術・文化・学術に関する会議の場として利用するほか、子供の感性を育てるための音楽ワークショップや様々な教育普及・社会包摂プログラムに活用してまいります。

人材の確保

福祉等の分野との協働には様々な専門的な人材が必要です。

そのために、運営面では音楽芸術の分野における教育普及の専門的な人材の確保はもとより、ソーシャルワーカーやNPO団体等と連携しつつ、専門家による検証も行いながら展開します。

また、事業を牽引する若手アーティストやワークショップリーダーについては、大学との連携によるノウハウの共有に加え、研修と実践の場を国際的な視点も取り入れながら提供する等、長期的な取組に必要な優秀な人材の確保に努めます。

アートプラットホームのイメージ



事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題7 [自由提案]

## 2. 施設の利用用途の拡大

時代のニーズに合わせ、稼働率の向上やセキュリティの確保、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」に則った教育プログラムや創造事業への活用に向けた取組を実施するとともに、組織再編と体制の強化に必要な執務室の確保を提案します。

## 会議室の利用用途拡大

会議室は、大小ホール公演に伴う打合せや芸術・文化・学術に関する会議の場として利用するほか、子供の感性を育てるための音楽ワークショップや様々な教育普及プログラムにも活用してまいります。

劇場法、東京文化ビジョンを踏まえ、東京文化会館は、今後、社会的課題の解決のためのワークショップの拡充を進めていきます。他方、現状の会議室の稼働率は、概ね55%程度です。

施設の稼働率を向上させ有効活用を促進するため、老朽化の進む会議室に防音工事を施し、リハーサル室の機能を付加することで、様々な教育プログラムの実施、身近な演奏練習や発表、研修等、利用用途の拡大を図ることを、都と協議しながら検討・推進していきます。

## 執務室について

現在、管理課・営業推進係と事業係は1階と4階に執務室を構え、非効率な運営を余儀なくされています。

組織の再編及び体制の強化を実現するにあたっては、同一執務室における業務の遂行により、効率の良い、効果的な運営とシステムの構築を目指します。

## 3. 周年事業の実施

## 60周年事業(案)の実施

開館60周年を迎える令和3年度には、館を挙げて華やかに多彩な**記念事業**を実施することを提案します。

**東京オリンピックの翌年かつ次期指定管理の初年に60周年を迎えるにあたっては、オリンピックのレガシーとなり、『未来の東京』戦略ビジョンの実現に向けて、続く6年の輝かしいスタートを切る記念事業を館全体で取り組みたいと考えます。**

東京文化会館が「**より多くの人々に集い親しまれる劇場**」であるために、以下のような事業を設置者である東京都とともに開催することを考えています。

事業方針	概要
共同制作によるオペラ上演	「オペラ夏の祭典」のノウハウを活用した、国際的な共同制作による60周年記念オペラを制作し、東京文化会館から新たな舞台芸術を創造・発信し、全国の劇場と連携
にぎわいを彩る公演	国内外のトップアーティストによるガラコンサート 「文化の杜」の周辺施設と連携した地域が一体となった野外コンサートなどでにぎわいを彩る
若手にフォーカス	東京音楽コンクール入賞者等による特別なコンサート 若手アートマネジャーによる企画の実現 若手が活躍する場を創出 新進音楽家の国際キャリアアップ支援を立ち上げ、国際的な活躍・研鑽の機会を充実
社会的課題の解決へ	様々な立場の人々が集う場所として、参加・体験・創造する機会を創出し成果発表へ
文化の杜と地域の活性化	それまでに培った連携を活かした上野文化の杜や地域商店会等と協力して実施する講演会や展示、マーケット等の展開
きっかけ～思い出～再来館へ	記念事業をフェスティバルと位置づけ、華やかな広報を展開 来館を促進し、記念ロゴやキャッチコピーを作成し、記念館内装飾や記念グッズで思い出を持ち帰り、そして再びの来館へつなげる

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団